工　事　設　計　書

工事設計書のダウンロードにあたって

　知り得た情報は、関東地方整備局以外の者の権利を含む場合があるため、ダウンロードを行った個人又は法人における１次利用に限るものとし、有償無償に関わらず「第三者への提供行為※」を行わないでください。

※「他の第三者への提供行為」・・・PDFデータのまま、あるいは、紙に出力して等の手段に関わらず、ダウンロードを行った個人又は法人以外の他者による２次利用につながる一切の行為を指します。

国土交通省　関東地方整備局
大宮国道事務所

鏡

１．工事名

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事
工事地名	埼玉県鴻巣市箕田地先

２．工事内容

１）	発注年月	令和 8年 8月		１２）	設 計 年 月	令和 8年 9月
２）	事務所名	大宮国道事務所　計画課		１３）	機械損料一括補正	0　　労務費一括割増　　0%
３）	工事番号	2026081009		１４）	単価適用年月	2026年 9月
４）	契約区分	国債（翌債を含む）の分任官		１５）	歩掛適用年月	2026年 9月
５）	変更回数	0回		１６）	前請負工事費	0
６）	主 工 種	道路改良工事		１７）	前請負代金額	0
７）	工 事 量	一式		１８）	調 整 区 分	0
８）	工　　期	411日間　自	令和 8年11月 9日	１９）	共通仮設費対象額	
		（当初）　至	令和 9年12月24日	２０）	現場管理費対象額	
		（ 0回変更）　至	年 月 日	２１）	一般管理費等対象額	
９）	施 工 県	埼玉県		２２）	処 分 費 等	1,247,074
１０）	地　　区	大宮地区		２３）	公 告 日	令和 8年 8月 5日
１１）	河川・路線	上尾道路		２４）	入 札 締 切 日	年 月 日

３．予算科目

1） 予算科目：	2） 目：	3） 目の細分：	4） 事業名：

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路改良		式	1		126,770,329			
道路土工		式	1		10,740,385			
掘削工 県道切回し		式	1		150,147			
掘削	土砂 小規模	m3	63	1,370	86,310			単-1号
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模 現場～仮置き場	m3	63	877.5	55,282			単-2号
整地	残土受入れ地での処理	m3	63	135.8	8,555			単-3号
掘削工(ICT) 現道復旧		式	1		927,360			
掘削(ICT)	土砂	m3	920	436.7	401,764			単-4号
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 現場～仮置き場	m3	920	435.5	400,660			単-5号
整地	残土受入れ地での処理	m3	920	135.8	124,936			単-6号
路体盛土工 現道復旧		式	1		2,945,660			
路体(築堤)盛土	2.5m未満	m3	320	6,859	2,194,880			単-7号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 小規模(標準)	m3	360	1,208	434,880			単-8号
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 仮置き場～現場	m3	360	877.5	315,900			単-9号
路体盛土工(ICT) 県道切回し		式	1		753,679			
路体(築堤)盛土(ICT)		m3	730	265.6	193,888			単-10号
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂	m3	810	255.6	207,036			単-11号
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 仮置き場～現場	m3	810	435.5	352,755			単-12号
路体盛土工(ICT) 現道復旧		式	1		856,260			
路体(築堤)盛土(ICT)		m3	830	265.6	220,448			単-13号
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂	m3	920	255.6	235,152			単-14号
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 仮置き場～現場	m3	920	435.5	400,660			単-15号
路床盛土工(ICT) 現道復旧		式	1		3,503,555			
路床盛土(ICT)		m3	550	385.1	211,805			単-16号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
土材料	礫質土 路床用 最大粒径100mm	m3	550	5,985	3,291,750			単-17号
路床置換工 現道復旧		式	1		1,221,048			
路床置換	路床盛土 4.0m以上	m3	540	399.2	215,568			単-18号
土材料	RC-40	m3	540	1,862	1,005,480			単-19号
作業土工 県道切回し		式	1		54,660			
床掘り	土砂 小規模	m3	16	2,403	38,448			単-20号
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模現場～仮置き場	m3	16	877.5	14,040			単-21号
整地	残土受入れ地での処理	m3	16	135.8	2,172			単-22号
作業土工 現道復旧		式	1		328,016			
床掘り	土砂 小規模	m3	38	2,403	91,314			単-23号
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模現場～仮置き場	m3	38	877.5	33,345			単-24号
整地	残土受入れ地での処理	m3	38	135.8	5,160			単-25号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
埋戻し	土砂 小規模	m3	30	4,243	127,290			単-26号
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 小規模	m3	34	1,208	41,072			単-27号
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模 仮置き場～現場	m3	34	877.5	29,835			単-28号
地盤改良工		式	1		4,602,290			
固結工(ICT) 現道復旧		式	1		2,679,950			
中層混合処理(ICT)	Ｌ型擁壁部 改良深度 5.5m	m3	158	7,657	1,209,806			単-29号
中層混合処理(ICT)	重力式擁壁部 改良深度 6.1m	m3	192	7,657	1,470,144			単-30号
固結工(ICT) 水路付替		式	1		1,922,340			
中層混合処理(ICT)	函渠部 改良深度 4.6m	m3	276	6,965	1,922,340			単-31号
擁壁工		式	1		3,070,690			
場所打擁壁工(構造物単位) 県道切回し		式	1		1,221,790			
重力式擁壁	1mを超え2m未満 18-8-25(高炉)	m3	17	71,870	1,221,790			単-32号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁工 現道復旧		式	1		1,848,900			
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁	1.0mを超え2.0m以下	m	13	81,940	1,065,220			単-33号
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁	2.0mを超え3.5m以下	m	8	97,960	783,680			単-34号
ｶﾙﾊﾞｰﾄ工		式	1		12,229,853			
作業土工 水路付替		式	1		1,550,843			
床掘り	土砂 土留無し	m3	270	261.1	70,497			単-35号
床掘り	土砂 自立式	m3	220	338.8	74,536			単-36号
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 現場～仮置き場	m3	490	435.5	213,395			単-37号
整地	残土受入れ地での処理	m3	490	135.8	66,542			単-38号
埋戻し	土砂	m3	380	2,099	797,620			単-39号
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂	m3	430	255.6	109,908			単-40号
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 仮置き場～現場	m3	430	435.5	187,265			単-41号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
基面整正		m2	60	518	31,080			単-42号
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｶﾙﾊﾞｰﾄ工 水路付替		式	1		10,679,010			
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	1800x1200	m	9.5	459,400	4,364,300			単-43号
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	2000x1200	m	17	360,200	6,123,400			単-44号
既設函渠接続	1800x1200部	箇所	1	89,310	89,310			単-45号
既設函渠接続	2000x1200部	箇所	1	102,000	102,000			単-46号
排水構造物工		式	1		14,335,243			
作業土工 水路付替		式	1		142,545			
床掘り	土砂 小規模	m3	30	2,403	72,090			単-47号
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模	m3	30	877.5	26,325			単-48号
整地	残土受入れ地での処理	m3	30	135.8	4,074			単-49号
埋戻し	土砂 小規模	m3	6	4,243	25,458			単-50号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 小規模(標準)	m3	7	1,208	8,456			単-51号
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模 仮置き場～現場	m3	7	877.5	6,142			単-52号
側溝工 県道切回し		式	1		5,230,810			
L形側溝	一般部 18-8-25(高炉)	m	396	12,160	4,815,360			単-53号
L形側溝	平坦部 18-8-25(高炉)	m	35	11,870	415,450			単-54号
側溝工 現道復旧		式	1		3,133,636			
L形側溝	A-1 一般部 18-8-25(高炉)	m	193	12,140	2,343,020			単-55号
L形側溝	A-2 平坦部 18-8-25(高炉)	m	36	11,800	424,800			単-56号
L形側溝	A-3 端部 18-8-25(高炉)	箇所	3	7,254	21,762			単-57号
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	300x300x4000	m	19	11,190	212,610			単-58号
側溝蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋 390x100x600 普通型	枚	13	3,668	47,684			単-59号
側溝蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋 390x100x600 手掛型	枚	4	3,668	14,672			単-60号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
側溝蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋 390x100x600 網付型	枚	16	4,318	69,088			単-61号
管渠工 現道復旧		式	1		1,619,752			
ﾋｭｰﾑ管(B形管)	管渠(1) 外圧管1種 Φ300 90° 巻基礎	m	75	21,560	1,617,000			単-62号
暗渠排水管	取付管 VUΦ200	m	0.5	5,505	2,752			単-63号
管渠工 水路付替		式	1		2,663,360			
暗渠排水管	据付 耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管Φ1350	m	6.8	369,700	2,513,960			単-64号
巻立てｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25(20)高炉	箇所	1	149,400	149,400			単-65号
集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工 県道切回し		式	1		229,120			
現場打ち集水桝	500x500x700	箇所	4	57,280	229,120			単-66号
集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工 現道復旧		式	1		1,316,020			
現場打ち集水桝	L型街渠桝 400x400x650	箇所	1	54,880	54,880			単-67号
現場打ち集水桝	500x500x1100	箇所	2	96,880	193,760			単-68号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場打ち集水桝	500x500x1500	箇所	1	129,300	129,300			単-69号
現場打ち集水桝	500x500x1900	箇所	2	167,400	334,800			単-70号
現場打ち集水桝	集水桝(1) 600x600x550	箇所	1	57,280	57,280			単-71号
ｽｸﾘｰﾝ	ｽﾃﾝﾚｽ製 2300x1200x50	枚	1	546,000	546,000			単-72号
舗装工		式	1		37,439,013			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 県道切回し		式	1		7,944,750			
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 300ｍｍ	m2	1,650	1,243	2,050,950			単-73号
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 300ｍｍ	m2	1,650	1,404	2,316,600			単-74号
表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2	1,650	2,168	3,577,200			単-75号
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 県道切回し 上側取付		式	1		1,808,329			
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2	328	619.8	203,294			単-76号
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2	328	699.4	229,403			単-77号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2	328	2,143	702,904			単-78号
表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2	328	2,051	672,728			単-79号
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 県道切回し 下側取付		式	1		1,742,170			
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2	316	619.8	195,856			単-80号
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2	316	699.4	221,010			単-81号
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2	316	2,143	677,188			単-82号
表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2	316	2,051	648,116			単-83号
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 現道復旧 拡幅部		式	1		10,346,180			
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 190ｍｍ	m2	1,300	691.2	898,560			単-84号
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2	1,300	699.4	909,220			単-85号
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 110ｍｍ	m2	1,300	4,517	5,872,100			単-86号
表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2	1,300	2,051	2,666,300			単-87号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 現道復旧 市道取付部		式	1		1,490,936			
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 110ｍｍ	m2	227	4,517	1,025,359			単-88号
表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2	227	2,051	465,577			単-89号
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 現道復旧 歩道切下(1)		式	1		296,800			
下層路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 250ｍｍ	m2	70	1,930	135,100			単-90号
表層(歩道部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2	70	2,310	161,700			単-91号
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 現道復旧 歩道切下(2)		式	1		160,175			
下層路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 250ｍｍ	m2	25	1,930	48,250			単-92号
基層(歩道部)	再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2	25	2,285	57,125			単-93号
表層(歩道部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2	25	2,192	54,800			単-94号
透水性舗装工 県道切回し 歩道		式	1		3,688,713			
ﾌｨﾙﾀｰ層	再生砂 仕上り厚 100ｍｍ	m2	858	1,154	990,132			単-95号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
路盤(路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100ｍｍ	m2	858	920.2	789,531			単-96号
表層	透水性ｱｽｺﾝ 舗装厚 40ｍｍ	m2	858	2,225	1,909,050			単-97号
透水性舗装工 現道復旧		式	1		4,514,160			
ﾌｨﾙﾀｰ層	再生砂 仕上り厚 100ｍｍ	m2	1,050	1,154	1,211,700			単-98号
路盤(路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100ｍｍ	m2	1,050	920.2	966,210			単-99号
表層	透水性ｱｽｺﾝ 舗装厚 40ｍｍ	m2	1,050	2,225	2,336,250			単-100号
薄層ｶﾗｰ舗装工 県道切回し		式	1		5,446,800			
薄層ｶﾗｰ舗装	RPN-301	m2	890	6,120	5,446,800			単-101号
防護柵工		式	1		14,180,141			
路側防護柵工 県道切回し		式	1		13,247,880			
仮設防護柵	Gr-B-2B	m	318	41,660	13,247,880			単-102号
路側防護柵工 現道復旧		式	1		290,840			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	塗装品 Gr-C-2B	m	22	13,220	290,840			単-103号
防止柵工 現道復旧		式	1		641,421			
転落(横断)防止柵	土中建込 柵高1.1m 4断ﾋﾞｰﾑ型 支柱間隔3.0m	m	28	10,460	292,880			単-104号
転落(横断)防止柵	ｺﾝｸﾘｰﾄ建込 柵高1.1m 4断ﾋﾞｰﾑ型 支柱間隔3.0m	m	23	9,167	210,841			単-105号
転落(横断)防止柵	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ建込 柵高1.1m 縦格子型 支柱間隔3.0m	m	10	13,770	137,700			単-106号
縁石工		式	1		7,679,441			
縁石工 県道切回し		式	1		2,845,138			
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	L型側溝 一般部 両面 180/240x300x600	m	396	6,703	2,654,388			単-107号
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	L型側溝 平坦部 203/210x70x600	m	35	5,450	190,750			単-108号
縁石工 現道復旧		式	1		4,834,303			
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	L型側溝 A-1 一般部 両面 180/240x300x600	m	193	6,703	1,293,679			単-109号
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	L型側溝 A-2 平坦部 203/210x70x600	m	36	5,450	196,200			単-110号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	B-1 一般部 両面 180/240x300x600	m	149	9,968	1,485,232			単-111号
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	B-2 乗入部 200/210x100x600	m	18	6,243	112,374			単-112号
地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	(A) C種(150×150×600) 基礎砕石	m	159	5,063	805,017			単-113号
地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	(B) C種(150×150×600) 基礎砕石+均しｺﾝｸﾘｰﾄ	m	23	7,561	173,903			単-114号
境石	(C) 240x240 18-8-25(20)高炉 W/C指定無し	m	111	6,918	767,898			単-115号
区画線工		式	1		1,315,788			
区画線工 県道切回し		式	1		733,533			
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	639	422.2	269,785			単-116号
溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	100	449.2	44,920			単-117号
溶融式区画線	溶融式手動 実線 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	12	982.4	11,788			単-118号
溶融式区画線	溶融式手動 破線 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	2	1,025	2,050			単-119号
溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	98	1,078	105,644			単-120号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	m	316	947.3	299,346			単-121号
区画線工 現道復旧		式	1		582,255			
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	653	422.2	275,696			単-122号
溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	6	449.2	2,695			単-123号
溶融式区画線	溶融式手動 破線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	34	791.2	26,900			単-124号
溶融式区画線	溶融式手動 実線 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	172	982.4	168,972			単-125号
溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	m	114	947.3	107,992			単-126号
構造物撤去工		式	1		5,950,251			
防護柵撤去工 現道復旧		式	1		437,250			
仮設防護柵撤去	Gr-B-2B	m	318	1,375	437,250			単-127号
構造物取壊し工 県道切回し		式	1		615,132			
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m	34	747.6	25,418			単-128号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cmを超え30cm以下	m	48	1,574	75,552			単-129号
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 ４ｃｍ	m2	466	229.2	106,807			単-130号
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 16ｃｍ	m2	641	635.5	407,355			単-131号
構造物取壊し工 現道復旧		式	1		613,597			
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3	38	9,018	342,684			単-132号
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 ４ｃｍ	m2	389	229.2	89,158			単-133号
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 ５ｃｍ	m2	793	229.2	181,755			単-134号
構造物取壊し工 水路付替		式	1		1,236,659			
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3	88	9,018	793,584			単-135号
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3	23	18,420	423,660			単-136号
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m	18	747.6	13,456			単-137号
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 15ｃｍ	m2	26	229.2	5,959			単-138号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
排水構造物撤去工 県道切回し		式	1		217,182			
管(函)渠型側溝撤去	撤去	m	89	2,062	183,518			単-139号
集水桝撤去	600kgを超え800kg以下	基	8	4,208	33,664			単-140号
縁石撤去工 県道切回し		式	1		155,136			
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ撤去	再利用	m	101	1,536	155,136			単-141号
縁石撤去工 現道復旧		式	1		334,848			
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ撤去	再利用	m	218	1,536	334,848			単-142号
運搬処理工 県道切回し		式	1		956,747			
殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	121	4,147	501,787			単-143号
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	121	3,760	454,960			単-144号
運搬処理工 現道復旧		式	1		658,477			
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	38	2,359	89,642			単-145号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	55	4,147	228,085			単-146号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	38	3,525	133,950			単-147号
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	55	3,760	206,800			単-148号
運搬処理工 水路付替		式	1		725,223			
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	88	2,359	207,592			単-149号
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	23	2,178	50,094			単-150号
殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	3.9	4,147	16,173			単-151号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	88	3,525	310,200			単-152号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	23	5,500	126,500			単-153号
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	3.9	3,760	14,664			単-154号
仮設工		式	1		15,227,234			
土留･仮締切工 水路付替		式	1		4,197,354			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 12m 鋼矢板打込長 11.5m 平均鋼矢板引抜長 11.5m	枚	90	44,020	3,961,800			単-155号
頭部連結材	[-250x90x9x13	t	1.29	182,600	235,554			単-156号
仮水路工 水路付替		式	1		4,083,200			
暗渠排水管	据付・撤去 耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管Φ1350	m	29	140,800	4,083,200			単-157号
土のう工 水路付替		式	1		106,680			
大型土のう	耐候性大型土のう	袋	12	8,890	106,680			単-158号
交通管理工		式	1		6,840,000			
交通誘導警備員 B	昼間勤務	人日	380	18,000	6,840,000			単-159号
直接工事費		式	1		126,770,329			
共通仮設費		式	1		25,670,464			
共通仮設費		式	1		11,155,464			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
運搬費		式	1		5,420,639			
重建設機械分解組立輸送費	中層混合処理機(改良深度5m)	回	1	2,160,000	2,160,000			単-160号
重建設機械分解組立輸送費	中層混合処理機(改良深度8m)	回	1	2,160,000	2,160,000			単-161号
仮設材運搬費	仮設防護柵(片道)	t	38.7	6,490	251,163			単-162号
仮設材運搬費	鋼矢板(往復)	t	64.8	12,980	841,104			単-163号
仮設材運搬費	頭部連結材(片道)	t	1.29	6,490	8,372			単-164号
技術管理費		式	1		3,525,825			
土壌分析費	六価クロム溶出試験費	検体	2	7,800	15,600			単-165号
ｼｽﾃﾑ初期費(ICT)	ﾊﾞｯｸﾎｳ	式	1		598,000			内-1号
ｼｽﾃﾑ初期費(ICT)	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ	式	1		548,000			内-2号
ｼｽﾃﾑ初期費(ICT)	中層混合処理機	式	1		2,300,000			内-3号
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式	1		64,225			内-4号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事	（当　初）	事業区分	道路新設･改築
			工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場環境改善費（率計上）		式	1		2,209,000			
共通仮設費（率計上）		式	1		14,515,000			
純工事費		式	1		152,440,793			
現場管理費		式	1		48,821,000			
工事原価		式	1		201,261,793			
一般管理費等		式	1		33,788,207			
工事価格		式	1		235,050,000			
消費税相当額		式	1		23,505,000			
工事費計		式	1		258,555,000			

一式当たり内訳書

ｼｽﾃﾑ初期費(ICT)

第　1号内訳書

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
システム初期費（ＩＣＴ）	ﾊﾞｯｸﾎｳ	式	1		598,000			
合　計					598,000			

一式当たり内訳書

ｼｽﾃﾑ初期費(ICT)

第　2号内訳書

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
システム初期費（ＩＣＴ）	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ	式	1		548,000			
合　計					548,000			

一式当たり内訳書

ｼｽﾃﾑ初期費(ICT)

第　3号内訳書

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
システム初期費（ＩＣＴ）	中層混合処理機	式	1		1,150,000			
システム初期費（ＩＣＴ）	中層混合処理機	式	1		1,150,000			
合　計					2,300,000			

一式当たり内訳書

道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用

第　4号内訳書

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用	技術員 1.75人	式	1		64,225			
合　計					64,225			

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	掘削	土砂 小規模	単位	m3	数量	1	単価	1,370

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	ｍ３	1	1,370	1,370	
計					1,370	
単価					1,370	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－2号	土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模 現場～仮置き場	単位	m3	数量	1	単価	877.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.28m3 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 0.2km以下	ｍ３	1	877.5	877.5	
計					877.5	
単価					877.5	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－3号	整地	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量	1	単価	135.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
整地	残土受入れ地での処理	ｍ３	1	135.8	135.8	
計					135.8	
単価					135.8	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－4号	掘削(ICT)	土砂	単位	m3	数量	1	単価	436.7

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削（ＩＣＴ）	土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 無し 5,000m3未満	ｍ３	1	436.7	436.7	
計					436.7	
単価					436.7	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－5号	土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 現場～仮置き場	単位	m3	数量	1	単価	435.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.8m3 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 0.3km以下	ｍ３	1	435.5	435.5	
計					435.5	
単価					435.5	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－6号	整地	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量	1	単価	135.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
整地	残土受入れ地での処理	ｍ３	1	135.8	135.8	
計					135.8	
単価					135.8	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－7号	路体(築堤)盛土	2.5m未満	単位	m3	数量	1	単価	6,859

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路体（築堤）盛土	2.5m未満	ｍ３	1	6,859	6,859	
計					6,859	
単価					6,859	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－8号	積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 小規模(標準)	単位	m3	数量	1	単価	1,208

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込（ルーズ）	土砂 小規模(標準)	ｍ３	1	1,208	1,208	
計					1,208	
単価					1,208	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－9号	土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 仮置き場～現場	単位	m3	数量	1	単価	877.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.28m3 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 0.2km以下	ｍ３	1	877.5	877.5	
計					877.5	
単価					877.5	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－10号	路体(築堤)盛土(ICT)		単位	m3	数量	1	単価	265.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路体（築堤）盛土（ＩＣＴ）	20,000m3未満 無し	ｍ３	1	265.6	265.6	
計					265.6	
単価					265.6	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－11号	積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂	単位	m3	数量	1	単価	255.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込 (ルーズ)	土砂 土量50,000m3未満	ｍ３	1	255.6	255.6	
計					255.6	
単価					255.6	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－12号	土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 仮置き場～現場	単位	m3	数量	1	単価	435.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.8m3 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 0.3km以下	ｍ３	1	435.5	435.5	
計					435.5	
単価					435.5	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－13号	路体(築堤)盛土(ICT)		単位	m3	数量	1	単価	265.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路体（築堤）盛土（ＩＣＴ）	20,000m3未満 無し	ｍ３	1	265.6	265.6	
計					265.6	
単価					265.6	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－14号	積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂	単位	m3	数量	1	単価	255.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込（ルーズ）	土砂 土量50,000m3未満	ｍ３	1	255.6	255.6	
計					255.6	
単価					255.6	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－15号	土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 仮置き場～現場	単位	m3	数量	1	単価	435.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.8m3 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 0.3km以下	ｍ３	1	435.5	435.5	
計					435.5	
単価					435.5	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－16号	路床盛土(ICT)		単位	m3	数量	1	単価	385.1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路床盛土（ＩＣＴ）	20,000m3未満 無し	ｍ３	1	385.1	385.1	
計					385.1	
単価					385.1	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－17号	土材料	礫質土 路床用 最大粒径100mm	単位	m3	数量	1	単価	5,985

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路床盛土材料費	礫質土 路床用 最大粒径100mm	ｍ３	1.33	4,500	5,985	
計					5,985	
単価					5,985	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－18号	路床置換	路床盛土 4.0m以上	単位	m3	数量	1	単価	399.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路床盛土	4.0m以上 20,000m3未満 無し	ｍ３	1	399.2	399.2	
計					399.2	
単価					399.2	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－19号	土材料	RC-40	単位	m3	数量	1	単価	1,862

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	ｍ３	1.33	1,400	1,862	
計					1,862	
単価					1,862	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－20号	床掘り	土砂 小規模	単位	m3	数量	1	単価	2,403

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 上記以外(小規模) 全ての費用	ｍ３	1	2,403	2,403	
計					2,403	
単価					2,403	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－21号	土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模現場～仮置き場	単位	m3	数量	1	単価	877.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.28m3 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 0.2km以下	ｍ３	1	877.5	877.5	
計					877.5	
単価					877.5	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－22号	整地	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量	1	単価	135.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
整地	残土受入れ地での処理	ｍ３	1	135.8	135.8	
計					135.8	
単価					135.8	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－23号	床掘り	土砂 小規模	単位	m3	数量	1	単価	2,403

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 上記以外(小規模) 全ての費用	ｍ３	1	2,403	2,403	
計					2,403	
単価					2,403	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－24号	土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模現場～仮置き場	単位	m3	数量	1	単価	877.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.28m3 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 0.2km以下	ｍ３	1	877.5	877.5	
計					877.5	
単価					877.5	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－25号	整地	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量	1	単価	135.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
整地	残土受入れ地での処理	ｍ３	1	135.8	135.8	
計					135.8	
単価					135.8	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－26号	埋戻し	土砂 小規模	単位	m3	数量	1	単価	4,243

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	上記以外(小規模) 土砂 全ての費用	ｍ３	1	4,243	4,243	
計					4,243	
単価					4,243	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－27号	積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 小規模	単位	m3	数量	1	単価	1,208

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込 (ルーズ)	土砂 小規模(標準)	ｍ３	1	1,208	1,208	
計					1,208	
単価					1,208	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－28号	土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模 仮置き場～現場	単位	m3	数量	1	単価	877.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.28m3 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 0.2km以下	ｍ３	1	877.5	877.5	
計					877.5	
単価					877.5	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－29号	中層混合処理(ICT)	Ｌ型擁壁部 改良深度 5.5m	単位	m3	数量	1	単価	7,657

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
中層混合処理工（ＩＣＴ）	5m＜L≦8m 1,000m3未満 150kg/m3 無	ｍ３	1	7,657	7,657	
計					7,657	
単価					7,657	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－30号	中層混合処理(ICT)	重力式擁壁部 改良深度 6.1m	単位	m3	数量	1	単価	7,657

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
中層混合処理工（ＩＣＴ）	5m＜L≦8m 1,000m3未満 150kg/m3 無	ｍ３	1	7,657	7,657	
計					7,657	
単価					7,657	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－31号	中層混合処理(ICT)	函渠部 改良深度 4.6m	単位	m3	数量	1	単価	6,965

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
中層混合処理工（ＩＣＴ）	2m＜L≦5m 1,000m3未満 130kg/m3 無	ｍ３	1	6,965	6,965	
計					6,965	
単価					6,965	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－32号	重力式擁壁	1mを超え2m未満 18-8-25(高炉)	単位	m3	数量	1	単価	71,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
重力式擁壁	1mを超え2m未満 18-8-25(高炉) 無し 無し 一般養生	ｍ３	1	71,870	71,870	
計					71,870	
単価					71,870	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－33号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁	1.0mを超え2.0m以下	単位	m	数量	13.214	単価	81,940

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャスト擁壁設置	1.0mを超え2.0m以下 無し 有り	m	13.214	11,400	150,639.6	
プレキャスト擁壁材料費	1750x2000 水抜き穴特殊	本	3	115,000	345,000	
プレキャスト擁壁材料費	1750x1214 調整用 水抜き穴特殊	本	1	161,000	161,000	
プレキャスト擁壁材料費	2000x2000 水抜き穴特殊	本	3	142,000	426,000	
計					1,082,639.6	
単価					81,940	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－34号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁	2.0mを超え3.5m以下	単位	m	数量	8	単価	97,960

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャスト擁壁設置	2.0mを超え3.5m以下 無し 有り 標準	m	8	14,460	115,680	
プレキャスト擁壁材料費	2250x2000 水抜き穴特殊	本	4	167,000	668,000	
計					783,680	
単価					97,960	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－35号	床掘り	土砂 土留無し	単位	m3	数量	1	単価	261.1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 標準 無し 無し	ｍ３	1	261.1	261.1	
計					261.1	
単価					261.1	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－36号	床掘り	土砂 自立式	単位	m3	数量	1	単価	338.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 標準 自立式 無し	ｍ３	1	338.8	338.8	
計					338.8	
単価					338.8	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－37号	土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 現場～仮置き場	単位	m3	数量	1	単価	435.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.8m3 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 0.3km以下	ｍ３	1	435.5	435.5	
計					435.5	
単価					435.5	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－38号	整地	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量	1	単価	135.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
整地	残土受入れ地での処理	ｍ３	1	135.8	135.8	
計					135.8	
単価					135.8	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－39号	埋戻し	土砂	単位	m3	数量	1	単価	2,099

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	ｍ３	1	2,099	2,099	
計					2,099	
単価					2,099	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－40号	積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂	単位	m3	数量	1	単価	255.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込 (ルーズ)	土砂 土量50,000m3未満	ｍ３	1	255.6	255.6	
計					255.6	
単価					255.6	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－41号	土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 仮置き場～現場	単位	m3	数量	1	単価	435.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.8m3 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 0.3km以下	ｍ３	1	435.5	435.5	
計					435.5	
単価					435.5	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－42号	基面整正		単位	m2	数量	1	単価	518

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基面整正		ｍ２	1	518	518	
計					518	
単価					518	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－43号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	1800x1200	単位	m	数量	9.5	単価	459,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ボックスカルバート	据付 2.0m/個 1.25＜B≦2.5 0＜H≦1.25 均しｺﾝｸﾘｰﾄ 無し 標準	m	9.5	21,660	205,770	
ボックスカルバート材料費	1800x1200x2000 標準	本	2	582,000	1,164,000	
ボックスカルバート材料費	1800x1200x1094/1469 斜角 連結金具	本	1	723,000	723,000	
ボックスカルバート材料費	1800x1200x1193/1565 斜角 連結金具	本	2	751,000	1,502,000	
ボックスカルバート材料費	1800x1200x1255/1627 斜角 連結金具	本	1	769,000	769,000	
計					4,363,770	
単価					459,400	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－44号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	2000x1200	単位	m	数量	10	単価	360,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ボックスカルバート	据付 2.0m/個 1.25＜B≦2.5 0＜H≦1.25 均しｺﾝｸﾘｰﾄ 無し 標準	m	10	21,660	216,600	
ボックスカルバート材料費	2000x1200x2000 標準	本	5	677,000	3,385,000	
計					3,601,600	
単価					360,200	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－45号	既設函渠接続	1800x1200部	単位	箇所	数量	1	単価	89,310

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 24-12-25(20)(高炉) 一般養生	ｍ３	0.44	40,790	17,947.6	
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	3.62	10,790	39,059.8	
鉄筋工　組立	一般構造物 SD345 D13 標準	t	0.005	157,300	786.5	
鉄筋コンクリート用棒鋼	ＳＤ３４５　Ｄ１３	t	0.005	118,000	590	
コンクリートアンカーボルト設置	有り	本	21	1,450	30,450	
鉄筋コンクリート用棒鋼	ＳＤ３４５　Ｄ１３	t	0.004	118,000	472	
計					89,305.9	
単価					89,310	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－46号	既設函渠接続	2000x1200部	単位	箇所	数量	1	単価	102,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 24-12-25(20)(高炉) 一般養生	ｍ３	0.54	40,790	22,026.6	
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	4.12	10,790	44,454.8	
鉄筋工　組立	一般構造物 SD345 D13 標準	t	0.006	157,300	943.8	
鉄筋コンクリート用棒鋼	ＳＤ３４５　Ｄ１３	t	0.006	118,000	708	
コンクリートアンカーボルト設置	有り	本	23	1,450	33,350	
鉄筋コンクリート用棒鋼	ＳＤ３４５　Ｄ１３	t	0.004	118,000	472	
計					101,955.2	
単価					102,000	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－47号	床掘り	土砂 小規模	単位	m3	数量	1	単価	2,403

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 上記以外(小規模) 全ての費用	ｍ３	1	2,403	2,403	
計					2,403	
単価					2,403	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－48号	土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模	単位	m3	数量	1	単価	877.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.28m3 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 0.2km以下	ｍ３	1	877.5	877.5	
計					877.5	
単価					877.5	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－49号	整地	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量	1	単価	135.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
整地	残土受入れ地での処理	ｍ３	1	135.8	135.8	
計					135.8	
単価					135.8	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－50号	埋戻し	土砂 小規模	単位	m3	数量	1	単価	4,243

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	上記以外(小規模) 土砂 全ての費用	ｍ３	1	4,243	4,243	
計					4,243	
単価					4,243	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－51号	積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 小規模(標準)	単位	m3	数量	1	単価	1,208

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込 (ルーズ)	土砂 小規模(標準)	ｍ３	1	1,208	1,208	
計					1,208	
単価					1,208	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－52号	土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模 仮置き場～現場	単位	m3	数量	1	単価	877.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.28m3 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 0.2km以下	ｍ３	1	877.5	877.5	
計					877.5	
単価					877.5	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－53号	L形側溝	一般部 18-8-25(高炉)	単位	m	数量	10	単価	12,160

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	小型構造物 人力打設 18-8-25(高炉) 一般養生 無し 全ての費用	ｍ３	1.33	40,170	53,426.1	
型枠	一般型枠 小型構造物	ｍ２	7	9,731	68,117	
計					121,543.1	
単価					12,160	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－54号	L形側溝	平坦部 18-8-25(高炉)	単位	m	数量	10	単価	11,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	小型構造物 人力打設 18-8-25(高炉) 一般養生 無し 全ての費用	ｍ３	1.33	40,170	53,426.1	
型枠	一般型枠 小型構造物	ｍ２	6.7	9,731	65,197.7	
計					118,623.8	
単価					11,870	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－55号	L形側溝	A-1 一般部 18-8-25(高炉)	単位	m	数量	10	単価	12,140

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	小型構造物 人力打設 18-8-25(高炉) 一般養生 無し 全ての費用	ｍ３	1.76	40,170	70,699.2	
型枠	一般型枠 小型構造物	ｍ２	5.2	9,731	50,601.2	
計					121,300.4	
単価					12,140	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－56号	L形側溝	A-2 平坦部 18-8-25(高炉)	単位	m	数量	10	単価	11,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	小型構造物 人力打設 18-8-25(高炉) 一般養生 無し 全ての費用	ｍ３	1.75	40,170	70,297.5	
型枠	一般型枠 小型構造物	ｍ２	4.9	9,731	47,681.9	
計					117,979.4	
単価					11,800	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－57号	L形側溝	A-3 端部 18-8-25(高炉)	単位	箇所	数量	10	単価	7,254

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	小型構造物 人力打設 18-8-25(高炉) 一般養生 無し 全ての費用	ｍ３	1.05	40,170	42,178.5	
型枠	一般型枠 小型構造物	ｍ２	3.12	9,731	30,360.72	
計					72,539.22	
単価					7,254	円／箇所

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－58号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	300x300x4000	単位	m	数量	1	単価	11,190

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け L=4000㎜ 無し 側溝(各種) L=2000㎜ 1000kg/個以下 無し 無し 無し	m	1	11,190	11,190	
計					11,190	
単価					11,190	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－59号	側溝蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋 390x100x600 普通型	単位	枚	数量	1	単価	3,668

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	3,668	3,668	
計					3,668	
単価					3,668	円／枚

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－60号	側溝蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋 390x100x600 手掛型	単位	枚	数量	1	単価	3,668

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	3,668	3,668	
計					3,668	
単価					3,668	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－61号	側溝蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋 390x100x600 網付型	単位	枚	数量	1	単価	4,318

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	4,318	4,318	
計					4,318	
単価					4,318	円／枚

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－62号	ﾋｭｰﾑ管(B形管)	管渠(1) 外圧管1種 Φ300 90° 巻基礎	単位	m	数量	1	単価	21,560

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ヒューム管 （B形管）	据付 300㎜ 90° 巻き 有り 外圧管1種 18-8-25(20)(高炉) 全ての費用	m	1	21,560	21,560	
計					21,560	
単価					21,560	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－63号	暗渠排水管	取付管 VUΦ200	単位	m	数量	10	単価	5,505

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【暗渠排水管】						
暗渠排水管	据付 直管 200～400mm 全ての費用	m	10	856.9	8,569	
暗渠排水管材料費	VUΦ200	m	10	3,275	32,750	
【フィルター材：再生砂】						
フィルター材	各種 全ての費用	m３	1.7	8,077	13,730.9	
諸雑費（まるめ）		式	1		0.1	
計					55,050	
単価					5,505	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－64号	暗渠排水管	据付 耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管Φ1350	単位	m	数量	6.8	単価	369,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
暗渠排水管	据付 波状管 各種 1,100～1,500mm 不要 全ての費用	m	6.8	3,049	20,733.2	
暗渠排水管材料費	耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ管 管剛性30 Φ1350 L=3000	本	1	593,000	593,000	
暗渠排水管材料費	耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ管 特殊45° ｴﾙﾎﾞ L=1636+2188	本	1	1,900,000	1,900,000	
計					2,513,733.2	
単価					369,700	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－65号	巻立てｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25(20)高炉	単位	箇所	数量	1	単価	149,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	小型構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 18-8-25(高炉) 一般養生 全ての費用	ｍ３	1.56	41,110	64,131.6	
型枠	一般型枠 小型構造物	ｍ２	7.94	9,731	77,264.14	
基礎砕石	27.5cmを超え30.0cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 全ての費用	ｍ２	3.66	2,167	7,931.22	
計					149,326.96	
単価					149,400	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－66号	現場打ち集水桝	500x500x700	単位	箇所	数量	1	単価	57,280

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	各種 0.30m3を超え0.32m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	57,280	57,280	
計					57,280	
単価					57,280	円／箇所

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－67号	現場打ち集水桝	L型街渠桝 400x400x650	単位	箇所	数量	1	単価	54,880

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	各種 0.28m3を超え0.30m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	54,880	54,880	
計					54,880	
単価					54,880	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－68号	現場打ち集水桝	500x500x1100	単位	箇所	数量	1	単価	96,880

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	18-8-25(高炉) 0.61m3を超え0.65m3以下 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設	箇所	1	96,880	96,880	
計					96,880	
単価					96,880	円／箇所

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－69号	現場打ち集水桝	500x500x1500	単位	箇所	数量	1	単価	129,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	18-8-25(高炉) 0.87m3を超え0.92m3以下 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設	箇所	1	129,300	129,300	
計					129,300	
単価					129,300	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－70号	現場打ち集水桝	500x500x1900	単位	箇所	数量	1	単価	167,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	18-8-25(高炉) 1.09m3を超え1.15m3以下 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設	箇所	1	167,400	167,400	
計					167,400	
単価					167,400	円／箇所

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－71号	現場打ち集水桝	集水桝(1) 600x600x550	単位	箇所	数量	1	単価	57,280

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	各種 0.30m3を超え0.32m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	57,280	57,280	
計					57,280	
単価					57,280	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－72号	ｽｸﾘｰﾝ	ｽﾃﾝﾚｽ製 2300x1200x50	単位	枚	数量	1	単価	546,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スクリーン材料費	ステンレス 2300x1200x50	枚	1	546,000	546,000	
計					546,000	
単価					546,000	円／枚

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－73号	下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 300ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	1,243

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（車道・路肩部）	300mm 2層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 全ての費用	ｍ２	1	1,243	1,243	
計					1,243	
単価					1,243	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－74号	上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 300ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	1,404

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
上層路盤（車道・路肩部）	再生粒度調整砕石 RM-40 300mm 2層施工 全ての費用	ｍ２	1	1,404	1,404	
計					1,404	
単価					1,404	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－75号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	2,168

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層（車道・路肩部）	3.0m超 50mm 再生密粒度アスコン（２０） ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3 全ての費用	ｍ２	1	2,168	2,168	
計					2,168	
単価					2,168	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－76号	下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	619.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（車道・路肩部）	150mm 1層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 全ての費用	ｍ２	1	619.8	619.8	
計					619.8	
単価					619.8	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－77号	上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 150ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	699.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
上層路盤（車道・路肩部）	再生粒度調整砕石 RM-40 150mm 1層施工 全ての費用	ｍ２	1	699.4	699.4	
計					699.4	
単価					699.4	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－78号	基層(車道・路肩部)	再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	2,143

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基層（車道・路肩部）	3.0m超 50mm 再生粗粒度アスコン（２０） ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3 全ての費用	ｍ２	1	2,143	2,143	
計					2,143	
単価					2,143	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－79号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	2,051

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層（車道・路肩部）	3.0m超 50mm 再生密粒度アスコン（２０） ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4 全ての費用	ｍ２	1	2,051	2,051	
計					2,051	
単価					2,051	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－80号	下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	619.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（車道・路肩部）	150mm 1層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 全ての費用	ｍ２	1	619.8	619.8	
計					619.8	
単価					619.8	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－81号	上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 150ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	699.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
上層路盤（車道・路肩部）	再生粒度調整砕石 RM-40 150mm 1層施工 全ての費用	ｍ２	1	699.4	699.4	
計					699.4	
単価					699.4	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－82号	基層(車道・路肩部)	再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	2,143

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基層（車道・路肩部）	3.0m超 50mm 再生粗粒度アスコン（２０） ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3 全ての費用	ｍ２	1	2,143	2,143	
計					2,143	
単価					2,143	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－83号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	2,051

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層（車道・路肩部）	3.0m超 50mm 再生密粒度アスコン（２０） ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4 全ての費用	ｍ２	1	2,051	2,051	
計					2,051	
単価					2,051	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－84号	下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 190ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	691.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（車道・路肩部）	190mm 1層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 全ての費用	ｍ２	1	691.2	691.2	
計					691.2	
単価					691.2	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－85号	上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 150ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	699.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
上層路盤（車道・路肩部）	再生粒度調整砕石 RM-40 150mm 1層施工 全ての費用	ｍ２	1	699.4	699.4	
計					699.4	
単価					699.4	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－86号	基層(車道・路肩部)	再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 110ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	4,517

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基層（車道・路肩部）	3.0m超 55mm 再生粗粒度アスコン（２０） ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3 全ての費用	ｍ２	1	2,317	2,317	
基層（車道・路肩部）	3.0m超 55mm 再生粗粒度アスコン（２０） ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4 全ての費用	ｍ２	1	2,200	2,200	
計					4,517	
単価					4,517	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－87号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	2,051

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層（車道・路肩部）	3.0m超 50mm 再生密粒度アスコン（２０） ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4 全ての費用	ｍ２	1	2,051	2,051	
計					2,051	
単価					2,051	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－88号	基層(車道・路肩部)	再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 110ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	4,517

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基層（車道・路肩部）	3.0m超 55mm 再生粗粒度アスコン（２０） ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3 全ての費用	ｍ２	1	2,317	2,317	
基層（車道・路肩部）	3.0m超 55mm 再生粗粒度アスコン（２０） ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4 全ての費用	ｍ２	1	2,200	2,200	
計					4,517	
単価					4,517	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－89号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	2,051

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層（車道・路肩部）	3.0m超 50mm 再生密粒度アスコン（２０） ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4 全ての費用	ｍ２	1	2,051	2,051	
計					2,051	
単価					2,051	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－90号	下層路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 250ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	1,930

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（歩道部）	250mm 2層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 全ての費用	ｍ２	1	1,930	1,930	
計					1,930	
単価					1,930	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－91号	表層(歩道部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	2,310

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層（歩道部）	1.4m以上 50mm 再生密粒度アスコン（２０） ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3 全ての費用	ｍ２	1	2,310	2,310	
計					2,310	
単価					2,310	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－92号	下層路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 250ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	1,930

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（歩道部）	250mm 2層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 全ての費用	ｍ２	1	1,930	1,930	
計					1,930	
単価					1,930	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－93号	基層(歩道部)	再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	2,285

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基層（歩道部）	1.4m以上 50mm 再生粗粒度アスコン（２０） ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3 全ての費用	ｍ２	1	2,285	2,285	
計					2,285	
単価					2,285	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－94号	表層(歩道部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	2,192

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層（歩道部）	1.4m以上 50mm 再生密粒度アスコン（２０） ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4 全ての費用	ｍ２	1	2,192	2,192	
計					2,192	
単価					2,192	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－95号	ﾌｨﾙﾀｰ層	再生砂 仕上り厚 100ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	1,154

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フィルター層	100mm以上120mm未満	ｍ２	1	1,154	1,154	
計					1,154	
単価					1,154	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－96号	路盤(路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	920.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（歩道部）	100mm 1層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 全ての費用	ｍ２	1	920.2	920.2	
計					920.2	
単価					920.2	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－97号	表層	透水性ｱｽｺﾝ 舗装厚 40ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	2,225

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
透水性アスファルト舗装	1.4m以上2.4m未満 40mm 各種(2.00以上2.10t/m3未満)	ｍ２	1	2,225	2,225	
計					2,225	
単価					2,225	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－98号	ﾌｨﾙﾀｰ層	再生砂 仕上り厚 100ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	1,154

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フィルター層	100mm以上120mm未満	ｍ２	1	1,154	1,154	
計					1,154	
単価					1,154	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－99号	路盤(路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	920.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（歩道部）	100mm 1層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 全ての費用	ｍ２	1	920.2	920.2	
計					920.2	
単価					920.2	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－100号	表層	透水性ｱｽｺﾝ 舗装厚 40ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	2,225

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
透水性アスファルト舗装	1.4m以上2.4m未満 40mm 各種(2.00以上2.10t/m3未満)	ｍ２	1	2,225	2,225	
計					2,225	
単価					2,225	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－101号	薄層ｶﾗｰ舗装	RPN-301	単位	m2	数量	1	単価	6,120

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
樹脂系すべり止め舗装工	車道(ETCﾚｰﾝ含む) RPN-301 100m2以上(標準) 無 無 無 無 無 1.0m超え(標準)	ｍ２	1	6,120	6,120	
計					6,120	
単価					6,120	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－102号	仮設防護柵	Gr-B-2B	単位	m	数量	10	単価	41,660

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設防護柵設置	無し 無し H鋼基礎	m	10	1,654	16,540	
仮設防護柵材料費	Gr-B-2B 5.0m/基 白色	基	2	200,000	400,000	
計					416,540	
単価					41,660	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－103号	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	塗装品 Gr-C-2B	単位	m	数量	1	単価	13,220

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防護柵設置工（ガードレール設置工）	ｺﾝｸﾘｰﾄ建込 Gr-C-2B 塗装品 21m以上100m未満 無 無 無 加算無し	m	1	13,220	13,220	
計					13,220	
単価					13,220	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－104号	転落(横断)防止柵	土中建込 柵高1.1m 4断ﾋﾞｰﾑ型 支柱間隔3.0m	単位	m	数量	1	単価	10,460

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防護柵（横断・転落防止柵）設置工	土中建込 ﾋﾞｰﾑ式･ﾊﾟﾈﾙ式 3m 無 50m以上100m未満 無	m	1	10,460	10,460	
計					10,460	
単価					10,460	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－105号	転落(横断)防止柵	ｺﾝｸﾘｰﾄ建込 柵高1.1m 4断ﾋﾞｰﾑ型 支柱間隔3.0m	単位	m	数量	1	単価	9,167

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防護柵（横断・転落防止柵）設置工	ｺﾝｸﾘｰﾄ建込 ﾋﾞｰﾑ式･ﾊﾟﾈﾙ式 3m 100m未満 無	m	1	9,167	9,167	
計					9,167	
単価					9,167	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－106号	転落(横断)防止柵	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ建込 柵高1.1m 縦格子型 支柱間隔3.0m	単位	m	数量	1	単価	13,770

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防護柵（横断・転落防止柵）設置工	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ建込 ﾋﾞｰﾑ式･ﾊﾟﾈﾙ式 3m 100m未満 無	m	1	13,770	13,770	
計					13,770	
単価					13,770	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－107号	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	L型側溝 一般部 両面 180/240x300x600	単位	m	数量	1	単価	6,703

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
歩車道境界ブロック	設置 各種(600㎜以下､50kg以上100kg未満) 1.65個/m 無し 無し	m	1	6,703	6,703	
計					6,703	
単価					6,703	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－108号	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	L型側溝 平坦部 203/210x70x600	単位	m	数量	1	単価	5,450

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
歩車道境界ブロック	設置 各種(600㎜以下､50kg未満) 1.65個/m 無し 無し	m	1	5,450	5,450	
計					5,450	
単価					5,450	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－109号	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	L型側溝 A-1 一般部 両面 180/240x300x600	単位	m	数量	1	単価	6,703

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
歩車道境界ブロック	設置 各種(600㎜以下､50kg以上100kg未満) 1.65個/m 無し 無し	m	1	6,703	6,703	
計					6,703	
単価					6,703	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－110号	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	L型側溝 A-2 平坦部 203/210x70x600	単位	m	数量	1	単価	5,450

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
歩車道境界ブロック	設置 各種(600㎜以下､50kg未満) 1.65個/m 無し 無し	m	1	5,450	5,450	
計					5,450	
単価					5,450	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－111号	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	B-1 一般部 両面 180/240x300x600	単位	m	数量	1	単価	9,968

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
歩車道境界ブロック	設置 各種(600㎜以下､50kg以上100kg未満) 1.65個/m 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40	m	1	9,968	9,968	
計					9,968	
単価					9,968	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－112号	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	B-2 乗入部 200/210x100x600	単位	m	数量	1	単価	6,243

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
歩車道境界ブロック	設置 各種(600㎜以下､50kg未満) 1.65個/m 無し 無し	m	1	6,243	6,243	
計					6,243	
単価					6,243	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－113号	地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	(A) C種(150×150×600) 基礎砕石	単位	m	数量	1	単価	5,063

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
地先境界ブロック	設置 C種(150×150×600) 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 無し	m	1	5,063	5,063	
計					5,063	
単価					5,063	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－114号	地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	(B) C種(150×150×600) 基礎砕石+均しｺﾝｸﾘｰﾄ	単位	m	数量	1	単価	7,561

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
地先境界ブロック	設置 C種(150×150×600) 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種) 有り	m	1	7,561	7,561	
計					7,561	
単価					7,561	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－115号	境石	(C) 240x240 18-8-25(20)高炉 W/C指定無し	単位	m	数量	10	単価	6,918

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m３	0.576	39,000	22,464	
型枠	一般型枠 小型構造物	m２	4.8	9,731	46,708.8	
計					69,172.8	
単価					6,918	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－116号	溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	422.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	無し 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	422.2	422.2	
計					422.2	
単価					422.2	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－117号	溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	449.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	無し 溶融式手動 無し 破線 15cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	449.2	449.2	
計					449.2	
単価					449.2	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－118号	溶融式区画線	溶融式手動 実線 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	982.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	無し 溶融式手動 無し 実線 45cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	982.4	982.4	
計					982.4	
単価					982.4	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－119号	溶融式区画線	溶融式手動 破線 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	1,025

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	無し 溶融式手動 無し 破線 45cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	1,025	1,025	
計					1,025	
単価					1,025	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－120号	溶融式区画線	溶融式手動 ゼブラ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	1,078

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	無し 溶融式手動 無し ゼブラ 45cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	1,078	1,078	
計					1,078	
単価					1,078	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－121号	溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	947.3

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	無し 溶融式手動 無し 矢印･記号･文字 15cm換算 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	m	1	947.3	947.3	
計					947.3	
単価					947.3	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－122号	溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	422.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	無し 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	422.2	422.2	
計					422.2	
単価					422.2	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－123号	溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	449.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	無し 溶融式手動 無し 破線 15cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	449.2	449.2	
計					449.2	
単価					449.2	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－124号	溶融式区画線	溶融式手動 破線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	791.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	無し 溶融式手動 無し 破線 30cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	791.2	791.2	
計					791.2	
単価					791.2	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－125号	溶融式区画線	溶融式手動 実線 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	982.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	無し 溶融式手動 無し 実線 45cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	982.4	982.4	
計					982.4	
単価					982.4	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－126号	溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	947.3

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	無し 溶融式手動 無し 矢印･記号･文字 15cm換算 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	m	1	947.3	947.3	
計					947.3	
単価					947.3	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－127号	仮設防護柵撤去	Gr-B-2B	単位	m	数量	1	単価	1,375

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設防護柵撤去	無し 無し H鋼基礎	m	1	1,375	1,375	
計					1,375	
単価					1,375	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－128号	舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	単位	m	数量	1	単価	747.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下 全ての費用	m	1	747.6	747.6	
計					747.6	
単価					747.6	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－129号	舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cmを超え30cm以下	単位	m	数量	1	単価	1,574

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cmを超え30cm以下 全ての費用	m	1	1,574	1,574	
計					1,574	
単価					1,574	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－130号	舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 4ｃｍ	単位	m2	数量	1	単価	229.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 無し 不要 15cm以下 有り 全ての費用	ｍ２	1	229.2	229.2	
計					229.2	
単価					229.2	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－131号	舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 16ｃｍ	単位	m2	数量	1	単価	635.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 無し 不要 15cmを超え40cm以下 有り 全ての費用	ｍ２	1	635.5	635.5	
計					635.5	
単価					635.5	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－132号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	9,018

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	無筋構造物 機械施工 無し 無し 不要	ｍ３	1	9,018	9,018	
計					9,018	
単価					9,018	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－133号	舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 ４ｃｍ	単位	m2	数量	1	単価	229.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 無し 不要 15cm以下 有り 全ての費用	ｍ２	1	229.2	229.2	
計					229.2	
単価					229.2	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－134号	舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 ５ｃｍ	単位	m2	数量	1	単価	229.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 無し 不要 15cm以下 有り 全ての費用	ｍ２	1	229.2	229.2	
計					229.2	
単価					229.2	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－135号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	9,018

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	無筋構造物 機械施工 無し 無し 不要	ｍ３	1	9,018	9,018	
計					9,018	
単価					9,018	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－136号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	18,420

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 不要	ｍ３	1	18,420	18,420	
計					18,420	
単価					18,420	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－137号	舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	単位	m	数量	1	単価	747.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下 全ての費用	m	1	747.6	747.6	
計					747.6	
単価					747.6	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－138号	舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 15ｃｍ	単位	m2	数量	1	単価	229.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 無し 不要 15cm以下 有り 全ての費用	ｍ２	1	229.2	229.2	
計					229.2	
単価					229.2	円／m2

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－139号	管(函)渠型側溝撤去	撤去	単位	m	数量	1	単価	2,062

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
管（函）渠型側溝	撤去 200㎜以上300㎜以下 全ての費用	m	1	2,062	2,062	
計					2,062	
単価					2,062	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－140号	集水桝撤去	600kgを超え800kg以下	単位	基	数量	1	単価	4,208

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャスト集水桝	撤去 600kgを超え800kg以下 全ての費用	基	1	4,208	4,208	
計					4,208	
単価					4,208	円／基

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－141号	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ撤去	再利用	単位	m	数量	1	単価	1,536

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
歩車道境界ブロック撤去	再利用	m	1	1,536	1,536	
計					1,536	
単価					1,536	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－142号	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ撤去	再利用	単位	m	数量	1	単価	1,536

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
歩車道境界ブロック撤去	再利用	m	1	1,536	1,536	
計					1,536	
単価					1,536	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－143号	殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	4,147

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) 有り 10.5km以下 全ての費用	ｍ３	1	4,147	4,147	
計					4,147	
単価					4,147	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－144号	殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	3,760

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	3,760	3,760	
計					3,760	
単価					3,760	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－145号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	2,359

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 10.9km以下 全ての費用	ｍ３	1	2,359	2,359	
計					2,359	
単価					2,359	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－146号	殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	4,147

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) 有り 10.5km以下 全ての費用	ｍ３	1	4,147	4,147	
計					4,147	
単価					4,147	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－147号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	3,525

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	3,525	3,525	
計					3,525	
単価					3,525	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－148号	殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	3,760

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	3,760	3,760	
計					3,760	
単価					3,760	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－149号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	2,359

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 10.9km以下 全ての費用	ｍ３	1	2,359	2,359	
計					2,359	
単価					2,359	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－150号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	2,178

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 5.7km以下 全ての費用	ｍ３	1	2,178	2,178	
計					2,178	
単価					2,178	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－151号	殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	4,147

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) 有り 10.5km以下 全ての費用	ｍ３	1	4,147	4,147	
計					4,147	
単価					4,147	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－152号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	3,525

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	3,525	3,525	
計					3,525	
単価					3,525	円／m3

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－153号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	5,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	5,500	5,500	
計					5,500	
単価					5,500	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－154号	殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	3,760

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	3,760	3,760	
計					3,760	
単価					3,760	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－155号	鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 12m 鋼矢板打込長 11.5m 平均鋼矢板引抜長 11.5m	単位	枚	数量	90	単価	44,020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦２５）	陸上 III型 12m以下	枚	90	19,330	1,739,700	
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	圧入(Nmax≦25) III型 陸上	回	1	110,500	110,500	
鋼矢板引抜き	陸上 III型 12m以下	枚	90	10,300	927,000	
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	圧入(Nmax≦25) III型 陸上	回	1	110,500	110,500	
鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 12m/枚 36日 無 有 3650円 無 1回	枚	90	11,930	1,073,700	
計					3,961,400	
単価					44,020	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－156号	頭部連結材	[-250x90x9x13	単位	t	数量	1.29	単価	182,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
切梁・腹起し設置・撤去	設置･撤去 無 標準(1.0)	t	1.29	58,780	75,826.2	
頭部連結材材料費	[-250x90x9x13	t	1.24	115,500	143,220	
副部材B材料費	不足弁償金（新品）部品（H-250～H-400）準用	t	0.05	330,000	16,500	
計					235,546.2	
単価					182,600	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－157号	暗渠排水管	据付・撤去 耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管Φ1350	単位	m	数量	29.8	単価	140,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管】						
暗渠排水管	据付･撤去 波状管 各種 1,100～1,500mm 不要 全ての費用	m	29.8	4,578	136,424.4	
暗渠排水管材料費	耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 Φ1350 R30 L=5m	m	29.8	125,800	3,748,840	
【砕石基礎：平均t=326mm】						
基礎砕石	12.5cmを超え17.5cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 全ての費用	m２	109	1,416	154,344	
基礎砕石	12.5cmを超え17.5cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 全ての費用	m２	109	1,416	154,344	
計					4,193,952.4	
単価					140,800	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－158号	大型土のう	耐候性大型土のう	単位	袋	数量	1	単価	8,890

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
大型土のう工	製作･設置 耐候性大型土のう 丸型φ110×110短期仮設(1年)対応 流用土 5m以下 -3m≦H≦2m	袋	1	7,843	7,843	
大型土のう工	撤去 6m以下 -3m≦H≦2m	袋	1	1,047	1,047	
計					8,890	
単価					8,890	円／袋

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－159号	交通誘導警備員 B	昼間勤務	単位	人日	数量	1	単価	18,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人日	1	18,000	18,000	
計					18,000	
単価					18,000	円／人日

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－160号	重建設機械分解組立輸送費	中層混合処理機(改良深度5m)	単位	回	数量	1	単価	2,160,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) 中層混合処理機 機械質量20t以上60t以下 標準(1.0)	回	1	2,160,000	2,160,000	
計					2,160,000	
単価					2,160,000	円／回

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－161号	重建設機械分解組立輸送費	中層混合処理機(改良深度8m)	単位	回	数量	1	単価	2,160,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) 中層混合処理機 機械質量20t以上60t以下 標準(1.0)	回	1	2,160,000	2,160,000	
計					2,160,000	
単価					2,160,000	円／回

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－162号	仮設材運搬費	仮設防護柵(片道)	単位	t	数量	1	単価	6,490

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	北海道･東北･関東･北陸･中部 30.5km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	1	4,990	4,990	
仮設材等の積込み, 取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	t	1	1,500	1,500	
計					6,490	
単価					6,490	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－163号	仮設材運搬費	鋼矢板(往復)	単位	t	数量	1	単価	12,980

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【往路】						
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	北海道･東北･関東･北陸･中部 30.5km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	1	4,990	4,990	
仮設材等の積込み, 取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	t	1	1,500	1,500	
【復路】						
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	北海道･東北･関東･北陸･中部 30.5km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	1	4,990	4,990	
仮設材等の積込み, 取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	t	1	1,500	1,500	
計					12,980	
単価					12,980	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－164号	仮設材運搬費	頭部連結材(片道)	単位	t	数量	1	単価	6,490

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	北海道･東北･関東･北陸･中部 30.5km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	1	4,990	4,990	
仮設材等の積込み, 取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	t	1	1,500	1,500	
計					6,490	
単価					6,490	円／t

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－165号	土壌分析費	六価クロム溶出試験費	単位	検体	数量	1	単価	7,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
六価クロム溶出試験費	環境庁告示第46号溶出試験	検体	1	7,800	7,800	
計					7,800	
単価					7,800	円／検体

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	路床盛土材料費	礫質土 路床用 最大粒径100㎜	単位	ｍ３	数量	1	単価	4,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（ｍ３）		ｍ３	1	4,500	4,500	
計					4,500	
単価					4,500	円／ｍ３

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	中層混合処理工（ＩＣＴ）	5m＜L≦8m 1,000m3未満 150kg/m3 無	単位	ｍ３	数量	100	単価	7,657

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.44	32,700	14,388	
特殊作業員		人	0.44	29,000	12,760	
普通作業員		人	0.88	25,900	22,792	
固化材材料費	セメント系固化材 高有機質土用 バラ	t	15.9	20,900	332,310	
中層混合処理機（ＩＣＴ）運転	5m＜L≦8m	日	0.44	605,100	266,244	
スラリプラント運転		日	0.44	82,320	36,220	
諸雑費（率＋まるめ） 23%		式	1		80,986	
計					765,700	
単価					7,657	円／ｍ３

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	中層混合処理工（ＩＣＴ）	2m＜L≦5m 1,000m3未満 130kg/m3 無	単位	ｍ３	数量	100	単価	6,965

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.527	32,700	17,232	
特殊作業員		人	0.527	29,000	15,283	
普通作業員		人	1.055	25,900	27,324	
固化材材料費	セメント系固化材 高有機質土用 バラ	t	13.78	20,900	288,002	
中層混合処理機（ＩＣＴ）運転	2m＜L≦5m	日	0.527	424,300	223,606	
スラリプラント運転		日	0.527	82,320	43,382	
諸雑費（率＋まるめ） 25%		式	1		81,671	
計					696,500	
単価					6,965	円／ｍ３

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	プレキャスト擁壁材料費	1750x2000 水抜き穴特殊	単位	本	数量	1	単価	115,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	115,000	115,000	
計					115,000	
単価					115,000	円／本

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	プレキャスト擁壁材料費	1750x1214 調整用 水抜き穴特殊	単位	本	数量	1	単価	161,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	161,000	161,000	
計					161,000	
単価					161,000	円／本

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	プレキャスト擁壁材料費	2000x2000 水抜き穴特殊	単位	本	数量	1	単価	142,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	142,000	142,000	
計					142,000	
単価					142,000	円／本

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	プレキャスト擁壁材料費	2250x2000 水抜き穴特殊	単位	本	数量	1	単価	167,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	167,000	167,000	
計					167,000	
単価					167,000	円／本

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ボックスカルバート材料費	1800x1200x2000 標準	単位	本	数量	1	単価	582,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	582,000	582,000	
計					582,000	
単価					582,000	円／本

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ボックスカルバート材料費	1800x1200x1094/1469 斜角 連結金具	単位	本	数量	1	単価	723,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	723,000	723,000	
計					723,000	
単価					723,000	円／本

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ボックスカルバート材料費	1800x1200x1193/1565 斜角 連結金具	単位	本	数量	1	単価	751,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	751,000	751,000	
計					751,000	
単価					751,000	円／本

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ボックスカルバート材料費	1800x1200x1255/1627 斜角 連結金具	単位	本	数量	1	単価	769,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	769,000	769,000	
計					769,000	
単価					769,000	円／本

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ボックスカルバート材料費	2000x1200x2000 標準	単位	本	数量	1	単価	677,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	677,000	677,000	
計					677,000	
単価					677,000	円／本

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鉄筋工　組立	一般構造物 SD345 D13 標準	単位	t	数量	1	単価	157,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.5	32,700	16,350	
鉄筋工		人	3.5	33,200	116,200	
普通作業員		人	0.3	25,900	7,770	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	最大吊上能力２５ｔ吊	日	0.11	53,200	5,852	
諸雑費（率＋まるめ） 8%		式	1		11,128	
計					157,300	
単価					157,300	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	U型側溝	据付け L=4000㎜ 無し 側溝(各種) L=2000㎜ 1000kg/個以下 無し 無し 無し	単位	m	数量	10	単価	11,190

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	Ｌ２０００　１０００ｋｇ以下　昼　無	m	10	3,681.75	36,817	
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ側溝材料費	300x300x4000	個	2.5	30,000	75,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		83	
計					111,900	
単価					11,190	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	3,668

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	１７０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	1,038	103,800	
側溝蓋材料費	300x100x600 普通型	枚	100	2,630	263,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					366,800	
単価					3,668	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	3,668

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	１７０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	1,038	103,800	
側溝蓋材料費	300x100x600 手掛型	枚	100	2,630	263,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					366,800	
単価					3,668	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	4,318

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	１７０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	1,038	103,800	
側溝蓋材料費	300x100x600 網付型	枚	100	3,280	328,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					431,800	
単価					4,318	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	暗渠排水管材料費	VUΦ200	単位	m	数量	4	単価	3,275

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	13,100	13,100	
計					13,100	
単価					3,275	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	暗渠排水管材料費	耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ管 管剛性30 Φ1350 L=3000	単位	本	数量	1	単価	593,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	593,000	593,000	
計					593,000	
単価					593,000	円／本

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	暗渠排水管材料費	耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ管 特殊45° ｴﾙﾎﾞ L=1636+2188	単位	本	数量	1	単価	1,900,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	1,900,000	1,900,000	
計					1,900,000	
単価					1,900,000	円／本

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	スクリーン材料費	ステンレス 2300x1200x50	単位	枚	数量	1	単価	546,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（枚）		枚	1	546,000	546,000	
計					546,000	
単価					546,000	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	樹脂系すべり止め舗装工	車道(ETCﾚｰﾝ含む) RPN-301 100m2以上(標準) 無 無 無 無 無 1.0m超え(標準)	単位	ｍ２	数量	1	単価	6,120

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
樹脂系すべり止め舗装工	ＲＰＮ－３０１	ｍ２	1	6,120	6,120	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,120	
単価					6,120	円／ｍ２

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設防護柵設置	無し 無し H鋼基礎	単位	m	数量	1	単価	1,654

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設防護柵設置 昼間	H鋼 時間制約無	m	1	1,654	1,654	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,654	
単価					1,654	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設防護柵材料費	Gr-B-2B 5.0m/基 白色	単位	基	数量	1	単価	200,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	200,000	200,000	
計					200,000	
単価					200,000	円／基

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	防護柵設置工（ガードレール設置工）	ｺﾝｸﾘｰﾄ建込 Gr-C-2B 塗装品 21m以上100m未満 無 無 無 加算無し	単位	m	数量	1	単価	13,220

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガードレール設置工　コンクリート建込用	Ｇｒ－Ｃ－２Ｂ　塗装	m	1	13,212	13,212	
諸雑費（まるめ）		式	1		8	
計					13,220	
単価					13,220	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	防護柵（横断・転落防止柵）設置工	土中建込 ﾋﾞｰﾑ式･ﾊﾟﾈﾙ式 3m 無 50m以上100m未満 無	単位	m	数量	100	単価	10,460

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横断・転落防止柵設置工　土中建込用	ビーム式・パネル式	m	100	2,175	217,500	
転落防止柵材料費	柵高1.1m 4断ﾋﾞｰﾑ型 E-2.3x42.7x3000	m	100	8,280	828,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		500	
計					1,046,000	
単価					10,460	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	防護柵（横断・転落防止柵）設置工	ｺﾝｸﾘｰﾄ建込 ﾋﾞｰﾑ式･ﾊﾟﾈﾙ式 3m 100m未満 無	単位	m	数量	100	単価	9,167

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横断・転落防止柵設置工　コンクリート建込用	ビーム式・パネル式	m	100	1,647	164,700	
転落防止柵材料費	柵高1.1m 4断ﾋﾞｰﾑ型 W-2.3x42.7x3000	m	100	7,520	752,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					916,700	
単価					9,167	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	防護柵（横断・転落防止柵）設置工	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ建込 ﾋﾞｰﾑ式･ﾊﾟﾈﾙ式 3m 100m未満 無	単位	m	数量	100	単価	13,770

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横断・転落防止柵設置工　ブロック建込用	ビーム式・パネル式	m	100	3,825	382,500	
転落防止柵材料費	柵高1.1m 縦格子型 C-2.3x42.7x3000	m	100	9,940	994,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		500	
計					1,377,000	
単価					13,770	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	区画線設置	無し 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	422.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	昼間　豪雪無　実線15cm　制約無	m	1,000	239.33	239,330	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	570	252	143,640	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	25	187	4,675	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	25	785	19,625	
軽油		L	43	145	6,235	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		8,695	
計					422,200	
単価					422.2	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	区画線設置	無し 溶融式手動 無し 破線 15cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	449.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	昼間　豪雪無　破線15cm　制約無	m	1,000	265.72	265,720	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	570	252	143,640	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	25	187	4,675	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	25	785	19,625	
軽油		L	47	145	6,815	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		8,725	
計					449,200	
単価					449.2	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	区画線設置	無し 溶融式手動 無し 実線 45cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	982.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	昼間　豪雪無　実線45cm　制約無	m	1,000	444.08	444,080	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	1,700	252	428,400	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	75	187	14,025	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	75	785	58,875	
軽油		L	79	145	11,455	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		25,565	
計					982,400	
単価					982.4	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	区画線設置	無し 溶融式手動 無し 破線 45cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	1,025

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	昼間　豪雪無　破線45cm　制約無	m	1,000	485.94	485,940	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	1,700	252	428,400	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	75	187	14,025	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	75	785	58,875	
軽油		L	87	145	12,615	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		25,145	
計					1,025,000	
単価					1,025	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	区画線設置	無し 溶融式手動 無し ゼブラ 45cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	1,078

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	昼間　豪雪無　ゼブラ45cm　制約無	m	1,000	537.81	537,810	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	1,700	252	428,400	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	75	187	14,025	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	75	785	58,875	
軽油		L	96	145	13,920	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		24,970	
計					1,078,000	
単価					1,078	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	区画線設置	無し 溶融式手動 無し 矢印･記号･文字 15cm換算 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	単位	m	数量	1,000	単価	947.3

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	昼間　豪雪無　矢印・記号・文字　制約無	m	1,200	596.96	716,352	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	684	252	172,368	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	30	187	5,610	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	30	785	23,550	
軽油		L	127.2	145	18,444	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		10,976	
計					947,300	
単価					947.3	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	区画線設置	無し 溶融式手動 無し 破線 30cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	791.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	昼間　豪雪無　破線30cm　制約無	m	1,000	429.52	429,520	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	1,130	252	284,760	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	50	187	9,350	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	50	785	39,250	
軽油		L	77	145	11,165	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		17,155	
計					791,200	
単価					791.2	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設防護柵撤去	無し 無し H鋼基礎	単位	m	数量	1	単価	1,375

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設防護柵撤去 昼間	H鋼 時間制約無	m	1	1,375	1,375	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,375	
単価					1,375	円／m

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	構造物とりこわし	無筋構造物 機械施工 無し 無し 不要	単位	m３	数量	1	単価	9,018

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
無筋構造物	昼間　機械施工　制約無	m３	1	9,018	9,018	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					9,018	
単価					9,018	円／m３

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	構造物とりこわし	鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 不要	単位	ｍ３	数量	1	単価	18,420

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋構造物	昼間　機械施工　制約無	ｍ３	1	18,420	18,420	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					18,420	
単価					18,420	円／ｍ３

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（ｍ３）		単位	ｍ３	数量	100	単価	3,760

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費：アスファルト殻(掘削材)	三井住建道路(株) 東松山合材工場	ｍ３	100	3,760	376,000	
計					376,000	
単価					3,760	円／ｍ３

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（ｍ３）		単位	ｍ３	数量	100	単価	3,525

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費：コンクリート殻(無筋)	(有)加賀崎建材興業 リサイクル工場	ｍ３	100	3,525	352,500	
計					352,500	
単価					3,525	円／ｍ３

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（ｍ３）		単位	ｍ３	数量	100	単価	5,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費：コンクリート殻(鉄筋)	(株)杉浦土木	ｍ３	100	5,500	550,000	
計					550,000	
単価					5,500	円／ｍ３

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦２５）	陸上 III型 12m以下	単位	枚	数量	10	単価	19,330

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.476	32,700	15,565	
特殊作業員		人	0.476	29,000	13,804	
とび工		人	0.952	32,400	30,844	
油圧式杭圧入引抜機運転	圧入(Nmax≦25) III型	日	0.476	179,500	85,442	
ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ｶﾞｽ対策型(第3次基準値)	日	0.476	96,150	45,767	
諸雑費（率＋まるめ） 1%		式	1		1,878	
計					193,300	
単価					19,330	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	油圧式杭圧入引抜機据付・解体	圧入(Nmax≦25) III型 陸上	単位	回	数量	1	単価	110,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.29	32,700	9,483	
特殊作業員		人	0.29	29,000	8,410	
とび工		人	0.58	32,400	18,792	
油圧式杭圧入引抜機運転	圧入(Nmax≦25) III型	日	0.25	179,500	44,875	
ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ｶﾞｽ対策型(第3次基準値)	日	0.3	96,150	28,845	
諸雑費（まるめ）		式	1		95	
計					110,500	
単価					110,500	円／回

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼矢板引抜き	陸上 III型 12m以下	単位	枚	数量	10	単価	10,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.256	32,700	8,371	
特殊作業員		人	0.256	29,000	7,424	
とび工		人	0.513	32,400	16,621	
油圧式杭圧入引抜機運転	引抜き III型	日	0.256	179,500	45,952	
ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ｶﾞｽ対策型(第3次基準値)	日	0.256	96,150	24,614	
諸雑費（率＋まるめ） 0.1%		式	1		18	
計					103,000	
単価					10,300	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 12m/枚 36日 無 有 3650円 無 1回	単位	枚	数量	1	単価	11,930

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板（本矢板）	３型（６０ｋｇ／ｍ）	t	0.72	3,420	2,462	
鋼矢板　修理費及び損耗費		t	0.72	13,140	9,460	
諸雑費（まるめ）		式	1		8	
計					11,930	
単価					11,930	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	切梁・腹起し設置・撤去	設置･撤去 無 標準(1.0)	単位	t	数量	10	単価	58,780

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
切梁・腹起し設置	無 標準(1.0)	t	10	36,780	367,800	
切梁・腹起し撤去	無 標準(1.0)	t	10	22,000	220,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					587,800	
単価					58,780	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	頭部連結材材料費	[-250x90x9x13	単位	t	数量	1	単価	115,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（ｔ）		t	1	115,500	115,500	
計					115,500	
単価					115,500	円／ｔ

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	副部材B材料費	不足弁償金（新品）部品（H-250～H-400）準用	単位	t	数量	1	単価	330,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（ｔ）		t	1	330,000	330,000	
計					330,000	
単価					330,000	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	暗渠排水管材料費	耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 Φ1350 R30 L=5m	単位	m	数量	5	単価	125,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	629,000	629,000	
計					629,000	
単価					125,800	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	大型土のう工	製作･設置 耐候性大型土のう 丸型φ110×110短期仮設(1年)対応 流用土 5m以下 -3m≦H≦2m	単位	袋	数量	10	単価	7,843

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.294	32,700	9,613	
特殊作業員		人	0.294	29,000	8,526	
普通作業員		人	0.294	25,900	7,614	
耐候性大型土のう	丸型　φ110cm×110cm　短期仮設（1年）対応	袋	10	3,770	37,700	
バックホウ運転（クレーン仕様）	製作･設置 5m以下 -3m≦H≦2m	日	0.294	50,070	14,720	
諸雑費（率＋まるめ） 1%		式	1		257	
計					78,430	
単価					7,843	円／袋

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	大型土のう工	撤去 6m以下 -3m≦H≦2m	単位	袋	数量	10	単価	1,047

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.087	32,700	2,844	
特殊作業員		人	0.087	29,000	2,523	
バックホウ運転（クレーン仕様）	撤去 6m以下 -3m≦H≦2m	日	0.087	58,450	5,085	
諸雑費（率＋まるめ） 0.4%		式	1		18	
計					10,470	
単価					1,047	円／袋

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ｂ		単位	人日	数量	1	単価	18,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人	1	18,000	18,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					18,000	
単価					18,000	円／人日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) 中層混合処理機 機械質量20t以上60t以下 標準(1.0)	単位	回	数量	1	単価	2,160,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人	16	29,000	464,000	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	最大吊上能力２５ｔ吊	日	2.4	53,200	127,680	
運搬費等率 265%		式	1		1,567,952	
諸雑費（まるめ）		式	1		368	
計					2,160,000	
単価					2,160,000	円／回

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運	北海道･東北･関東･北陸･中部 30.5km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	単位	t	数量	1	単価	4,990

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分Ｂ	製品長12m以内 40kmまで	t	1	4,990	4,990	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					4,990	
単価					4,990	円／ｔ

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設材等の積込み，取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	単位	t	数量	1	単価	1,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込み．取卸し費（仮設材等）		t	1	1,500	1,500	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,500	
単価					1,500	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	システム初期費（ＩＣＴ）	ﾊﾞｯｸﾎｳ	単位	式	数量	1	単価	598,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
システム初期費	バックホウ	式	1		598,000	
計					598,000	
単価					598,000	円／式

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	システム初期費（ＩＣＴ）	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ	単位	式	数量	1	単価	548,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
システム初期費	ブルドーザ	式	1		548,000	
計					548,000	
単価					548,000	円／式

参考資料（１）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	システム初期費（ＩＣＴ）	中層混合処理機	単位	式	数量	1	単価	1,150,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
システム初期費	中層混合処理機	式	1		1,150,000	
計					1,150,000	
単価					1,150,000	円／式

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用	技術員 1.75人	単位	式	数量	1	単価	64,225

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
技術員		人	1.75	36,700	64,225	
計					64,225	
単価					64,225	円／式

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（ｍ３）		単位	ｍ３	数量	1	単価	4,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路床盛土材料費	礫質土 路床用 最大粒径100㎜	ｍ３	1	4,500	4,500	
計					4,500	
単価					4,500	円／ｍ３

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	中層混合処理機（ＩＣＴ）運転	5m＜L≦8m	単位	日	数量	1	単価	605,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	31,700	31,700	
軽油		Ｌ	183	145	26,535	
中層混合処理機（トレンチャ式）［ベースマシン］	通称バケット容量３０ｔ（１．４ｍ３）級バックホウ	供用日	1.68	44,800	75,264	
中層混合処理機（トレンチャ式）［撹拌混合装置］	改良深度（標準）８ｍ　適合ベースマシン３０ｔ級	供用日	1.68	207,000	347,760	
施工管理装置　１ピースブーム用（第１ブーム用）	施工幅０～６４００mm施工深さ０～１００００ｍｍ	供用日	1.68	25,700	43,176	
ＩＣＴ建設機械経費損料加算額	中層混合処理機（トレンチャ式）	供用日	1.68	48,000	80,640	
諸雑費（まるめ）		式	1		25	
計					605,100	
単価					605,100	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	スラリプラント運転		単位	日	数量	1	単価	82,320

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
深層混合処理機スラリー式〔スラリプラント全自動〕	プラント練能力２０ｍ３／ｈ	供用日	1.68	49,000	82,320	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					82,320	
単価					82,320	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	中層混合処理機（ＩＣＴ）運転	2m＜L≦5m	単位	日	数量	1	単価	424,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	31,700	31,700	
軽油		Ｌ	113	145	16,385	
中層混合処理機（トレンチャ式）［ベースマシン］	通称バケット容量２０ｔ（０．８ｍ３）級バックホウ	供用日	1.68	27,200	45,696	
中層混合処理機（トレンチャ式）［撹拌混合装置］	改良深度（標準）５ｍ　適合ベースマシン２０ｔ級	供用日	1.68	123,000	206,640	
施工管理装置　１ピースブーム用（第１ブーム用）	施工幅０～６４００mm施工深さ０～１００００mm	供用日	1.68	25,700	43,176	
ＩＣＴ建設機械経費損料加算額	中層混合処理機（トレンチャ式）	供用日	1.68	48,000	80,640	
諸雑費（まるめ）		式	1		63	
計					424,300	
単価					424,300	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	115,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャスト擁壁材料費	1750x2000 水抜き穴特殊	本	1	115,000	115,000	
計					115,000	
単価					115,000	円／本

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	161,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャスト擁壁材料費	1750x1214 調整用 水抜き穴特殊	本	1	161,000	161,000	
計					161,000	
単価					161,000	円／本

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	142,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャスト擁壁材料費	2000x2000 水抜き穴特殊	本	1	142,000	142,000	
計					142,000	
単価					142,000	円／本

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	167,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャスト擁壁材料費	2250x2000 水抜き穴特殊	本	1	167,000	167,000	
計					167,000	
単価					167,000	円／本

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	582,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ボックスカルバート材料費	1800x1200x2000 標準	本	1	582,000	582,000	
計					582,000	
単価					582,000	円／本

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	723,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ボックスカルバート材料費	1800x1200x1094/1469 斜角 連結金具	本	1	723,000	723,000	
計					723,000	
単価					723,000	円／本

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	751,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ボックスカルバート材料費	1800x1200x1193/1565 斜角 連結金具	本	1	751,000	751,000	
計					751,000	
単価					751,000	円／本

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	769,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ボックスカルバート材料費	1800x1200x1255/1627 斜角 連結金具	本	1	769,000	769,000	
計					769,000	
単価					769,000	円／本

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	677,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ボックスカルバート材料費	2000x1200x2000 標準	本	1	677,000	677,000	
計					677,000	
単価					677,000	円／本

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	13,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
暗渠排水管材料費	VUΦ200x4000	本	1	13,100	13,100	
計					13,100	
単価					13,100	円／本

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	593,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
暗渠排水管材料費	耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ管 管剛性30 Φ1350 L=3000	本	1	593,000	593,000	
計					593,000	
単価					593,000	円／本

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	1,900,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
暗渠排水管材料費	耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ管 特殊45° エルボ L=1636+2188	本	1	1,900,000	1,900,000	
計					1,900,000	
単価					1,900,000	円／本

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（枚）		単位	枚	数量	1	単価	546,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スクリーン材料費	ステンレス製 2300x1200x50	枚	1	546,000	546,000	
計					546,000	
単価					546,000	円／枚

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	200,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設防護柵材料費	Gr-B-2B 5.0m/基 白色	本	1	200,000	200,000	
計					200,000	
単価					200,000	円／本

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	油圧式杭圧入引抜機運転	圧入(Nmax≦25) III型	単位	日	数量	1	単価	179,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	128	145	18,560	
油圧式杭圧入引抜機［エンジン式ユニット］	排ガス型（２０１４年規制）　圧入８００ｋＮ	供用日	1.49	108,000	160,920	
諸雑費（まるめ）		式	1		20	
計					179,500	
単価					179,500	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ｶﾞｽ対策型(第3次基準値)	単位	日	数量	1	単価	96,150

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	31,700	31,700	
軽油		L	92	145	13,340	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	排出ガス対策型（第３次基準）最大吊上能力２５ｔ吊	供用日	1.49	34,300	51,107	
諸雑費（まるめ）		式	1		3	
計					96,150	
単価					96,150	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	油圧式杭圧入引抜機運転	引抜き III型	単位	日	数量	1	単価	179,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	128	145	18,560	
油圧式杭圧入引抜機［エンジン式ユニット］	排ガス型（２０１４年規制）　圧入８００ｋＮ	供用日	1.49	108,000	160,920	
諸雑費（まるめ）		式	1		20	
計					179,500	
単価					179,500	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	切梁・腹起し設置	無 標準(1.0)	単位	t	数量	10	単価	36,780

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.7	32,700	55,590	
とび工		人	3.2	32,400	103,680	
溶接工		人	1.7	35,800	60,860	
普通作業員		人	1.7	25,900	44,030	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	最大吊上能力２５ｔ吊	日	1.7	53,200	90,440	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		13,200	
計					367,800	
単価					36,780	円／ｔ

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	切梁・腹起し撤去	無 標準(1.0)	単位	t	数量	10	単価	22,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1	32,700	32,700	
とび工		人	1.9	32,400	61,560	
溶接工		人	1	35,800	35,800	
普通作業員		人	1	25,900	25,900	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	最大吊上能力２５ｔ吊	日	1	53,200	53,200	
諸雑費（率＋まるめ） 7%		式	1		10,840	
計					220,000	
単価					22,000	円／ｔ

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（ｔ）		単位	ｔ	数量	1	単価	115,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
頭部連結材材料費	溝型鋼［ - 250x90x9x13 ③小口	ｔ	1	115,500	115,500	
計					115,500	
単価					115,500	円／ｔ

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（ｔ）		単位	ｔ	数量	1	単価	330,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
副部材B材料費	不足弁償金（新品）部品（H-250～H-400）	ｔ	1	330,000	330,000	
計					330,000	
単価					330,000	円／ｔ

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	629,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
暗渠排水管材料費	耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ管 Φ1350 R30	本	1	629,000	629,000	
計					629,000	
単価					629,000	円／本

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バックホウ運転（クレーン仕様）	製作･設置 5m以下 -3m≦H≦2m	単位	日	数量	1	単価	50,070

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	31,700	31,700	
軽油		L	63	145	9,135	
ﾊﾞｯｸﾎｳ（ｸﾛｰﾗ型）［後方超小旋回・ｸﾚｰﾝ付］	バケット容量０．４５ｍ３　吊能力２．９t吊	日	1.28	7,210	9,228	
諸雑費（まるめ）		式	1		7	
計					50,070	
単価					50,070	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.09
歩掛使用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バックホウ運転（クレーン仕様）	撤去 6m以下 -3m≦H≦2m	単位	日	数量	1	単価	58,450

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	31,700	31,700	
軽油		L	101	145	14,645	
バックホウ（クローラ）［標準・クレーン機能付き］	バケット容量０．８ｍ３　吊能力２．９ｔ吊	日	1.21	10,000	12,100	
諸雑費（まるめ）		式	1		5	
計					58,450	
単価					58,450	円／日

（土木工事、鋼橋工場製作工事）

R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事

（ 当　　初 ）　請負工事費計算書

(1)直接工事費	126,770,329				
(2)共通仮設費	25,670,464				
(3)純工事費 (1)+(2)	152,440,793				
(4)現場管理費	48,821,000				
(5)工期延長等に伴う現場維持等の費用	0				
(6)工事原価 (3)+(4)+(5)+(18)	201,261,793				
(7')一般管理費等(計上額)	33,788,207	((7)一般管理費等(計算額)	33,789,235	)	
(8')その他費目計	0				
(9)業務委託料等	0				
(10)工事価格 (6)+(7')+(8')+(9) (万円未満切り捨て)	235,050,000				
(16)工場製作純工事費	0				
(17)工場管理費	0				
(18)工場製作原価 (16)+(17)	0				

(11)消費税相当額	23,505,000
(12)請負工事価格 (10)+(11)	258,555,000
(13)入札書比較価格 (請負工事費の100/110)	235,050,000
(14)調査基準価格	234,278,000
(15)調査基準価格の100/110 (万円未満切り捨て)	212,980,000

共通仮設費

主たる工種

単独（追加工事）： 道路改良工事　　合算工事： 0

対象工事費	126,770,329	直接工事費	126,770,329	準備費	0	事業損失	0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	1,247,074	現工事	0	合算工事	0

非対象額計（－）	0	
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）
管理費区分２， ７	0	（工場原価）
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）
管理費区分９	0	（間接費非対象額）
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額 ）
対象額　支　給　品（＋）	0	
無償貸付機械評価額（＋）	0	

共通仮設費対象額

単独（追加工事）	126,770,329	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く共通仮設費対象額	125,523,255		0		0

共通仮設費（率分）

率（補正前）	9.54 %		0 %		
施工地域等補正	1.2	ICT施工補正	1		
率（補正後）	11.45 %				
計上額	14,515,000		0		0

比較結果	当該追加工事	A			
	0	0		調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	125,523,255	直接工事費	126,770,329
非対象額計（－）	1,247,074		
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）	
管理費区分２，７	0	（工場原価）	
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）	
管理費区分９	0	（間接費非対象額）	
管理費区分Ｔ	1,247,074	（直接工事費に含まれる処分費等）	
対象額　支　給　品（＋）	0		
無償貸付機械評価額（＋）	0		
現場環境改善費対象額（Ｐｉ）			
単独（追加工事）	125,523,255	現工事	0
		合算工事	0

現場環境改善費					
率（補正前）	1.76 %		0 %		0 %
施工地域等補正	市街地				
率（補正後）	1.76 %				
計上額	2,209,000		0		0

比較結果	当該追加工事	Ａ	調整工事計上額	0
	0	0		

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	8,946,464				
運搬費	5,420,639	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	3,525,825
営繕費	0	現場環境改善費	0		

共通仮設費計	25,670,464

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	152,440,793	単独（追加工事）直接工事費	126,770,329	単独（追加工事）共通仮設費	25,670,464
非対象額計（－）	15,600				
管理費区分２，７	0	（工場原価）			
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分９	15,600	（間接費非対象額）			
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額 ）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	152,425,193	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	151,178,119		0		0
現場管理費対象純工事費　（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	29.12 %		0 %		0 %
施工地域等補正	1.1				
施工時期補正	0 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	32.03 %		0 %		
計上額	48,821,000		0		0
			7,921,185 （工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）		
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

一般管理費等（当初）

事務所名	大宮国道事務所　計画課			工事番号	2026081009	第 0 回変更
発注年月	令和08年08月	契約区分	国債（翌債を含む）の分任官	主工種	道路改良工事	

工事原価	201,261,793						
純工事費	152,440,793	現場管理費	48,821,000	工期延長等に伴う現場維持費		0	
非対象額計（－）	15,600						
管理費区分９	15,600	（支給品を除く間接費非対象額）					
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額 ）					
一般管理費等対象工事原価							
単独（追加工事）	201,246,193	現工事	0	合算工事		0	
全処分費等を除く							
一般管理費等対象工事原価	199,999,119	現工事	0	合算工事		0	
（調整工事入力で使用）							
前払金支出割合による補正係数	1	現工事					
財団法人等による補正係数	1						
契約保証に係る一般管理費対象工事原価	201,246,193						
契約保証に係る補正値	0.04 %						
一般管理費率							
単独（追加工事）	16.75 %	現工事	0 %	合算工事		0 %	

一般管理費	33,788,207	
業務委託料等	0	
調査基準価格	234,278,000	
調査基準価格の100/110	212,980,000	（ 90.61 %）

工　事　数　量　総　括　表

工 事 名　　Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事

国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所　計画課

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路改良		式		1		
道路土工		式		1		
掘削工 県道切回し		式		1		
掘削	土砂 小規模	m3		63		
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模 現場～仮置き場	m3		63		
整地	残土受入れ地での処理	m3		63		
掘削工(ICT) 現道復旧		式		1		
掘削(ICT)	土砂	m3		920		
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 現場～ 仮置き場	m3		920		
整地	残土受入れ地での処理	m3		920		
路体盛土工 現道復旧		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
路体(築堤)盛土	2.5m未満	m3		320		
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 小規模(標準)	m3		360		
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 仮置き場～現場	m3		360		
路体盛土工(ICT) 県道切回し		式		1		
路体(築堤)盛土(ICT)		m3		730		
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂	m3		810		
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 仮置き場～現場	m3		810		
路体盛土工(ICT) 現道復旧		式		1		
路体(築堤)盛土(ICT)		m3		830		
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂	m3		920		
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 仮置き場～現場	m3		920		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
路床盛土工(ICT) 現道復旧		式		1		
路床盛土(ICT)		m3		550		
土材料	礫質土 路床用 最大粒径100mm	m3		550		
路床置換工 現道復旧		式		1		
路床置換	路床盛土 4.0m以上	m3		540		
土材料	RC-40	m3		540		
作業土工 県道切回し		式		1		
床掘り	土砂 小規模	m3		16		
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模 現場～仮置き場	m3		16		
整地	残土受入れ地での処理	m3		16		
作業土工 現道復旧		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
床掘り	土砂 小規模	m3		38		
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模 現場～仮置き場	m3		38		
整地	残土受入れ地での処理	m3		38		
埋戻し	土砂 小規模	m3		30		
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 小規模	m3		34		
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模 仮置き場～現場	m3		34		
地盤改良工		式		1		
固結工(ICT) 現道復旧		式		1		
中層混合処理(ICT)	Ｌ型擁壁部 改良深度 5.5m	m3		158		
中層混合処理(ICT)	重力式擁壁部 改良深度 6.1m	m3		192		
固結工(ICT) 水路付替		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
中層混合処理(ICT)	函渠部 改良深度 4.6m	m3		276		
擁壁工		式		1		
場所打擁壁工(構造物単位) 県道切回し		式		1		
重力式擁壁	1mを超え2m未満 18-8-25(高炉)	m3		17		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁工 現道復旧		式		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁	1.0mを超え2.0m以下	m		13		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁	2.0mを超え3.5m以下	m		8		
ｶﾙﾊﾞｰﾄ工		式		1		
作業土工 水路付替		式		1		
床掘り	土砂 土留無し	m3		270		
床掘り	土砂 自立式	m3		220		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 現場～仮置き場	m3		490		
整地	残土受入れ地での処理	m3		490		
埋戻し	土砂	m3		380		
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂	m3		430		
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 仮置き場～現場	m3		430		
基面整正		m2		60		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｶﾙﾊﾞｰﾄ工 水路付替		式		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	1800x1200	m		9.5		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	2000x1200	m		17		
既設函渠接続	1800x1200部	箇所		1		
既設函渠接続	2000x1200部	箇所		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
排水構造物工		式		1		
作業土工 水路付替		式		1		
床掘り	土砂 小規模	m3		30		
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模	m3		30		
整地	残土受入れ地での処理	m3		30		
埋戻し	土砂 小規模	m3		6		
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 小規模(標準)	m3		7		
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 小規模 仮置き場～現場	m3		7		
側溝工 県道切回し		式		1		
L形側溝	一般部 18-8-25(高炉)	m		396		
L形側溝	平坦部 18-8-25(高炉)	m		35		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
側溝工 現道復旧		式		1		
L形側溝	A-1 一般部 18-8-25(高炉)	m		193		
L形側溝	A-2 平坦部 18-8-25(高炉)	m		36		
L形側溝	A-3 端部 18-8-25(高炉)	箇所		3		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	300x300x4000	m		19		
側溝蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋 390x100x600 普通型	枚		13		
側溝蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋 390x100x600 手掛型	枚		4		
側溝蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋 390x100x600 網付型	枚		16		
管渠工 現道復旧		式		1		
ﾋｭｰﾑ管(B形管)	管渠(1) 外圧管1種 Φ300 90° 巻基礎	m		75		
暗渠排水管	取付管 VUΦ200	m		0.5		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
管渠工 水路付替		式		1		
暗渠排水管	据付 耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管Φ1350	m		6.8		
巻立てｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25(20)高炉	箇所		1		
集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工 県道切回し		式		1		
現場打ち集水桝	500x500x700	箇所		4		
集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工 現道復旧		式		1		
現場打ち集水桝	L型街渠桝 400x400x650	箇所		1		
現場打ち集水桝	500x500x1100	箇所		2		
現場打ち集水桝	500x500x1500	箇所		1		
現場打ち集水桝	500x500x1900	箇所		2		
現場打ち集水桝	集水桝(1) 600x600x550	箇所		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ｽｸﾘｰﾝ	ｽﾃﾝﾚｽ製 2300x1200x50	枚		1		
舗装工		式		1		
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 県道切回し		式		1		
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 300mm	m2		1,650		
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 300ｍｍ	m2		1,650		
表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2		1,650		
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 県道切回し 上側取付		式		1		
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150mm	m2		328		
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2		328		
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2		328		
表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2		328		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 県道切回し 下側取付		式		1		
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150mm	m2		316		
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 150mm	m2		316		
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm	m2		316		
表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm	m2		316		
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 現道復旧 拡幅部		式		1		
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 190mm	m2		1,300		
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 150mm	m2		1,300		
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 110mm	m2		1,300		
表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm	m2		1,300		
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 現道復旧 市道取付部		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 110ｍｍ	m2		227		
表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2		227		
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 現道復旧 歩道切下(1)		式		1		
下層路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 250mm	m2		70		
表層(歩道部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2		70		
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 現道復旧 歩道切下(2)		式		1		
下層路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 250mm	m2		25		
基層(歩道部)	再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2		25		
表層(歩道部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2		25		
透水性舗装工 県道切回し 歩道		式		1		
ﾌｨﾙﾀｰ層	再生砂 仕上り厚 100ｍｍ	m2		858		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
路盤(路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100mm	m2		858		
表層	透水性ｱｽｺﾝ 舗装厚 40ｍｍ	m2		858		
透水性舗装工 現道復旧		式		1		
ﾌｨﾙﾀｰ層	再生砂 仕上り厚 100ｍｍ	m2		1,050		
路盤(路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100mm	m2		1,050		
表層	透水性ｱｽｺﾝ 舗装厚 40ｍｍ	m2		1,050		
薄層ｶﾗｰ舗装工 県道切回し		式		1		
薄層ｶﾗｰ舗装	RPN-301	m2		890		
防護柵工		式		1		
路側防護柵工 県道切回し		式		1		
仮設防護柵	Gr-B-2B	m		318		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
路側防護柵工 現道復旧		式		1		
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	塗装品 Gr-C-2B	m		22		
防止柵工 現道復旧		式		1		
転落(横断)防止柵	土中建込 柵高1.1m 4断ﾋﾞｰﾑ型 支柱間隔3.0m	m		28		
転落(横断)防止柵	ｺﾝｸﾘｰﾄ建込 柵高1.1m 4断ﾋﾞｰﾑ型 支柱間隔3.0m	m		23		
転落(横断)防止柵	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ建込 柵高1.1m 縦格子型 支柱間隔3.0m	m		10		
縁石工		式		1		
縁石工 県道切回し		式		1		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	L型側溝 一般部 両面 180/240x300x600	m		396		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	L型側溝 平坦部 203/210x70x600	m		35		
縁石工 現道復旧		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	L型側溝 A-1 一般部 両面 180/240x300x600	m		193		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	L型側溝 A-2 平坦部 203/210x70x600	m		36		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	B-1 一般部 両面 180/240x300x600	m		149		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	B-2 乗入部 200/210x100x600	m		18		
地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	(A) C種(150×150×600) 基礎砕石	m		159		
地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	(B) C種(150×150×600) 基礎砕石+均しｺﾝｸﾘｰﾄ	m		23		
境石	(C) 240x240 18-8-25(20)高炉 W/C指定無し	m		111		
区画線工		式		1		
区画線工 県道切回し		式		1		
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		639		
溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		100		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
溶融式区画線	溶融式手動 実線 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		12		
溶融式区画線	溶融式手動 破線 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		2		
溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		98		
溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	m		316		
区画線工 現道復旧		式		1		
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		653		
溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		6		
溶融式区画線	溶融式手動 破線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		34		
溶融式区画線	溶融式手動 実線 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		172		
溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	m		114		
構造物撤去工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
防護柵撤去工 現道復旧		式		1		
仮設防護柵撤去	Gr-B-2B	m		318		
構造物取壊し工 県道切回し		式		1		
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m		34		
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cmを超え30cm以下	m		48		
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 ４ｃｍ	m2		466		
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 16ｃｍ	m2		641		
構造物取壊し工 現道復旧		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3		38		
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 ４ｃｍ	m2		389		
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 ５ｃｍ	m2		793		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
構造物取壊し工 水路付替		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3		88		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3		23		
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m		18		
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 15ｃｍ	m2		26		
排水構造物撤去工 県道切回し		式		1		
管(函)渠型側溝撤去	撤去	m		89		
集水桝撤去	600kgを超え800kg以下	基		8		
縁石撤去工 県道切回し		式		1		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ撤去	再利用	m		101		
縁石撤去工 現道復旧		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ撤去	再利用	m		218		
運搬処理工 県道切回し		式		1		
殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		121		
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		121		
運搬処理工 現道復旧		式		1		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		38		
殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		55		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		38		
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		55		
運搬処理工 水路付替		式		1		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		88		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		23		
殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		3.9		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		88		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		23		
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		3.9		
仮設工		式		1		
土留･仮締切工 水路付替		式		1		
鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 12m 鋼矢板打込長 11.5m 平均鋼矢板引抜長 11.5m	枚		90		
頭部連結材	[-250x90x9x13	t		1.29		
仮水路工 水路付替		式		1		
暗渠排水管	据付・撤去 耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管Φ1350	m		29		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
土のう工 水路付替		式		1		
大型土のう	耐候性大型土のう	袋		12		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員 B	昼間勤務	人日		380		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
重建設機械分解組立輸送費	中層混合処理機(改良深度5m)	回		1		
重建設機械分解組立輸送費	中層混合処理機(改良深度8m)	回		1		
仮設材運搬費	仮設防護柵(片道)	t		38.7		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
仮設材運搬費	鋼矢板(往復)	t		64.8		
仮設材運搬費	頭部連結材(片道)	t		1.29		
技術管理費		式		1		
土壌分析費	六価クロム溶出試験費	検体		2		
ｼｽﾃﾑ初期費(ICT)	ﾊﾞｯｸﾎｳ	式		1		
ｼｽﾃﾑ初期費(ICT)	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ	式		1		
ｼｽﾃﾑ初期費(ICT)	中層混合処理機	式		1		
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

令和８年度

Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事

特記仕様書

令和　８　年　８　月

国土交通省　関東地方整備局

大宮国道事務所

第１章　総　則

第１条　適用

１．この特記仕様書は、関東地方整備局 土木工事共通仕様書(令和８年度版)（以下「共通仕様書」という。)でいう特記仕様書で、本工事の施工に適用する。

２．この工事の施工にあたっての一般的事項は、共通仕様書によるものとする。

３．この特記仕様書に添付されていない別紙様式等については以下URLよりダウンロードするものとする。

URL　https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000015.html

４．本工事における「条件明示」については、**別紙－１「明示項目および明示事項」**に記載のとおりとする。

第２条　主任技術者等（契約書第10条）

本工事の主任技術者又は監理技術者は、受注者が提出した競争参加資格確認申請書に記述した配置予定の技術者でなければならない。

第３条　主任技術者等の専任期間

１．契約締結日の翌日から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。

２．契約締結日の翌日から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。

３．工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「完成通知書」等における日付）とする。

４．主任技術者又は監理技術者が技術研鑽のための研修、講習、試験等で短期間工事現場を離れる場合は、適切な施工ができる体制を確保したうえで、監督職員の承諾を得るものとする。

第４条　専任特例１号の場合の監理技術者又は主任技術者の配置

本工事は、建設業法第26条第３項第一号の規定の適用を受ける監理技術者又は主任技術者の配置は認めない。

第５条　専任特例２号の場合の監理技術者の配置

１．本工事において、建設業法第２６条第３項第二号の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「専任特例２号の場合の監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の（１）～（８）の要件を全て満たさなければならない。

（１）建設業法第２６条第３項第二号による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。

（２）監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。な

お、監理　技術者補佐の建設業法第２７条の規定に基づく技術検定種目は、専任特例２号の場合の監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。

（３）監理技術者補佐は、直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。

（４）同一の専任特例２号の場合の監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に２件までとする。なお、専任特例１号の場合の監理技術者又は主任技術者を活用した工事と兼務することは出来ない。

（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるものについては、これら複数の工事を一の工事とみなす。）

（５）専任特例２号の場合の監理技術者が兼務できる工事は**埼玉県内**の工事でなければならない。

（６）専任特例２号の場合の監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。

（７）専任特例２号の場合の監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。

（８）監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。

２．現場の安全管理体制について、平成７年４月２１日付基発第２６７号の２「元方事業者による建設現場安全管理指針」において、「統括安全衛生責任者の選任を要するときには、その事業場に専属の者とすること。」とされていることから、施工体制に留意すること。

３．本工事の監理技術者が専任特例２号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事を予定している場合、以下の書類を提出すること

（１）監理技術者補佐の資格を有する書類（一級施工管理技士等の国家資格者の合格証の写しなど）

（２）監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類（監理技術者資格者証、市区町村が作成する住民税特別徴収税額通知書、健康保険・厚生年　金被保険者標準報酬決定通知書、所属会社の雇用証明書又はこれらに準ずる資料（いずれも写し可））

（３）専任特例２号の場合の監理技術者が兼務する工事の箇所、内容を示す書類（ＣＯＲＩＮＳの写し）

４．本工事の監理技術者が専任特例２号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事となった場合、第１項（５）～（８）について施工計画書へ記載し、提出すること。

５．本工事において、専任特例２号の場合の監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、コリンズ（ＣＯＲＩＮＳ）への登録・修正を適切に行うこと。

第６条　コリンズ（CORINS）への登録

１．工事カルテの作成、登録については、土木工事共通仕様書「1-1-1-7コリンズ（CORINS）への登録」によるものとする。

２．受注者は、工事受注後又は施工中において当該工事に係る悪質で不誠実な行為(一括下請負等)が発覚し、指名停止の措置を受けた場合は、登録済みの工事カルテの取り下げを行うものとする。

３．技術者の従事期間は、工期をもって登録するものとする。（余裕期間を含まないことに留意するものとする。）

第７条　コリンズ（CORINS）への位置情報の入力

土木工事共通仕様書1-1-1-7コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、位置情報については以下のとおりとし、工事場所および座標（緯度、経度）を記載するものとする。なお、座標は、世界測地系（JGD2024）に準拠する。

起点　埼玉県鴻巣市箕田　　緯度 36°　4′ 42″　経度 139° 29′ 16″
終点　埼玉県鴻巣市箕田　　緯度 36°　4′ 49″　経度 139° 29′ 15″

第８条　コリンズ（CORINS）への工事概要の入力

土木工事共通仕様書1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を受注時に作成するにあたり、工事概要については必須登録とする。但し、入札公告１．工事の概要（３）工事内容、（４）工事概算数量に記載する文章と同じでよい。

第９条　コリンズ（CORINS）への設計業務名及びテクリス番号の入力

土木工事共通仕様書1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、設計業務名およびテクリス番号を登録すること。設計業務名およびテクリス番号については以下のとおりとする。

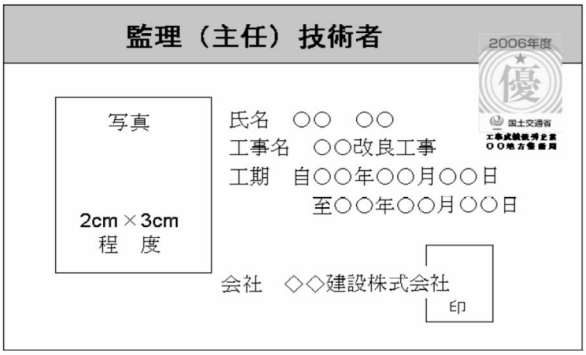
コリンズへ登録する業務名およびテクリス番号

業務名	テクリス番号
Ｒ７国道１７号上尾道路２期鴻巣地区詳細修正設計	－

※コリンズ（CORINS）への登録時に、テクリス番号を確認するものとする。

第１０条　施工体制台帳

工事成績優秀企業に認定され、認定有効期限内に、工事発注の契約を行った工事の監理技術者、主任技術者（工事成績優秀企業に認定された下請負を含む）は、工事成績優秀企業認定マークの使用や金色帯線（黄色もしくは橙色の帯線でも可）を名札上部に印刷することが出来るものとする。



注意１）用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。
注意２）所属会社の写真とする。

第１１条　調査・試験に対する協力　（低入札価格調査制度調査対象工事について）

１．契約担当官等が工事の中間において技術検査の必要を認めた場合は、速やかに監督職員の指示に従い、検査を受けなければならない。なお、検査は工事請負契約書及び共通仕様書に適用する条項に準じて行うものとする。

２．予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、受注者は「低入札価格調査制度調査対象工事に係る監督体制の強化」の追加として下記の調査に協力しなければならない。

（１）受注者は、下請負者の協力を得て間接工事費等諸経費動向調査票(営繕工事においては共通費実態調査票)の作成を行い、工事完了後、速やかに発注者に提出するものとする。

（２）受注者は、提出された間接工事費等諸経費動向調査票(営繕工事においては共通費実態調査票)の費用の内訳についてヒアリング調査に応じるものとする。この場合において、受注者は下請負者についてもヒアリングに参加させるものとする。

（３）工事コスト調査（調査結果でも可）に係る資料は、下記のとおりとし、関東地方整備局又は、大宮国道事務所のホームページにより公表する。

（４）低入札価格調査と工事コスト調査の結果に大きな乖離がある場合、又は、工事コスト調査資料の提出が無い場合には、工事成績評点を減点する場合がある。

なお、低入札価格調査対象工事については、工事コスト調査終了した後に、工事成績評点を通知する。

公表資料は以下のとおり。

資料名	内　　訳
低価格理由とその詳細	当該工事が低価格で施工可能となる理由を示した資料
比較表－１	積算内訳書の発注者と元請けにおける当初と実績の比較表
比較表－２	積算内訳書に対する明細書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表－３	元請の手持ち資料の当初と実績の比較表
比較表－４	元請の資材購入先一覧の当初と実績の比較表
比較表－５	手持ち機械の当初と実績の比較表
比較表－６	労務者確保計画の当初と実績の比較表
比較表－７	工種別労務者配置計画の当初と実績の比較表
比較表－８	建設副産物の搬出の当初と実績の比較表
諸経費動向調査（工事費）	元請、下請の工事費内訳

第１２条　低入札契約におけるモニターカメラの設置

本工事は、予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、工事の監督補助としてモニターカメラの設置を行う対象工事とする。

なお、モニターカメラの設置費用については、発注者の負担によるものとする。

第１３条　不可視部分の出来形管理について

予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、不可視部分について、ビデオカメラを用いた出来形管理を行うことと

し、撮影した映像については監督職員に提出するものとする。
なお、不可視部分については、契約後に監督職員と協議のうえ決定することとする。

第１４条　不具合等発生時の措置

受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、又は公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督職員に直ちに通知しなければならない。

第１５条　工事書類の作成

１．工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類作成マニュアル（令和８年３月）」に基づき実施するものとする。
２．工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類スリム化ガイド（令和８年３月）」を参考に書類の電子化、受発注者間での作成書類の役割分担の明確化、書類の削減等に留意すること。
３．「工事関係書類一覧表」（**別紙様式－１５**）により、工事着手前に「作成書類の役割分担」、「作成書類の位置付け」に関して「協議」するものとする。
また、「協議」の内容を変更する場合は、改めて、受発注者で協議を行うものとする。
４．電子により提出、提示した書類については、検査時その他の場合においても紙での提示、提出は行わないものとする。

第１６条　設計図書の照査

発注者は、設計図書の照査の範囲を超える資料の作成については、監督職員の指示とし、その作成費用は、設計変更の対象とする。なお、設計変更の対象については、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和７年３月」によるものとする。

第１７条　情報共有システムの活用

１．本工事は、監督職員及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの活用対象工事である。なお、活用にあたっては「土木工事の情報共有システム活用ガイドライン」（令和7年3月版）に基づき実施すること。
２．受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、使用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。
・工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件　（Rev5.7）令和7年3月版 国土交通省（国土技術政策総合研究所）
３．監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーＩＤ数、ディスク容量等の仕様やワークフロー機能の対象者等については、監督職員の確認を得た上で決定すること。
４．受注者は、サービス提供者と次の内容を含めた契約を締結するものとする。
① 情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整える旨
② サービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない不正アクセス等により、情報漏洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに受注者に連絡を行い適正な処置を行う旨
③ ②の場合において、サービス提供者に重大な管理瑕疵があると監督職員若しくは受注者が判断した場合、又は復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、

受注者はサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を停止することができる旨

５．受注者は、監督職員等から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第１８条　「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」の設置

本工事は、公共工事の品質確保及び円滑な事業執行を目的として、発注者、設計者、施工者（工事受注者）の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的、設計思想・条件等の情報の共有及び施工上の課題、新たな技術提案に対する意見交換等を行う「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」（以下、「三者会議」という。）の設置対象工事であり、工事着手前に１回以上開催するものとする。

なお、「三者会議」の開催にあたっては、監督職員と協議するものとする。

「三者会議」の運用にあたっては、「設計・施工技術連絡会議（「三者会議」）運用方針」（http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html）によるものとする。

第１９条　設計審査会の設置

本工事は、発注者と受注者が一堂に会して、現場着手前（準備期間内）に工事工程クリティカルパスの共有及び工事工程の照合（クロスチェック）を実施し、併せて協議資料作成等の受発注者間の役割分担を明確にする場、また、設計変更手続きの透明性と公正性の向上及び迅速化のため、設計変更の妥当性の審議及び設計変更等に伴う工事中止等の判断等を行う場として開催する「設計審査会」（以下、「審査会」という。）の設置対象工事である。

「審査会」の運用にあたっては、「設計審査会設置運用方針 」（http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html）によるものとする。

第２０条　工事環境の改善

本工事の実施にあたっては、工事環境の改善に取り組むウィークリースタンスを考慮するものとする。

ウィークリースタンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページhttps://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.htmlに掲載している工事環境改善実施要領に基づき、監督職員と確認・調整した内容について取り組むものとする。

第２１条　ワンデーレスポンス

１．この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。

・「ワンデーレスポンス」とは

受注者からの質問、協議等への回答は、基本的に「その日のうち」に指示、通知等行うよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に通知することである。

２．受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。

３．受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。

４．ワンデーレスポンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページhttps://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.htmlに掲載しているワンデーレスポンス実施の手引き（令和５年１２月）に基づき、取り組むものとする。

５．効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

第２２条　契約内容の変更手続きについて

本工事における契約内容の変更は、以下によるものとする。

① 本工事における設計変更や契約変更は書面に基づき行うことを徹底し、指示書・協議書があるもののみを契約変更の対象とする。

② 受注者は、工事期間中及び工事完成後において、監督職員から契約図書の規定に違反する等の不適切な指示を受けたと思料されるときは、当該監督職員を経由せずに、事務所長へ直接又は契約担当課長経由で書面により、その旨を報告することができる。

第２３条　設計図書の変更

設計変更等については、契約書第１８条から第２５条及び共通仕様書共通編１－１－１－１７から１－１－１－１９に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和７年３月」によることとする。

第２４条　スライド条項

工事請負契約書第２６条（スライド条項）については、物価水準の変動により請負代金が不適当となったと認められた時に、相手方に請負代金の変更を請求することができる条項となっている。

単品スライドについては、鋼材類・燃料油の他、コンクリート類、購入土などの主要工事材料も対象となるので、物価水準の変動により請負代金が不適当となった場合には、相手方に対して請負代金額の変更を請求することができる。

第２５条　再生資材の活用

受注者は、下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。

資材名	規格	備考
再生加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	As 量 5.0%粗粒再生	基層
再生加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	As 量 5.5%粗粒再生	表層
再生粒度調整砕石	ＲＭ－４０	上層路盤
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	路床置換、基礎砕石、 下層路盤、路盤
再生砂	Ｒｓ	ﾌｨﾙﾀｰ材、ﾌｨﾙﾀｰ層

なお、使用に際し「舗装再生便覧」等を遵守するものとする。

上記に示す再生コンクリート砂の使用箇所は、透水性を有し、浸透した水が土壌又は公共用水域へ拡散するおそれのある箇所であることから、六価クロムについて、土壌の汚染に係る環境基準に適合していなければならない。確認方法は、平成３年８月２３日付け環境庁告示４６号に規定される測定方法に基づき実施するものとする。また、測定試料は再生コンクリート砂製品を直接使用し、１購入先当たり１検体の測定試験を実施するものとする。

第２６条　公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領（土木）

１．本工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律((平成１２年法律第１０４号 最終改正令和４年６月１７日法律６８号)。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「８解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし工事発注後に明らかになった事情により予定した条件により難い場合は監督職員と協議するものとする。

（１）分別解体等の方法

工程ごと作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ■有　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ■有　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 ■有　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

（２）再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材の廃棄物の種類	施設の名称	所　在　地
コンクリート殻（無筋）	(有)加賀崎建材興業 リサイクル工場	埼玉県熊谷市佐谷田字不動堂 562
コンクリート殻（鉄筋）	(株)杉浦土木	埼玉県行田市堤根 651-1
アスファルト殻（掘削材）	三井住建道路(株) 東松山合材工場	埼玉県東松山市松山 823

上記（２）については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合でも設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項については、監督職員と協議の上、契約変更の対象とすることができる。

（３）受入時間

(有)加賀崎建材興業 リサイクル工場：８時００分～１７時００分

(株)杉浦土木　　：８時００分～１７時００分
三井住建道路(株) 東松山合材工場　：８時００分～１７時００分

２．受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン（平成１４年５月）」に定めた様式１〔再生資源利用計画書（実施書）〕及び様式２〔再生資源利用促進計画書（実施書）〕を兼ねるものとする。
・再生資源化等が完了した年月日
・再生資源化等をした施設の名称及び所在地
・再生資源化等に要した費用

３．工事発注後に明らかになった事情により予定していた条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第２７条　建設リサイクル法第１１条通知の徹底

受注者は、「建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律」（平成１２年５月３１日法律第１０４号）第１１条に基づく、都道府県知事に対する通知を行った旨の書面を監督職員より受領した後に、工事着手（建設リサイクル法第１０条第１項に規定する工事着手をいう。）するものとする。なお、これによりがたい場合は監督職員と協議の上決定するものとする。

第２８条　コンクリート副産物から再生された資源について

１．コンクリート副産物から再生された資材を利用する場合には、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別品質基準」によるものとする。

２．受注者は、コンクリート副産物から再生された資材の利用を希望する場合は、工事着手時にその適用の有無を監督職員と協議するものとする。

３．受注者は、工場が発行する再生骨材コンクリートの配合計画書及び納入書を整備および管理し、監督職員または検査職員からの請求があった場合は速やかに提示しなければならない。

４．受注者は、再生骨材コンクリートの品質を確かめるための検査をJIS A 5022（再生骨材Ｍを用いたコンクリート）、JIS A 5023（再生骨材Ｌを用いたコンクリート）により実施しなければならない。また、再生骨材Ｍを用いたプレキャストコンクリート製品の検査については、JIS A 5365（プレストキャストコンクリート製品－検査方法通則）により実施しなければならない。なお、生産者等に検査のため試験を代行させる場合は受注者がその試験に臨場しなければならない。

５．再生骨材コンクリートの配合については、「土木工事共通仕様書第１編３－３－３配合」に従うものとする。

第２９条　施工管理

１．本工事の施工管理は、関東地方整備局土木工事施工管理基準及び規格値(令和８年度版)によるものとする。なお、この管理基準により難い場合及び基準、規格値が定められていない工種については、監督職員と協議の上、施工管理を行うものとする。

２．本工事の写真管理は、関東地方整備局土木工事写真管理基準(令和８年度版)によるものとする。なお、「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。

３．本工事の施工管理における適用工種毎の基準類は、ＩＣＴ活用工事実施要領(令和８年３月改定)の関連要領等一覧（ＵＲＬ「https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html」）によるものとする。

第３０条　デジタル工事写真の小黒板情報電子化について

デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

工事では、以下の１．から４．の全てを実施することとする。

１．対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和８年度版）（以下、写真管理基準）「2-2撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC暗号リスト)」（URL「https://www.cryptrec.go.jp/list.html」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例を以下に示す。

【使用機器の事例】

デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア，（一社）施工管理ソフトウェア産業協会，<https://www.jcomsia.org/kokuban>.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない

２．デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入

受注者は、同条１．の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、写真管理基準「2-2撮影方法」による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

３．小黒板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、写真管理基準及びデジタル写真管理情報基準（以下、デジタル写真管理情報基準）に準ずるが、同条２．に示す小黒板情報の電子的記入については、写真管理基準「2-5 写真編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6.写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

４．小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、同条２．に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黒板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者は改ざん検知機能（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

また、下記のチェックツールを使用して信憑性確認を行い、結果を出力したものでもよい。

【チェックツールの事例】

信憑性チェックツール（一社）施工管理ソフトウェア産業協会
<https://www.jcomsia.org/kokuban>.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではないなお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を実施しない工事写真がある場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得ること。

第３１条　ＩＣＴ活用工事（土工）について

１．ＩＣＴ活用工事

本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、ＩＣＴ施工技術の全面的活用を図るため、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用するＩＣＴ活用工事である。

２．定義

（１）i-Construction とは、ＩＣＴ施工技術の全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図る取り組みであり、その実現に向けてＩＣＴ施工技術を活用した工事（ＩＣＴ活用工事）を実施するものとする。

（２）ＩＣＴ活用工事とは、施工プロセスの以下段階において、ＩＣＴを全面的に活用する工事である。また、本工事では、施工プロセスの以下①～⑤の全ての段階でＩＣＴ施工技術を活用することをＩＣＴ活用工事とする。但し、現場条件により、ＩＣＴ建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監督職員と協議の上、従来型建設機械による施工を実施してもＩＣＴ活用工事とする。

対象は、土工を含む工事とする。

①３次元起工測量
②３次元設計データ作成
③ＩＣＴ建設機械による施工
④３次元出来形管理等の施工管理
⑤３次元データの納品

３．受注者は、特記仕様書に指定された土工以外の工種にＩＣＴ施工技術の活用を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合に以下４～８によりＩＣＴ施工技術の活用を行うことができる。

４．原則、本工事においては上記①～⑤の全ての段階でＩＣＴ施工技術を活用することとし、土工について施工範囲の全てで適用するが、具体的な工事内容及び数量・対象範囲を明示し、監督職員と協議するものとする。なお、土工以外の工種に関するＩＣＴ施工技術の活用を提案・協議した場合は、土工と共に実施内容等について施工計画書に記載するものとする。

５．ＩＣＴ施工技術を用い、以下の施工を実施する。

①３次元起工測量

受注者は、工事着手前の現場の状況を確認するとともに、設計データの作成に必要な起工測量を実施するものとし、面的な計測により効率的な確認ができる場合には、以下１）～４）から選択（複数以上可）して測量を行うものとする。ただし、前工事または設計段階での３次元データが活用できる場合や管理断面及び変化点の計測による測量により効率的な確認ができる場合においては、監督職員との協議の上、管理断面及び変化点の計測による測量を実施してもＩＣＴ活用工事とする。

１）空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
２）地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
３）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量

４）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量

②３次元設計データ作成

受注者は、５．①で得られた測量データと、発注者が貸与する発注図データを用いて、ＩＣＴ建設機械による施工、及び３次元出来形管理を行うための３次元設計データを作成する。

③　ＩＣＴ建設機械による施工

５．②で作成した３次元設計データを用い、以下に示すＩＣＴ建設機械により、施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。

なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則（令和７年３月３１日 国土交通省告示第２４０号）付録１測量機器検定基準２－６の性能における検定基準を満たすこと。

１）３次元ＭＣまたは３次元ＭＧ建設機械※

※ＭＣとは「マシンコントロール」、ＭＧとは「マシンガイダンス」の略称である。

建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する３次元マシンコントロール技術または、建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分を表示し、建設機械の作業装置を誘導する３次元マシンガイダンス技術を用いて、河川・海岸・砂防・道路土工の敷均し、掘削、法面整形を実施する。

但し、現場条件により、③ＩＣＴ建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監督職員と協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとし、その場合もＩＣＴ活用工事とするが、丁張設置等には積極的に３次元設計データ等を活用するものとする。

④３次元出来形管理等の施工管理

５．③による工事の施工管理において、以下のとおり、出来形管理及び品質管理を行うものとする。なお、従来手法との二重管理は行わない。

（１）出来形管理

出来形管理にあたっては、標準的に出来形管理の計測範囲において、１m間隔以下（１点/㎡以上）の点密度が確保できる出来形計測を行い、３次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法（面管理）とし、以下１）～４）から選択（複数以上可）して実施するものとする。

また、土工における出来形管理にあたっては、以下１）～４）を原則とするが、現場条件等により以下５）～８）の出来形管理を選択して面管理を実施してもよい。

（【補足】ただし、以下５）～８）の出来形管理を選択して面管理を実施した場合は「３次元出来形管理・３次元データ納品費用、外注経費等の費用」の対象外となるので注意すること）

１）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理

２）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理

３）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

４）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

５）ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理

６）ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理

７）ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理
８）施工履歴データを用いた出来形管理
９）地上写真測量を用いた出来形管理

また、出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合及び降雪・積雪等により面管理が実施できない場合は、監督職員との協議の上、管理断面及び変化点の計測による出来形管理を選択してもＩＣＴ活用工事とする。

（２）品質管理

品質管理にあたっては、受注者は、河川・海岸・砂防・道路土工の品質管理（締固め度）について、「ＴＳ・ＧＮＳＳを用いた盛土の締固め管理要領」により実施する。砂置換法又はＲＩ計法との併用による二重管理は実施しないものとする。

なお、本施工着手前及び盛土材料の土質が変わるごと、また、路体と路床のように品質管理基準が異なる場合に試験施工を行い、本施工で採用する締固め回数を設定すること。

土質が頻繁に変わりその都度試験施工を行うことが非効率である等、管理要領等による管理そのものがなじまない場合は、監督職員と協議の上、ＴＳ・ＧＮＳＳを用いた締固め回数管理を適用しなくてもよいものとする。

⑤３次元データの納品

５．①②④により作成した３次元データを工事完成図書として電子納品する。

３次元データの納品形式は、「３次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」によるものとする。

６．記５．①～④の施工を実施するために使用するＩＣＴ機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要な施工用データは、受注者が作成するものとする。使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。

発注者は、３次元設計データの作成に必要となる詳細設計において作成したＣＡＤデータを受注者に貸与する。また、ＩＣＴ施工技術の活用を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、施工区間の前後を含め必要な範囲を積極的に受注者に貸与するものとする。

７．土木工事施工管理基準（案）に基づく出来形管理が行われていない箇所で、出来形測量により形状が計測出来る場合は、出来形数量は出来形測量に基づき算出した結果とする。

８．本特記仕様書に疑義が生じた場合または記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。

第３２条　ＩＣＴ活用工事（舗装工）について

１．ＩＣＴ活用工事

本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、ＩＣＴ施工技術の全面的活用を図るため、受注者の提案・協議により、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用するＩＣＴ活用工事の対象工事である。

２．定義

（１）i-Construction とは、ＩＣＴ施工技術の全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図る取り組みである。本工事では、施工者の希望により、その実現に向けてＩＣＴ施工技術を活用した工事（ＩＣＴ活用工事）を実施するものとする。

（２）ＩＣＴ活用工事とは、施工プロセスの以下段階において、ＩＣＴ施工技術を全面的に活用する工事である。また、以下の①～⑤の全ての段階でＩＣＴ施工技術を活用することをＩＣＴ活用工事という。但し、現場条件により、ＩＣＴ建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監督職員と協議の上、従来型建設機械による施工を実施してもＩＣＴ活用工事とする。

対象は、アスファルト舗装工事、セメント・コンクリート舗装工事または、舗装を含む工事とする。

①３次元起工測量
②３次元設計データ作成
③ＩＣＴ建設機械による施工
④３次元出来形管理等の施工管理
⑤３次元データの納品

３．受注者は、舗装工以外の工種にＩＣＴ施工技術の活用を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合に以下４～８によりＩＣＴ施工技術の活用を行うことができる。

４．原則、本工事においては上記①～⑤の全ての段階でＩＣＴ施工技術を活用することとし舗装工の施工範囲の全てで適用するが、具体的な工事内容・数量及び対象範囲を明示し、監督職員と協議するものとする。なお、舗装工以外の工種に関するＩＣＴ施工技術の活用を提案・協議した場合は、舗装工と共に実施内容等について施工計画書に記載するものとする。

５．ＩＣＴ施工技術を用い、以下の施工を実施する。

①３次元起工測量

工事着手前の現場の状況を確認するとともに、設計データの作成に必要な起工測量を実施するものとし、面的な計測により効果的な確認ができる場合には、以下１）～２）から選択（複数可）して測量を行うものとする。

ただし、前工事及び設計段階での３次元データが活用できる場合や管理断面及び変化点の計測による測量により効率的な確認ができる場合等において、監督職員と協議の上、以下３）～４）の管理断面及び変化点の計測による測量が選択できるものとし、ＩＣＴ活用工事とする。

１）地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
２）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
３）ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
４）ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量

②３次元設計データ作成

受注者は、５．①で得られた測量データと発注者が貸与する発注図データを用いて、ＩＣＴ建設機械による施工及び３次元出来形管理を行うための３次元設計データを作成する。

③　ＩＣＴ建設機械による施工

５．②で作成した３次元設計データを用い、以下に示すＩＣＴ建設機械により、施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。

なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則（令和５年３月３１日 国土交通省告示第２５０号）付録１測量機器検定基準２－６の性能における検定基準を満たすこと。

１）３次元ＭＣ建設機械※

※ＭＣとは「マシンコントロール」の略称である。

建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する３次元マシンコントロール技術を用いて、敷均しを実施する。

但し現場条件により、③ＩＣＴ建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監督職員と協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとするが、丁張設置等には積極的に３次元設計データ等を活用するものとする。

④３次元出来形管理等の施工管理

５．③による施工管理において、以下のとおり出来形管理を行うものとする。

（１）出来形管理

出来形管理にあたっては、標準的に出来形管理の計測範囲において、１m間隔以下（１点/㎡以上）の点密度が確保できる出来形計測を行い、３次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法（面管理）とし、以下１）２）から選択（複数可）して実施するものとする。

また、舗装工における出来形管理にあたっては、以下１）～２）を原則とするが、現場条件等により以下３）～４）の出来形管理を選択して面管理を実施してもよい。

（【補足】ただし「３次元出来形管理・３次元データ納品費用、外注経費等の費用」の対象外となるので注意すること）

１）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理

２）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

３）ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理

４）ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理

なお、表層については、標準的に面管理を実施するものとするが、出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合及び降雪・積雪等により面管理が実施できない場合は、監督職員と協議の上、管理断面及び変化点の計測による出来形管理を選択してもＩＣＴ活用工事とする。

なお、表層以外については従来手法（出来形管理基準上で当該基準に基づく管理項目）での管理を実施してもよい

⑤３次元データの納品

５．①②④により作成した３次元データを工事完成図書として納品する。

３次元データの納品形式は、「３次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」によるものとする。

６．上記５．①～④の施工を実施するために使用するＩＣＴ機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要な施工用データは、受注者が作成するものとする。使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。また、ＩＣＴ施工技術の活用を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、施工区間の前後を含め必要な範囲を積極的に受注者に貸与するものとする。

７．土木工事施工管理基準（案）に基づく出来形管理が行われていない箇所で、出来形測量により形状が計測出来る場合は、出来形数量は出来形測量に基づき算出した結果とする。

８．本特記仕様書に疑義を生じた場合または記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。

第３３条　ＩＣＴ活用工事（地盤改良工）について

１．ＩＣＴ活用工事

本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、ＩＣＴ施工技術の全面的活用を図るため、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用するＩＣＴ活用工事の対象工事である。

２．定義

（１）i-Construction とは、ＩＣＴの全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図る取り組みであり、その実現に向けてＩＣＴ施工技術を活用した工事（ＩＣＴ活用工事）を実施するものとする。

（２）ＩＣＴ活用工事とは、施工プロセスの以下段階において、ＩＣＴ施工技術を全面的に活用する工事である。また、以下の①～⑤の全ての段階でＩＣＴ施工技術を活用することをＩＣＴ活用工事という。

対象は、土工を含む一般土木工事とする。

①３次元起工測量
②３次元設計データ作成
③ＩＣＴ建設機械による施工
④３次元出来形管理等の施工管理
⑤３次元データの納品

３．受注者は、特記仕様書に指定された地盤改良工以外の工種にＩＣＴ施工技術の活用を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合に以下４～８によりＩＣＴ施工技術の活用を行うことができる。

４．原則、本工事においては上記①～⑤の全ての段階でＩＣＴ施工技術を活用することとし地盤改良工の施工範囲の全てで適用するが、具体的な工事内容及び対象範囲を監督職員と協議するものとする。なお、実施内容等については施工計画書に記載するものとする。

５．ＩＣＴ施工技術を用い、以下の施工を実施する。

①３次元起工測量

工事着手前の現場の状況を確認するとともに、設計データの作成に必要な起工測量を実施するものとし、面的な計測により効率的な確認ができる場合には以下１）～４）から選択（複数可）して測量を行うものとする。

また、地盤改良工の関連施工としてＩＣＴ土工等が行われる場合、その起工測量データ及び施工用データを活用することができるものとし、ＩＣＴ活用工事とする。

１）空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
２）地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
３）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
４）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
５）ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
６）ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
７）ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量

②３次元設計データ作成

受注者は、５．①で得られた測量データと、発注者が貸与する発注図データを用いて、ＩＣＴ建設機械による施工、及び３次元出来形管理を行うための３次元設計データを作成する。

③　ＩＣＴ建設機械による施工

５．②で作成した３次元設計データを用い、以下１）２）に示すＩＣＴ建設機械を作業に応じて選択して施工を実施する。

１）３次元ＭＧ機能を持つ地盤改良機※

建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分を表示し、建設機械の作業装置を誘導する３次元マシンガイダンス技術を用いて、地盤改良を実施する。

２）３次元ＭＣまたは３次元ＭＧ建設機械※

建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する３次元マシンコントロール技術または、建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分を表示し、建設機械の作業装置を誘導する３次元マシンガイダンス技術を用いて、地盤改良を実施する。

※ＭＣとは「マシンコントロール」、ＭＧとは「マシンガイダンス」の略称である。

④３次元出来形管理等の施工管理

５．③による工事の施工管理において、以下に示す方法により、出来形管理を実施する。

また、受注者は地盤改良の出来形管理について施工履歴データにより行うこととするが、改良土を盛立など履歴データによる管理が非効率となる部分について監督職員との協議の上、従来手法による出来形管理を行っても良いものとする。

（１）出来形管理

以下１）を用いて、出来形管理を行うものとする。

１）施工履歴データを用いた出来形管理

⑤３次元データの納品

５．①②④により作成した３次元データを工事完成図書として電子納品する。

３次元データの納品形式は、「３次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」によるものとする。

６．上記５．①～④の施工を実施するために使用するＩＣＴ機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要な施工用データは、受注者が作成するものとする。使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。

発注者は、３次元設計データの作成に必要な詳細設計において作成したＣＡＤデータを受注者に貸与する。また、ＩＣＴ施工技術の活用を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、施工区間の前後を含め必要な範囲を積極的に受注者に貸与するものとする。

７．土木工事施工管理基準（案）に基づく出来形管理が行われていない箇所で、出来形測量により形状が計測出来る場合は、出来形数量は出来形測量に基づき算出した結果とする。

８．本特記仕様書に疑義を生じた場合または記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。

第３４条　ＩＣＴ活用工事（擁壁工）について

１．ＩＣＴ活用工事

本工事は、国土交通省が提唱するi-Constructionに基づき、ＩＣＴ施工技術の全面的活用を図るため、受注者の提案・協議により、起工測量、設計図書の照

査、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用するＩＣＴ活用工事の対象工事である。

２．定義

（１）i-Constructionとは、ＩＣＴ施工技術の全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図る取り組みである。本工事では、施工者の希望により、その実現に向けてＩＣＴ施工技術を活用した工事（ＩＣＴ活用工事）を実施するものとする。

（２）ＩＣＴ活用工事とは、施工プロセスの以下段階において、ＩＣＴ施工技術を全面的に活用する工事である。また、以下の①②④⑤の段階でＩＣＴ施工技術を活用することをＩＣＴ活用工事という。

対象は、擁壁工等を含む一般土木工事とする。

①３次元起工測量
②３次元設計データ作成
③該当なし（ＩＣＴ建設機械による施工）
④３次元出来形管理等の施工管理
⑤３次元データの納品

３．受注者は、ＩＣＴ施工技術の活用を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合に以下４～８によりＩＣＴ施工技術の活用を行うことができる。

４．原則、本工事においては上記①②④⑤の段階でＩＣＴ施工技術を活用することとする。擁壁工等についての施工範囲の全てで適用するが、具体的な工事内容及び対象範囲・数量を明示し、監督職員と協議するものとする。なお、実施内容等については施工計画書に記載するものとする。

５．ＩＣＴ施工技術を用い、以下の施工を実施する。

①３次元起工測量

受注者は、工事着手前の現場の状況を確認するとともに、設計データの作成に必要な起工測量を実施するものとし、面的な計測により効率的な確認ができる場合には以下１）～４）から選択（複数可）して測量を行うものとする。

ただし、管理断面及び変化点の計測による測量により効率的な確認ができる場合等においては、以下５）～７）の管理断面及び変化点の計測による測量が選択できるものとし、ＩＣＴ活用工事とする。

また、擁壁工等の関連施工としてＩＣＴ土工等が行われる場合、監督職員との協議の上、その起工測量データを活用することができるものとし、ＩＣＴ活用工事とする。

１）空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
２）地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
３）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
４）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
５）ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
６）ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
７）ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量

②３次元設計データ作成

受注者は、５．①で得られた測量データと、発注者が貸与する発注図データを用いて、３次元出来形管理を行うための３次元設計データを作成する。

３次元設計データ作成はＩＣＴ土工等と併せて行うが、ＩＣＴ擁壁工の施工管理においては、３次元設計データ（TIN）形式での作成は必要としない。

なお、ＩＣＴ擁壁工の３次元設計データとは、３次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）（擁壁工編）で定義する擁壁工設計データのことを言う。

③ 該当なし

④３次元出来形管理等の施工管理

（１）出来形管理

擁壁工の施工管理において、以下１）～７）の技術から選択（複数可）して、出来形管理を実施するものとする。

また、以下１）～４）の出来形管理を行う場合は、工事検査前の工事竣工段階の目的物について点群データを取得し、⑤によって納品するものとする。

１）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理

２）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理

３）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

４）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

５）ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理

６）ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理

７）ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理

なお、計測装置位置と計測対象箇所との離隔・位置関係により上記１）～７）のＩＣＴ施工技術を用いた計測によっては精度確保が困難となる部分や計測が非効率となる場合、監督職員と協議の上、写真・画像データ等と併用するなど出来形管理を行っても良いものとする。

（２）出来形管理基準および規格値

出来形管理基準および規格値については、現行の基準および規格値を用いる。厚さ管理は本要領の対象外とする。出来形の算出は、上記（１）で定める計測技術を用い以下１）の出来形管理要領によるものとする。

１）３次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）

（３）出来形管理帳票

現行の出来形管理帳票、出来高整理資料を作成する。また、出来形の３次元計測結果が計測（管理）すべき断面上あるいは測線上にあることを示す適用工種の３次元設計データあるいは平面図を提出することとする。

⑤３次元データの納品

５．①②④により作成した３次元データを工事完成図書として納品する。

３次元データの納品形式は、「３次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」によるものとする。

６．上記５．①②④の施工を実施するために使用するＩＣＴ機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要な施工用データは、受注者が作成するものとする。使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。

発注者は、３次元設計データの作成に必要な詳細設計において作成したＣＡＤデータを受注者に貸与する。また、ＩＣＴ施工技術の活用を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、施工区間の前後を含め必要な範囲を積極的に受注者に貸与するものとする。

７．土木工事施工管理基準（案）に基づく出来形管理が行われていない箇所で、出来形測量により形状が計測出来る場合は、出来形数量は出来形測量に基づき算出した結果とする。

８．本特記仕様書に疑義が生じた場合または記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。

第３５条　ＩＣＴ活用工事（作業土工（床掘工））について

１．ＩＣＴ活用工事

本工事は、国土交通省が提唱するi-Constructionに基づき、ＩＣＴ施工技術の全面的活用を図るため、受注者の提案・協議により、起工測量、設計図書の照査、施工、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用するＩＣＴ活用工事の対象工事である。

２．定義

（１）i-Construction とは、ＩＣＴ施工技術の全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図る取り組みである。本工事では、受注者の希望により、その実現に向けてＩＣＴ施工技術を活用した工事（ＩＣＴ活用工事）を実施するものとする。

（２）ＩＣＴ活用工事とは、施工プロセスの以下段階において、ＩＣＴ施工技術を全面的に活用する工事である。また、本工事においては、次の①（選択）②③⑤の段階でＩＣＴ施工技術を活用することをＩＣＴ活用工事とする。
対象は、作業土工（床掘工）を含む工事とする。

①起工測量（選択）
②３次元設計データ作成
③ＩＣＴ建設機械による施工
④該当なし（３次元出来形管理等の施工管理）
⑤３次元データの納品

３．受注者は、特記仕様書に指定された作業土工以外の工種に、ＩＣＴ施工技術の活用を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合に以下４～６によりＩＣＴ施工技術の活用を行うことができる。

４．原則、本工事においては上記①（選択）②③および⑤の段階でＩＣＴ施工技術を活用することとし、作業土工（床掘工）について施工範囲の全てで適用するが、具体的な工事内容及び数量、対象範囲を明示し、監督職員と協議するものとする。なお、作業土工（床掘工）以外の工種に関するＩＣＴ施工技術の活用を提案・協議した場合は、作業土工（床掘工）と共に実施内容等について施工計画書に記載するものとする。

５．ＩＣＴ施工技術を用い、土工について以下の施工を実施する。

①起工測量（選択）

受注者は、起工測量にあたって、従来手法による起工測量またはＩＣＴを用いた起工測量を選択できるものとし、作業土工以外の工種で取得した３次元起工測量データがある場合は、積極的に活用するものとする。

ＩＣＴを用いた起工測量としては、３次元測量データを取得するため、以下１）～７）から選択（複数選択可）して測量を行うことができるものとする。

１）空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
２）地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
３）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
４）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
５）ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
６）ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
７）ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量

②３次元設計データ等作成

受注者は、４．③１）３次元ＭＣまたは３次元ＭＧ建設機械により施工を実施

する場合、４．①で得られたデータと発注者が貸与する発注図データを用いて、ＩＣＴ建設機械による施工を行うため、３次元設計データを作成する。

③ＩＣＴ建設機械による施工

以下１）２）に示すＩＣＴ建設機械により施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。

なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則（令和７年３月３１日 国土交通省告示第２４０号）付録１測量機器検定基準２－６の性能における検定基準を満たすこと。

１）３次元ＭＣまたは３次元ＭＧ建設機械※

※ＭＣとは「マシンコントロール」、ＭＧとは「マシンガイダンス」の略称である。

建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する３次元マシンコントロール技術または、建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分を表示し、建設機械の作業装置を誘導する３次元マシンガイダンス技術を用いて、河川・海岸・道路土工の掘削等を実施する。

２）２次元ＭＧ建設機械

建設機械の作業装置の標高をリアルタイムに取得し、オペレーターが設定した基準面との標高差を表示することにより、建設機械の作業装置を誘導する２次元マシンガイダンス技術を用いて、河川・海岸・道路土工の掘削等を実施する。

但し、現場条件により、③ＩＣＴ建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監督職員との協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとするが、丁張設置等には積極的に３次元設計データ等を活用するものとする。

④３次元出来形管理等の施工管理

作業土工であるため、該当しない。

⑤３次元データの納品

４．②により作成した３次元設計データを工事完成図書として電子納品する。

ただし、１－３①において、３次元起工測量を実施した場合は、取得した３次元測量データも３次元データ納品の対象とする。

６．上記４．①（選択）②③の施工を実施するために使用するＩＣＴ機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要な施工用データは、受注者が作成するものとする。使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。

発注者は、３次元設計データの作成に必要となる詳細設計において作成したＣＡＤデータを受注者に貸与する。また、ＩＣＴ施工技術の活用を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、施工区間の前後を含め必要な範囲を積極的に受注者に貸与するものとする。

７．本特記仕様書に疑義を生じた場合または記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。

第３６条　ＩＣＴ活用工事における適用（用語の定義）について

図面とは、入札に際して発注者が示した設計図、発注者から変更または追加された設計図、工事完成図、３次元モデルを復元可能なデータ（以下「３次元データ」

という。）等をいう。
　なお、設計図書に基づき監督職員が受注者に指示した図面及び受注者が提出し、監督職員が書面により承諾した図面を含むものとする。

第３７条　ＩＣＴ活用工事（土工）の費用について

１．ＩＣＴ施工技術を活用する項目については、以下の積算要領に基づき費用を計上しているが、「３次元起工測量・３次元設計データの作成費用」及び「３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用」については、当初は計上していない。

・ＩＣＴ活用工事積算要領
・ＩＣＴ活用工事（砂防土工）積算要領
・ＩＣＴ活用工事（河床等掘削）積算要領

　実施した場合は、以下の（１）（２）により設計変更の対象とし、費用を計上する。

（１）３次元起工測量・３次元設計データの作成費用

　３次元起工測量・３次元設計データの作成（修正含む）を実施した場合は、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとし、発注者は、費用の妥当性を確認した上で設計変更の対象とする。
　なお、受注者から見積の提出がない場合は、「３次元起工測量・３次元設計データの作成費用」は計上しないものとする。

（２）３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用

　出来形管理の計測範囲において、１m間隔以下（１点/㎡以上）の点密度が確保できる出来形計測を行い、３次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法（面管理）を実施し、３次元データ納品を行った場合の費用の計上方法については、受注者より提出された見積により費用の妥当性を確認することとし、官積による算出方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。
　なお、受注者は、発注者からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとする。受注者からの見積により算出される金額が以下の補正係数を乗じて算出される金額を下回る場合は、見積により算出される金額を積算計上額とする。
　また、受注者から見積の提出がない場合は、３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。

・共通仮設費率補正係数：1.2
・現場管理費率補正係数：1.1

　上記費用の対象となる出来形管理は、以下の１）～４）とし、それ以外の出来形管理の費用は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれるため、別途計上は行わない。

１）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
２）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
３）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
４）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

　受注者が、契約後施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに、土工以外の工種に関するＩＣＴ活用について監督職員へ提案・協議を行う。また、土工についてもＩＣＴ活用に関する具体的な工事内容・数量及び対象範囲を明示し協議がなされ、それぞれの協議が整った場合、ＩＣＴ活用の実施に関わる項目については、各段階を設計変更の対象とする。

２．施工合理化調査を実施する場合はこれに協力すること。

第３８条　ＩＣＴ活用工事（舗装工）の費用について

１．受注者が、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに、舗装工及び付帯設備設置工に関するＩＣＴ施工技術の具体的な工事内容・数量及び対象範囲について明示し、発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合、ＩＣＴ施工技術を活用する項目については、以下の積算要領に基づき各段階を設計変更の対象とする。

・ＩＣＴ活用工事（舗装工）積算要領

なお、「３次元起工測量・３次元設計データの作成費用」及び「３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用」の費用計上の考え方は以下のとおりである。

（１）３次元起工測量・３次元設計データの作成費用

３次元起工測量・３次元設計データの作成（修正含む）を実施した場合は、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとし、発注者は、費用の妥当性を確認した上で設計変更の対象とする。

なお、受注者から見積の提出がない場合は、「３次元起工測量・３次元設計データの作成費用」は計上しないものとする。

（２）３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用

出来形管理の計測範囲において、１m間隔以下（１点/㎡以上）の点密度が確保できる出来形計測を行い、３次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法（面管理）を実施し、３次元データ納品を行った場合の費用の計上方法については、受注者より提出された見積により費用の妥当性を確認することとし、官積による算出方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正の補正係数を乗じるものとする。

なお、受注者は、発注者からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとする。受注者からの見積により算出される金額が以下の補正係数を乗じて算出される金額を下回る場合は、見積により算出される金額を積算計上額とする。

また、受注者から見積の提出がない場合は、３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。

・共通仮設費率補正係数：1.2

・現場管理費率補正係数：1.1

上記費用の対象となる出来形管理は、以下の１）２）とし、それ以外の出来形管理の費用は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれるため、別途計上は行わない。

１）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理

２）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

受注者が、契約後施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに、舗装工以外の工種に関するＩＣＴ活用について発注者へ提案・協議を行う。また、舗装工についてもＩＣＴ活用に関する具体的な工事内容・数量及び対象範囲を明示し、協議がなされ、それぞれの協議が整った場合、ＩＣＴ活用の実施に関わる項目については、各段階を設計変更の対象とする。

２．施工合理化調査を実施する場合はこれに協力すること。

第３９条　ＩＣＴ活用工事（地盤改良工）の費用について

１．ＩＣＴ施工技術を活用する項目については、以下の積算要領に基づき費用を計上しているが、「３次元起工測量・３次元設計データの作成費用」及び「３次元

出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用」については、当初は計上していない。

実施した場合は、以下の（１）により設計変更の対象とし、費用を計上する。

・ＩＣＴ活用工事（地盤改良工）（中層混合処理）積算要領

・ＩＣＴ活用工事（地盤改良工）（スラリー撹拌工）積算要領

（１）３次元起工測量・３次元設計データの作成費用

３次元起工測量・３次元設計データの作成（修正含む）を実施した場合は、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとし、発注者は、費用の妥当性を確認した上で設計変更の対象とする。

なお、受注者から見積りの提出がない場合は、「３次元起工測量・３次元設計データの作成費用」は計上しないものとする。

また、「３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用」については、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれているため、費用の計上はしないものとする。

２．施工合理化調査を実施する場合はこれに協力すること。

第４０条　ＩＣＴ活用工事（擁壁工）の費用について

１．受注者が、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までにＩＣＴ活用の具体的な工事内容・数量及び対象範囲について明示し、発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合、ＩＣＴ施工技術を活用する項目については、以下の積算要領に基づき以下の（１）（２）により費用を計上することとする。

・ＩＣＴ活用工事（擁壁工）積算要領

（１）３次元起工測量・３次元設計データの作成費用

３次元起工測量・３次元設計データの作成（修正含む）を実施した場合は、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとし、発注者は、費用の妥当性を確認した上で設計変更の対象とする。

なお、受注者から見積りの提出がない場合は、「３次元起工測量・３次元設計データの作成費用」は計上しないものとする。

（２）３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用

出来形管理の計測範囲において、面的に座標を取得し、ソフトウェア上で面の法長・高さ等の出来形管理を実施し、工事検査前の工事竣工段階の目的物について点群データを取得し、３次元データ納品を行った場合、標記費用の対象とする。

費用の計上方法については、受注者より提出された見積により費用の妥当性を確認することとし、官積による算出方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正の補正係数を乗じるものとする。

なお、受注者は、発注者からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとする。受注者からの見積により算出される金額が以下の補正係数を乗じて算出される金額を下回る場合は、見積により算出される金額を積算計上額とする。

また、受注者から見積の提出がない場合は、３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。ただし、擁壁工（ＩＣＴ）と同時に実施する土工（ＩＣＴ）等他工種において補正係数を乗じる場合は適用しない。

・共通仮設費率補正係数：1.2

・現場管理費率補正係数：1.1

上記費用の対象となる出来形管理は、以下の１）～４）とし、それ以外の出来形管理の費用は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれるため、別途計上

は行わない。
１）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
２）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
３）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
４）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
なお、以下の５）～７）による出来形管理を実施した場合は、「３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用」については、計上しない。
５）ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理
６）ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理
７）ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理

２．施工合理化調査を実施する場合はこれに協力すること。

第４１条　ＩＣＴ活用工事（作業土工（床掘工））の費用について

１．受注者が、契約後施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに、作業土工（床掘工）及び作業土工（床掘工）以外の工種に関するＩＣＴ活用の具体的な工事内容・数量及び対象範囲について明示し、監督職員へ協議を行い、協議が整った場合、ＩＣＴ施工技術の活用を実施する項目については、各段階を設計変更の対象とし、以下の積算要領より費用を計上することとする。
・ＩＣＴ活用工事（導入型）積算要領
・ＩＣＴ活用工事（作業土工（床掘工））積算要領
ただし、監督職員の指示に基づき、３次元起工測量を実施するとともに３次元設計データの作成を行った場合は、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積書を提出するものとする。

２．施工合理化調査を実施する場合はこれに協力すること。

第４２条　ＩＣＴ活用工事の活用効果等に関する調査

ＩＣＴ活用工事を行った施工者は、活用目的等の把握のための「ＩＣＴ活用工事の活用効果等に関する調査」の対象であり、別途監督職員より指示される調査票に基づき実施するものとする。
施工者は、工事完了後直ちに調査票を監督職員へ提出・確認後、発注者が指示するメールアドレスまで調査票を電子メールにより提出すること。また調査票の聞き取り調査等を実施する場合はこれに協力するものとする。
調査費用については当初は計上していないため、設計変更の対象とする。

第４３条　デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測に関する工事

１．デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測に関する工事
「デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測に関する工事（以下、「本工事」という。）」は、受注者における「段階確認に伴う準備作業（鉄筋へのマーカー設置等）、手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、段階確認時の配筋の出来形計測をデジタルカメラ等で撮影した画像計測により行うものである。
撮影画像（計測結果）は、遠隔地から確認することも可能であり、監督職員の遠隔臨場を実施する場合は、「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）」、及び「建設現場の遠隔臨場に関する監督・検査実施要領（案）」に準拠するものとする。

２．実施内容

（１）段階確認時の実施内容

段階確認時の配筋間隔の計測において、従来のスケール等による実測とデジタルカメラで撮影した画像計測を併用し、両者の計測値の差を整理するものとする。また、計測時の条件（撮影箇所、撮影距離、気象条件等）は、必ず記録するものとする。

（２）機器の準備

本工事に要する画像計測機器等は、受注者が手配するものとし、詳細については、監督職員と協議し決定するものとする。

（３）計測精度の検証

本工事による画像計測の精度検証のため、計測データを監督職員に提出するものとする。

（４）効果の検証

本工事を通じた効果の検証（生産性向上効果の検証）及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

（５）費用

本工事にかかる費用については、全額を受注者の負担とする。

第４４条　現場環境改善（快適トイレの設置）

１．内 容

受注者は、現場に以下の（１）～（11）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

（12）～（17）については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

（１）洋式（洋風）便器
（２）水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
（３）臭い逆流防止機能
（４）容易に開かない施錠機能
（５）照明設備
（６）衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を５kg以上とする）

【付属品として備えるもの】

（７）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
（８）周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
（９）サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）
（10）鏡と手洗器
（11）便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

（12）室内寸法900㎜×900㎜ 以上（面積ではない）
（13）擬音装置（機能を含む）
（14）着替え台
（15）臭気対策機能の多重化
（16）室内温度の調整が可能な設備
（17）小物置き場等（トイレットペーパー予備置き場等）

２．快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記１の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時におい

て、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】（１）～（６）及び【付属品として備えるもの】（７）～（11）の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量は、現場毎に必要性を協議の上、決定する。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。

３．快適トイレの「質の向上」に要する費用

快適トイレの「質の向上」として、積算上限額を超える費用について現場環境改善費（率）を充当することができる。現場環境改善費（率）の充当を希望する場合は、上記２．の協議時に見積書を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとする。

なお、現場環境改善費（率）を充当することにより、特記仕様書に明示されたその他の費目の実施が困難な場合には、実施費目数の変更を合わせて協議することとする。

４．その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

第４５条　BIM/CIM適用工事について

本工事は、BIM/CIM 適用工事（受注者希望型）である。受注者が希望する場合、３次元モデルの活用を提案することができる。詳細については、受発注者で協議し実施する。

（参考）３次元モデル作成の目安

詳細度	２００～３００程度※1 ※１　構造形式がわかるモデル～主構造の形状がわかるモデル
属性情報	３次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する(BIM/CIM 取扱要領「附属資料２　オブジェクト分類」を参照)。

１．BIM/CIM実施計画書の作成

受発注者において、BIM/CIM の実施内容や、納品方法等を協議し決定した結果を「BIM/CIM 実施計画書」として整理し、提出する。内容に変更が生じた場合は、受発注者間で協議し、BIM/CIM 実施（変更）計画書を作成する。

また、作成したBIM/CIM実施計画書（変更含む）に基づき、本工事を実施する。

１）工事概要
２）整理すべき課題
３）BIM/CIMの実施内容（３次元モデルの活用内容、期待する効果等）
４）３次元モデルの作成仕様（作成範囲、詳細度、属性情報、別業務等で作成された３次元モデルの仕様等）
５）３次元モデル作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類
６）３次元モデル閲覧、データ共有ができるソフトウェアの種類、成果物の納品ファイル形式
７）３次元モデルの作成・活用に要する費用

２．BIM/CIM実施報告書の作成

BIM/CIM実施計画書に基づき実施した内容について、BIM/CIM実施報告書を作成する。以下の内容をBIM/CIM実施計画書に追記して作成する。

８）後段階への引継事項（データかつ用事の留意点、更なる検討が必要な内容、２次元図面との整合等）

９）省人化の効果（前段階から引き継いだデータの活用により省人化した効果、３次元での検討により省人化した効果等）

３．成果物の納品

以下の内容を納品する。様式については別添資料を参照すること。

１）BIM/CIM 実施計画書・見積書（変更含む）

２）BIM/CIM 実施報告書（３次元モデル作成引継書シート、３次元モデル照査時チェックシートを含む）

３）作成した３次元モデル（オリジナルデータ、標準的なデータ形式（J-LandXML形式、IFC 形式）、統合モデル、動画等）

４．貸与資料

本工事に関連する業務等において作成した３次元モデルのデータを貸与することができる。

５．その他

最新の情報はBIM/CIMポータルサイト（https://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcimindex.html）で提供されているので、適宜参照すること。

第４６条　工事中の安全確保

１．工事の施工にあたっては、関東地方整備局長が定める「重点的安全対策」について留意し、工事事故の防止を図らなければならない。

なお、令和８年度における重点的安全対策項目は以下の７項目である。

Ⅰ．架空線等上空施設の損傷事故防止

Ⅱ．建設機械等の稼働に関連した人身事故防止

Ⅲ．資機材等の下敷きによる人身事故防止

Ⅳ．足場・法面等からの墜落事故防止

Ⅴ．地下埋設物の損傷事故防止

Ⅵ．第三者の負傷・第三者車両等に対する損害

Ⅶ．事故防止

２．受注者は、工事に従事する就業制限業務及び作業主任者を選任する業務における資格者のうち、資格取得後一定期間経過した資格者に対し、次に掲げる再教育の受講が推進されるよう努めるものとする。

①労働安全衛生法第19条の2に基づく足場組立等作業主任者等に対する能力向上教育

②労働安全衛生法第60条の2に基づく車両系建設機械運転従事者、移動式クレーン運転士、玉掛業務従事者等に対する危険有害業務従事者教育

③厚生労働省通達に基づくドラグ・ショベル運転業務従事者等に対する危険再認識教育

３．工事の施工にあたっては、工事等の時期、工事等の方法の概要 及び 工事等を行なう場合における道路交通に対する措置について「道路工事保安施設設置基準（令和６年２月）」に基づき監督職員へ確認を行うものとする。

４．工事中看板、工事情報看板及び工事説明看板の記載内容及び設置箇所については、監督職員の承諾を得るものとする。

５．工事期間中に配置する交通誘導警備員は、以下のとおり計上するものとする。ただし、交通管理者等との協議条件など社会的要件、現地精査に基づき配置人員の変更が必要になった場合は、監督職員と協議するものとする。

工種	作業区分	交通整理員（延人数）	備考
全ての工種	昼間作業	**３８０人 （うち有資格誘導員０人）**	交代要員含む

第４７条　試掘及び埋設物の防護

本工事の施工にあたり、地下埋設物に影響を与える箇所について埋設物の管理者等と協議し、必要と判断された場合は、試掘の実施について監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

また、現場条件等により埋設物の防護が必要な場合には、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第４８条　UAV 等を使用する際の安全面への配慮について

受注者は、起工測量等においてUAV 等を使用する場合、安全面への配慮として下記URLに基づいてUAV 等を使用すること。

URL https://www.gsi.go.jp/KOUKYOU/sokuryosidou41042.html

第４９条　熱中症対策に資する現場管理費の補正

１．本工事は、夏季における真夏日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に掛かる経費に関して「熱中症対策に資する現場管理費の補正」を行う試行工事である。

２．真夏日の考え方は下記のとおりである。

（１）真夏日の定義

日最高気温が30℃以上の日を指す。

ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合とする。

（２）試行にあたっての真夏日の計上の考え方

下記①～③のいずれかに該当する場合、真夏日として計上する。

①環境省が公表している暑さ指数（WBGT）が日最高25℃以上の場合。

施工現場から最寄りの環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）が25℃以上となる日を、真夏日とみなす。

②気象庁が公表している地上気象観測所の日最高気温が30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温が30℃以上の日を、真夏日とする。

③夜間工事については、作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの観測地点における作業時間帯の最高気温が30℃以上、又はWBGTが25℃以上の場合、真夏日とする。

なお、休工日においては、上記に該当した場合でも真夏日としては計上しない。

④上記①～③によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

（３）工期

工事着手から工事完成日までの期間を指す。なお、年末年始休暇６日間、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まれない。

（４）基準日

受発注者協議により、「基準日」を定めるものとする。「基準日」は工事着手日を基本とする。当該「基準日」より工期末までの期間のうち、真夏日にあたる日数を算出する。

なお、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、現場休工日は含まないものとする。

（５）真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

・真夏日率　＝　基準日から工期末までの真夏日　÷　工期

（６）現場管理費の補正

現場管理費の補正は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費に加算する。なお、補正は契約変更において行うものとする。

・補正値（%）　＝　真夏日率　×　補正係数※

※真夏日補正係数：１．２

第５０条　安全管理推進技術査等認定について

１．概要

関東地方整備局（港湾・空港部・営繕部関係を除く）が発注した工事（以下、「直轄工事」という）において、無事故で完成させた技術者に対して、「安全管理推進技術者」（以下、「認定技術者」という）として認定する。

２．認定条件

対象とする技術者は、以下の条件によって認定する。

・直轄工事において、無事故にて完成させた「安全管理担当者」として、施工期間中、全ての工事（準備工を除く）に従事した者。なお、「安全管理担当者」とは、施工体制上、受注者が配置する「統括安全衛生責任者」、「元方安全衛生管理者」、「ずい道等救護技術管理者」、「店社安全衛生管理者」、「工事現場責任者」として安全管理に従事した者で、現場代理人または、主任（監理）技術者が兼務した場合も認定するものとする。

３．認定技術者の認証

・認定技術者及び優秀認定技術者に認定された者については、「安全管理推進技術者認定ロゴマーク」（以下、「認定ロゴマーク」という）を「企業の名刺」、「ヘルメット貼付」等に使用（印刷、シール）することができる。

・紛失等による認定書の再発行は行わない。

・「認定ロゴマーク」については、当該地方整備局管内で行う直轄工事のみに使用でき、それに要する費用は、当該企業が負担するものとする。

４．認定技術者の認証期間

認定技術者へ授与した認証については、その使用期間に制限を設けないものとする。

５．不適切事項への措置による認証の取り扱い

認定技術者が関係する工事にて、粗雑工事等の発覚より、関東地方整備局から措置（指名停止、文書注意、口頭注意）を受けた場合であっても、過去の認証の取り消しは行わない。ただし、工事完成後、安全管理に関して不適切な事象が発覚した場合、または、不正による認定取得が確認された場合については、認定を取り消す。

第５１条　交通誘導警備員の資格

交通誘導警備員については、資格者（警備業法第23条に規定する都・県公安委員会の行う1級又は2級検定に合格した者）又は、経験1年以上の者を配置すること。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第５２条　仮設工等の段階点検

受注者は、仮設工の計画、設計及び施工における下記段階及び内容について、監督職員の指示する書式に従い、確認し、提出するものとする。

（１）仮設工の設計完了段階(指定仮設については、発注者から提示された設計図書の内容検討完了段階)現地条件と整合した設計条件で設計され適切な仮設計画書が作成されているかを確認する。(なお、指定仮設については発注者から提示された設計図書が現地条件と整合した設計条件で設計され、安全確保された設計図書になっているかを確認する)

（２）仮設工の施工中間段階

仮設計画書どおりに施工が実施されているか確認する。

（３）仮設工の施工完了段階

仮設計画書どおりに施工が実施されているか確認する。

（４）仮設工の撤去中間段階

仮設計画書どおりに施工が実施されているか確認する。

第５３条　路上工事の縮減等

受注者は、路上工事による交通への影響の緩和を図るため、施工方法・規制時間帯・施工日数の短縮等の検討を行い、監督職員に提出するとともに工事完了時に実施結果を提出するものとし、路上工事の縮減等に努めるものとする。

第５４条　特定調達品目の調達実績の調査

受注者は、本工事の資材、建設機械の使用にあたっては、必要とされる強度や耐久性、機能の確保等に留意しつつ、環境物品等の調達の推進に関する基本方針に定められた国土交通省の特定調達品目(以下、「特定調達品目」という)の使用を積極的に推進するものとする。設計図書に定めがあるものについて、特定調達品目への変更が可能である場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。ただし、東日本大震災の影響により、特定調達品目の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

受注者は、特定調達品目の調達実績の集計を行い、工事完了後(工期が令和９年度以降に及ぶものは、監督職員の指示する日まで)に、電子データにより監督職員に提出するものとする。集計の方法については、監督職員より指示する。

第５５条　環境対策（建設機械の使用）

受注者は、本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」(昭和６２年３月３０日建設省経機第５８号)に基づき、低騒音型建設機械の使用原則を図られた場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。

第５６条　ディーゼル車排出ガス規制に適合した車輌の使用

１．受注者は、本工事現場で使用し又は使用される関係車輌（以下、本工事関係車輌という。）が、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県のディーゼル車排出ガス規制条例（以下、関係法令等という。）の適用を受ける場合は、これに適合した車輌を使用しなければならない。

２．受注者は、本工事の施工に先立ち、本工事関係車輌の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車輌の使用」について、関係法令等の遵守を施工計画書に記載しなければならない。

３．受注者は、本工事関係車輌にディーゼル車を使用する場合には、車検証等のコピーを保管し、本工事関係車輌を把握しなければならない。

４．受注者は、取締りにより本工事関係車輌に違法行為等があった場合には、直ちに監督職員に報告しなければならない。
５．受注者は、資機材の搬出入等において、資材納入業者に関係法令等を遵守させるものとする。

第５７条　舗装版切断時に発生する濁水の適正な処理

舗装版切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものする。回収された排水については、地方公共団体の取扱規則等に基づき適正に処理しなければならない。

なお、舗装版切断時に発生する濁水の運搬・処理費用については当初見込んでいないが、建設資材廃棄物に該当するため、適正な処理方法について選定し監督職員と協議すること。

なお、濁水の運搬・処理費用等、必要と認められる経費についても契約変更の対象とする。

「適正に処理」するとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（請負業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供することが必要である。

なお、受注者は、排水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。

第５８条　交通安全管理（工事現場管理）

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。
１．積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
２．さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
３．過積載車輌、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
４．取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行った場合、さし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
５．建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
６．以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

第５９条　交通安全管理（特殊車両通行許可関係図書の確認及び提出）

共通仕様書１－１－１－３７交通安全管理第１４項における道路法第４７条の２に基づく通行許可の確認は下記について実施するものとする。また監督職員からの求めがあった場合には確認結果等を提示しなければならない。

①　当該車両に関する特殊車両通行許可証
②　現場到着地点及び現場出発時における荷姿（荷姿全景、ナンバープレート等通行許可証と照合可能な写真を撮影しておくこと）
③　車両通行記録計（タコグラフ）（夜間走行条件の場合のみ）

なお、当該車両の特殊車両通行許可証については、当該経路に関する部分の写しを、共通仕様書１－１－１－３９官公庁等への手続等第３項に基づき、監督職員へ提示するものとする。

第６０条　通行許可等

１．受注者は、建設機械、資材の運搬にあたり、道路法第４７条第１項、車両制限令第３条における一般的制限値を超える車両を通行させようとする場合は、運搬

資機材毎に運搬計画（車種区分、車両番号等、車両諸元及び積載重量、資材の積載限度数量、通行経路、許可証等の有効期限等の確認方法と確認頻度）を作成し、施工計画書に記載しなければならない。

２．受注者は、運搬計画どおりに運行していることを確認しなければならない。また、確認を行った資料については、整理保管するとともに、監督職員または検査職員の要求があった場合は速やかに提示しなければならない。

第６１条　工事現場の現場環境改善

１．現場環境改善として実施する内容は、下記のとおりとするが、現場条件等により実施が困難になった場合には、監督職員と協議するものとする。

（１）仮設備関係

緑化・花壇を実施するものとする。

（２）営繕関係

現場事務所の快適化、現場休憩所の快適化を実施するものとする。

（３）安全関係

工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）を実施するものとする。

（４）地域連携

社会貢献を実施するものとする。

２．現場環境改善については具体的な内容、実施時期について施工計画書に含め提出するものとする。

３．主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策については、工事契約後、監督職員と協議するものとし、現場環境改善費（率）の１００％を上限として設計変更の対象とする。

第６２条　給水

固結工における給水については、当初、見込んでいないが、現地状況を確認のうえ、監督職員と協議を行うものとする。

第６３条　工期

１．本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間と実工事期間を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約を締結するまでの間に、**別紙様式−１６**により、工事の始期及び終期を通知すること。

２．余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

３．全体工期：契約締結日の翌日から**令和９年１２月２４日**まで

４．契約締結後において、工期の始期の変更の必要が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。なお、条件の変更がない場合において、契約時に設定した工期の変更は行わない。

５．工期は、雨天、休日等を見込んでいる。なお、休日には、日曜日、祝日、年末年始及び夏期休暇の他、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

①準備期間	４０日間
②後片付け期間	２０日間
③雨休率（猛暑日補正有り） （実働工期日数に休日と悪天候により作業不能日※を見込むための係数）	０．７９
④余裕期間	約３０日間

※雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日は以下の通りである。（当該工事の作業不能日ではない。）

イ）１日の降雨・降雪量が１０㎜/日以上の日：２５日間

ロ）８時から１７時までの WBGT 値が３１以上の時間を足し合わせた日数：１２日間

（少数第１位を四捨五入（整数止め）し、日数換算した日数）

過去５か年（２０２１年～２０２５年）の気象庁（さいたま観測所）及び環境省（さいたま地点）のデータより年間の平均発生日数を算出（雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日）

５．著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程（官積算）で見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

６．後片付け期間に検査に要する各種電子データの作成を行うことを想定しているが、更なる期間が必要な場合は、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

第６４条　工事工程クリティカルパスの共有

受注者は、現場着手前（準備期間内）に設計図書等を踏まえた工事工程表（クリティカルパスを含む）を作成し、監督職員と共有すること。工程に影響する事項がある場合は、その事項の処理対応者（「発注者」又は「受注者」）を明確にすること。

施工中に工事工程表のクリティカルパスに変更が生じた場合は、適切に受発注者間で共有することとし、工程の変更理由が以下の①～⑤に示すような受注者の責によらない場合は、工期の延長が可能となる場合があるので協議すること。

①受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合

②著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程（官積算）で見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合

③工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合

④資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合

⑤その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合

第６５条　工事工程表の開示の試行工事

１．本工事は、工期設定の根拠とした工事に必要な関係機関との調整、住民合意、用地確保、法定手続きなどの進捗状況を踏まえた工事工程表を開示するとともに、設計審査会等において工事工程クリティカルパスの共有や発注者が作成する工程と受注者が作成する工事工程の照合（クロスチェック）を行うことにより、

適切な工期設定の取組を行う「工事工程表の開示の試行工事」である。

２．工事契約後、設計審査会等において、「前条　工事工程クリティカルパスの共有」により作成した工事工程表を確認し、受注者・発注者間でクリティカルパスの共有を行うものとする。

３．設計審査会等において、発注者が開示した工事工程表（**別紙－５**）との照合（クロスチェック）を実施し、必要に応じて工期延伸の判断について審査を行うなど、適正な工事工程の確保に努めるものとする。

４．本試行に関するアンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

第６６条　悪天候等により工期変更が必要となる場合の協議を簡素化する試行

１．受注者は、著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生し、工期内に工事を完成することが困難な場合はその理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。

著しい悪天候とは、当該工事の工期月の雨休率が、直近５カ年における工期月の雨休率の平均値を超える場合をいう。

工期月とは、工事着手日から工事完成予定日までの期間のうちの、工期の延長変更請求時までにかかる月（ただし、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は除く）をいう。

なお、本工事の降雨降雪日は、鴻巣観測所（気象庁のデータ）における1日の降雨・降雪量雨が10㎜ 以上/日の日を想定している。

２．アンケート調査を行う場合は、これに協力すること。

第６７条　担い手確保・育成貢献について

本工事は建設産業の担い手の確保・育成工事に関する取り組みが優れた工事について、企業に対して表彰を行う「大宮国道事務所建設産業担い手確保・育成貢献工事表彰制度」の対象工事であり、受注者は、自ら立案実施した担い手の確保対策や育成貢献のための取り組みにおいて評価できる項目について、工事完成時までに所定の様式「**別紙－８（１）～（２）**」により、監督職員に提出する事ができる。

第６８条　個人情報の取扱について

１．基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務を処理するための個人情報の取り扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の保護に関する法律（平成１５年５月３０日法律第５７号）第６６条第２項第１号の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。

２．秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

３．取得の制限

受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。

４．利用及び提供の制限

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処

理するための利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

５．複写等の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

６．再委託の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取り扱いを伴う事務を再委託してはならない。なお、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）には、受注者は当該第三者に対して、個人情報の保護に関する法律（平成１５年５月３０日法律第５７号）第６６条第２項第４号に基づく個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じさせなければならない。

７．事案発生時における報告

受注者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

８．資料等の返却等

（１）受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から貸与され、又は受注者が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約の終了後又は解除後速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。ただし、発注者が、廃棄又は消去など別の方法を指示したときは、当該指示に従うものとする。なお、発注者の指示又は承諾により個人情報が記録された資料等を複写等した場合には、確実にそれらを廃棄又は消去するとともに、証明書（**別紙－２**）を発注者に提出しなければならない。

（２）前項の規定は、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）において準用する。

９．管理の確認等

発注者は、受注者における個人情報の管理の状況について適時確認することができる。また、発注者は必要と認めるときは、受注者に対し個人情報の取り扱い状況について報告を求め、又は検査することができる。

１０．管理体制の整備

受注者は、この契約による事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定するなど管理体制を定めなければならない。

１１．従事者への周知

受注者は、従事者に対し、在職中及び退職後においてもこの契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

第６９条　施工時期及び施工時間の変更

本工事の作業区分は下記によるものとする。

作業区分	施　工　区　分	標準作業時間
昼間作業	全ての工種	８：００～１７：００

上記については、積算上の条件明示であり、作業時間を指定するものではない。
※標準作業時間には、日々の作業準備、後片付け、ＫＹ等安全活動なども含まれる。
ただし、上記区分に変更を要する場合は、監督職員と協議するものとする。

第７０条　他工事との調整

１．下記工事の請負業者とは、現場が連続し施工が輻輳することから、施工手順・工程については十分な打ち合わせを行い、工事の円滑な進捗に努めるものとする。

２．本工事との調整工事は以下のとおりとする。

工事名	施工範囲	工期（予定）
Ｒ８国道１７号上尾道路外環境整備工事	埼玉県さいたま市西区宮前町～埼玉県鴻巣市箕田	令和8年4月～令和9年3月
Ｒ７国道１７号上尾道路箕田地区外改良工事	自）埼玉県鴻巣市滝馬室 至）埼玉県鴻巣市箕田	令和8年4月～令和8年12月

第７１条　新技術の活用「新技術の定義」

１．本工事は、新技術活用の促進を図ることを目的とした、新技術活用工事である。

２．新技術の定義

新技術活用の原則化における新技術の定義は以下による。

①技術の成立性が技術を開発した民間事業者等により実験等の方法で確認されている技術

②公共工事等において実用段階に達している技術

③当該技術の適用範囲において従来技術に比べて活用の効果が同程度以上の技術又は同程度以上と見込まれる技術

④実用段階に達していない技術又は要素技術など研究開発段階にある技術であって国により導入促進を図る技術

３．対象とする新技術

新技術活用の原則義務化の対象とする新技術は以下のとおりとする。

１）新技術情報提供システム（NETIS）登録技術
URL　http://www.netis.mlit.go.jp

２）NETISのテーマ設定型の技術比較表に掲載されている技術

３）新技術導入促進（Ⅱ）型により活用する技術

４）新技術のニーズ・シーズマッチングにより現場実証し、従来技術と同等以上と確認できた技術

対象とする技術は、NETIS「マッチング」に掲載された技術のうち、「普及促進技術」に該当するものとする。

なお、NETIS掲載期間終了技術は対象外とする。

第７２条　新技術の活用（施工者選定型）

１．本工事は、施工者が原則１技術以上の新技術を選択したうえで活用を図る新技術活用工事である。

２．本工事において、第７１条の新技術の活用「新技術の定義」３．対象とする新

技術に示す1)～4)の技術が選定されていない場合、受注者は施工に先立ち、当該工事内容について十分把握の上、新技術を原則一つ以上選定し、監督職員の承諾を得た上で活用するものとし、活用する新技術の名称及び内容等を施工計画書に記載するものとする。活用する新技術がNETIS 登録技術の場合は新技術活用計画書も提出するものとする。

３．受注者は、選定した新技術が第７１条の新技術の活用「新技術の定義」３．対象とする新技術に示す１）～４）のいずれの新技術であるか確認できるよう、施工計画書に記載する。

４．当該技術については、設計図書等で定められた事項に係る部分でない場合は、設計変更の対象としない。

５．受注者は、試行現場照会中の技術を活用する場合において当該技術の施工にあたりNETIS申請者が実施する「試行調査」に協力するものとする。なお、試行調査に係る費用はNETIS申請者が負担する。

６．試行現場照会中の技術を活用する場合、当該工事の実施箇所において標準的に使用される技術の施工費相当額を超える費用については、試行調査に係る費用とみなし、NETIS申請者の負担とする。

７．受注者は、活用する新技術が情報種別記号「－ＶＥ」以外のNETIS登録技術の場合は、当該技術の施工にあたり「活用効果調査」を行うものとする。「活用効果調査」は、「新技術情報提供システム(NETIS)」より作成し、監督職員に提出するものとする。

８．受注者は、本工事によって知り得た当該技術に係わる情報は、監督職員の許可なく公表してはならない。

第７３条　建設現場における遠隔臨場の実施

１．建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）とWeb会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものとする。

なお、遠隔臨場の実施にあたっては「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）R5.3」を参考に実施するものとする。

URL　https://www.mlit.go.jp/tec/content/001594449.pdf

２．遠隔臨場を適用する工種、確認項目

現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することとする。

３．実施内容

（１）段階確認・材料確認、立会での確認

①受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声をWeb 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものとする。

②確認実施者が現場技術員の場合、現場技術員は使用するPCにて遠隔臨場の映像（実施状況）を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム（ASP）等に登録して保管する。（従来の立会資料の管理と同様とする。）

（２）動画撮影

動画撮影は、撮影者の安全を確保するため、撮影者が移動の際に横転等が考えられるいわゆる「歩きスマホ」（カメラを手に持って歩きながら撮影）での撮影はしないこと。

動画撮影は、静止して撮影又は撮影者のヘルメットや胸ポケットに付ける等の安全に配慮するものとする。

（３）機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）やWeb会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し決定するものとする。

なお、配信に利用するシステムは、「パッケージ化したシステム」、「情報共有システム（ASP）」、「Web会議システム（teams､zoom等）」等、何れのシステムを利用してよい。

（４）遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行うものとする。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。

なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

（５）フォローアップ調査

工事完了時に**別紙様式-１９**を監督職員へ提出するものとする。

また、遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示によるものとする。

（６）費用

遠隔臨場にかかる費用については、工事実施に必要な施工管理費として、全必要額を技術管理費に積み上げ計上し、設計変更するものとする。

なお、機器の手配は基本的にリースとし、その賃料を計上するものとするが、やむを得ず購入せざるを得ない機器がある場合は、その購入費に、機器の耐用年数に対する使用期間（日単位）割合を乗じた分を計上するものとする。また、受注者が所持する機器を使用する場合も、基本的には同様の考え方とするものとする。

（７）不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、「建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準　令和７年１２月１２日（国不建第１２１号）」等に従い、監督処分を実施する場合がある。

（８）通信環境

遠隔臨場の実施にかかる通信環境整備は、発注者の費用負担にて行うものとする。

なお、通信環境整備に関する詳細は、監督職員と協議を行うものとする。

遠隔臨場の実施にあたり、現場の通信環境が不良と確認された場合は、対応策を検討の上、監督職員と協議を行うものとする。

第７４条　建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

１．遠隔臨場による工事検査の実施

「遠隔臨場による工事検査」は、受注者における「工事検査に伴う移動時間の削減や工事関係書類の簡素化」や発注者（監督職員・検査職員）における「現場実地（現場臨場）の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、３６０度カメラ等）とＷＥＢ会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査項目を遠隔で行うものである。なお、遠隔臨場による工事検査は、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』の内容に従い実施する。

２．遠隔臨場による工事検査の対象

遠隔臨場による工事検査は、完成検査、中間技術検査、既済部分検査、完済部分検査における、工事実施状況、出来形、品質、出来ばえの各検査項目を対象とし、以下の表に示す。また、全ての検査を対象とするが、現場条件や、7.3 検査項目の適応性を踏まえ、従来方法（対面書類検査、現場実地検査）を選択することも可能である。

凡例　〇：遠隔臨場による工事検査の対象

	工事実施状況	出来形		品質		出来ばえ	
	書類	書類	実施	書類	実施	書類	実施
完成検査	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
中間技術検査	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
既済部分検査	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
完済部分検査	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

３．遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目

現場条件により遠隔臨場による工事検査の適応性が一致しない場合も想定されることから、検査項目での適用・不適用については、監督職員が検査職員と調整・決定し、受注者に遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目を連絡する。遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目については、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ判断する。

４．実施内容

（１）技術検査、工事検査での実施

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、３６０度カメラ等）により取得した映像及び音声をＷＥＢ会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査を実施するものである。

（２）機器の準備

遠隔臨場による工事検査に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、３６０度カメラ等）やＷＥＢ会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員と協議し決定するものとする。

（３）遠隔臨場による工事検査を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場による工事検査が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で予備日を取り決めて検査日を連絡する。

（４）効果の検証

遠隔臨場による工事検査を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

（５）費用

遠隔臨場による工事検査にかかる費用については、受発注者間の協議を踏まえ、技術管理費に積上げ計上する。なお、監督業務で遠隔臨場を実施する工事については、遠隔検査を行うために追加で要する費用が生じた場合に監督職員と協議するものとする。

（６）不正行為

遠隔臨場による工事検査において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準　令和７年１２月１２日（国不建第１２１号）』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第７５条　契約後ＶＥ方式

１．定義

「ＶＥ提案」とは、契約書第１９条の２の規定に基づき、設計図書に定める工事の目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする工事材料、施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案である。

２．ＶＥ提案の意義及び範囲

①受注者がＶＥ提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のものとする。

②以下の提案は、ＶＥ提案の範囲に含まないものとする。

（１）施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案。

（２）契約書第１８条に規定された条件変更等に該当する事実との関係が認められる提案。

（３）提案の実施に当たり、関係機関協議等、第三者との調整等を要する提案。

３．ＶＥ提案書の提出

①受注者は、前項のＶＥ提案を行う場合は、次に掲げる事項をＶＥ提案書（**別紙様式－０１～０４**）に記載し、発注者に提出しなければならない。

（１）設計図書に定める内容とＶＥ提案の内容の対比及び提案理由

（２）ＶＥ提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）

（３）ＶＥ提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠

（４）発注者が別途発注する関連工事との関係

（５）工業所有権等の排他的権利を含むＶＥ提案である場合、その取扱いに関する事項

（６）その他ＶＥ提案が採用された場合に留意すべき事項

②発注者は、提出されたＶＥ提案書に関する追加的資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。

③受注者は、前項のＶＥ提案を契約の締結日より、当該ＶＥ提案に係る部分の施工に着手する３５日前までに、発注者に提出できるものとする。

④ＶＥ提案の提出費用は、受注者の負担とする。

４．ＶＥ提案の審査

提出されたＶＥ提案は、施工の確実性、安全性が確保され、かつ設計図書に定める工事の目的物と比較し、機能、性能等が同等以上で経済性が優位であると判断されるものについては、ＶＥ提案として採用することを原則として審査を行い、当該提案の採否を決定するものとする。

５．ＶＥ提案の採否等

ＶＥ提案の採否について、原則として、ＶＥ提案の受領後１４日以内に書面（**別紙様式－０５**）により通知するものとする。ただし、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。また、ＶＥ提案を採用しなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。

６．ＶＥ提案を採用した場合の設計変更等

①ＶＥ提案を採用した場合において、必要があるときは、発注者は設計図書の変更を行わなければならない。

②前項の規定により設計図書の変更が行われた場合において、発注者は、必要があるときは請負代金額を変更しなければならない。

③前項の変更を行う場合においては、ＶＥ提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の１０分の５に相当する金額（以下「ＶＥ管理費」という。）を削減しないものとする。

④ＶＥ提案を採用した後、契約書第１８条の条件変更が生じた場合、発注者がＶ

Ｅ提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。なお、ＶＥ管理費については、原則として変更しないものとする。

７．ＶＥ提案の活用と保護

評定の結果、当該ＶＥ提案内容の活用が効果的であると認められた場合は、他の工事においても積極的に活用を図るものとする。その場合、工業所有権等の排他的権利を有する提案については、当該権利の保護に留意するものとする。

第７６条　生産性向上チャレンジ工事

１．試行の実施

本工事は、受注者の発案による施工手順の工夫等の創意工夫による生産性向上の取組みを推進する「生産性向上チャレンジ」の試行対象工事である。

２．試行の内容

工事契約後、受注者は、当該工事において、省人化等の生産性向上に資する取組みを実施することができる。

本取組みを実施する場合は、施工計画書に「生産性向上チャレンジ工事」の項目を設け、①取組内容、②期待される効果等を明記するものとし、完成検査までに実施内容及び効果を報告するものとする。また、期待される効果等について、人員削減や作業時間削減等の定量的な効果を記載できる場合は記載することとする。

なお、「技術提案で提案済みの内容」及び「特記仕様書第７１条の新技術活用「新技術の定義」」において採用した取組については本試行の対象外とする。

３．工事成績評定

施工計画書で位置づけられた「生産性向上チャレンジ工事」の取組の履行が確認出来た場合は加点を行うこととする。

４．本試行に係る費用については、原則、受注者負担によるものとする。

第７７条　六価クロム溶出試験

本工事は、「六価クロム溶出試験」の対象工事であり、下記に示す工種について、六価クロム溶出試験を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。また土質条件、施工条件等により試験方法に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

六価クロム溶出試験対象工種名及び検体数

固結工：２検体

第７８条　出来高部分払方式

本工事の部分払は、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施し、円滑かつ速やかな工事代金の流通を確保することによって、より双務性及び質の高い施工体制の確保を目指すため、「出来高部分払方式実施要領」［国土交通省HP https://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000052.html　参照］に基づき行うものとする。

第７９条　直轄土木工事における賃金・労働時間等の実態調査（試行）（受注者希望方式）

１．本工事は、受注者の協力の下、賃金・労働時間・労務費（以下「賃金・労働時間等」という。）の実態を調査する試行工事である。

２．受注者は、契約締結後、賃金・労働時間等の実態調査に協力する意向がある場合には、実態調査に協力する工種・種別・細別（以下、「工種等」という。）を発注者へ報告するものとする。
３．発注者は、実態調査に協力する工種等の報告を受けた工種等より調査対象を選定するとともに、調査対象工種等の施工が完了した後、受注者は、別途監督職員より通知される実態調査要領に基づき資料を提出するものとする。
４．発注者は、提出された資料をもとに賃金、労働時間等の実施率・達成率を算出後、積算上の作業時間を示した資料を提出するとともに、賃金、労働時間等の実施率・達成率を工事完成検査後に受注者、下請業者（注文者）、下請業者（使用者）に通知するものとする。

第８０条　低炭素型コンクリート試行工事（プレキャスト）

本工事は、建設関連業界等のカーボンニュートラルに向けた取組を促進するとともに、調達上の課題等を検証するため、セメント置換率の高いコンクリートなどのコンクリート製造時の CO2 排出量（コンクリートの材料の CO2 排出を含む）を削減した「プレキャスト製品による低炭素型コンクリート」の試行工事である。

① 低炭素型コンクリート製品の規定・確認

低炭素型コンクリートはポルトランドセメントの置換率が５５％以上のもの又はこれと同等以上の CO2 排出削減効果のあるものとする。受注者は、低炭素型コンクリート製品の購入前に、以下が確認出来る資料を監督職員に提出し、施工数量について監督職員と協議するものとする。

・低炭素型コンクリート製品の出荷を予定している工場の所在
・低炭素型コンクリート製品の出荷を予定している工場と施工現場までの運搬距離
・低炭素型コンクリート製品の見積書
・低炭素型コンクリート製品による CO2 排出削減効果（算出可能な場合に限る）

低炭素型コンクリート製品の配合品質証明書等を監督職員に提出し、監督職員は置換率が５５％以上であること又は同等以上の CO2 排出削減効果があることを確認するものとする。なお、費用対効果等を考慮し、低炭素型コンクリートを使用しない場合がある。

② 試行工事の実施に要する費用

当該試行工事の実施に要する低炭素型コンクリート製品の費用は見積によるものとし、設計変更の対象とする。

③ 試行結果の検証への協力

試行にあたり受注者は実施状況や結果検証のための調査に協力するものとする。

第８１条　現場技術員

本工事は、現場技術員の配置対象工事であり、現場技術業務を建設コンサルタント等に委託する予定としている。

第８２条　施工体制調査員

本工事は、現場における施工体制の点検補助を建設コンサルタント等に委託する予定としている。また、本工事の施工体制の点検を担当する施工体制調査員の氏名は、別途監督職員より通知する。

なお、施工体制調査員は、工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により電子書類を閲覧し、点検を行うため、施工体制調査員を情報共有システム（ＡＳＰ）のユーザ

ーに登録するものとする。（「閲覧のみ可能」で登録）

第８３条　施工体制の点検

１．受注者は「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成１２年法律第１２７号　最終改正令和６年１２月１３日）第１５条３により発注者から施工体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。

２．施工体制の点検員は当該工事の監督職員、施工体制調査員及び発注担当事務所の職員である。

３．施工体制調査員は、業務証明書を携帯し、胸に委託業務名、委託先、業務職（施工体制調査員）、氏名、顔写真の入った名札を着用している。

４．当該工事の監督職員及び発注担当事務所の職員は、所属、氏名、顔写真の入った名札を着用している。

５．施工体制調査員は、施工体制の点検を行う者で、指示等の権限は有しない。

６.施工体制調査員は、電子書類の点検を工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により「閲覧」し、点検する。

７．施工体制調査員は、第１回目の現地点検は現地で点検するが、以降の点検は、映像により点検が可能な項目は、必要に応じ、工事の受注者が導入しているＷＥＢ会議や遠隔臨場システムを活用し、点検することを可能とする。

ただし、立会や打合せ等においてＷＥＢ会議や遠隔臨場システムを導入していない工事や現地での点検を希望する工事は、従来通り、現地で点検する。

第８４条　品質証明

本工事は、品質証明対象工事とする。なお、提出様式は**別紙様式－１２**によるものとする。

第８５条　工事完成図書の納品

１．本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「工事完成図書の電子納品等要領（令和５年３月）：（以下「要領」という。）」に基づいて作成した電子データを指す。

「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する。

なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】（令和６年３月）」を参考とするものとする。

２．本工事は「オンライン電子納品実施要領」に基づき、オンライン電子納品を行うものとする。

オンライン電子納品は、発注者が用意した電子納品保管管理サーバへのオンラインによる納品を原則とする。

なお、オンラインによる納品が実施できない場合は、監督職員と協議の上、電子媒体に格納して納品するものとする。

３．成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

第８６条　技術検査

１．本工事は、中間技術検査対象工事とし、実施回数は２回以上を原則とする。なお、工事成績優秀企業の適用工事にあたっては、減免することが出来るものとす

る。但し、低入札価格調査制度対象工事となった工事及び監督強化価格対象工事については、減免の適用の対象外とする。

２．中間技術検査の実施時期は、完成、既済部分(完済を含む)の検査時期及び当該工事の主要工種を考慮し、施工上の重要な変化点で行うことを原則とする。実施時期は、監督職員が選定するものとし、監督職員は、受注者に対して書面をもって検査日及び検査職員名を通知するものとする。

３．中間技術検査は、上記を標準として実施することとするが、中間技術検査の主旨を踏まえ、現場条件、工事規模、内容、工期等を考慮して、実施時期、実施回数を変更することが出来る。

第８７条　書類限定検査

１．本工事は、検査に必要な書類を限定し、監督職員と技術検査官の重複確認廃止の徹底及び受注者における説明用資料等の書類削減により効率化を図る「書類限定検査」の対象である。

２．書類限定検査とは、検査時に下記の１０書類に限定して資料検査を行うものとする。

①施工計画書	⑥出来形管理図表
②施工体制台帳（下請引取検査書類を含む。）	⑦品質管理図表
③工事打合せ簿（協議）	⑧品質規格証明資料
④工事打合せ簿（提出）	⑨品質証明書
⑤工事打合せ簿（承諾）	⑩工事写真

なお、以下の工事については対象外とする。

・「低入札価格対象工事」又は「監督体制強化工事」は対象外

・施工中、監督職員より文書等により改善指示が発出された工事は対象外

３．実施状況や改善点等を把握するためのアンケートに協力する。

第８８条　ウイルス対策

受注者は、電子納品時のみならず、監督職員に工事に関する事項について電子データを提出する際には、ウイルス対策を実施した上で提出しなければならない。

また、ウイルスチェックソフトは常に最新データに更新（アップデート）しなければならない。

第２章　土　工

第８９条　建設発生土の利用

１．掘削、床掘りで生じた発生土は、現場内に仮置き（運搬距離０．２ｋｍ程度）するものとする。

２．路体盛土、埋戻しに使用する土砂は、現場内の仮置き場（運搬距離０．２ｋｍ程度）より、採取するものとする。

３．運搬場所及び採取場所については、工事着手前に監督職員より指示するものとし、運搬距離に変更が生じた場合は、設計変更の対象とする。

第３章　無筋・鉄筋コンクリート

第９０条　レディーミクストコンクリート

１．コンクリートは、レディーミクストコンクリートを原則とし、下記の仕様によるものとする。

No	使用区分	呼び強度 N/mm2	ｽﾗﾝﾌﾟ (参考値) cm	粗骨材の 最大寸法 mm	水ｾﾒﾝﾄ比 %以下	セメント の種類	摘要
1	既設函渠接続	24	12	20～25	55	高炉Ｂ種	
2	重力式擁壁 巻立てｺﾝｸﾘｰﾄ L 型側溝 現場打集水桝 H≧1.0m	18	8	20～25	60	高炉Ｂ種	
3	防草ｺﾝｸﾘｰﾄ 均しｺﾝｸﾘｰﾄ 現場打集水桝 H＜1.0m	18	8	20～25	―	高炉Ｂ種	

ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

本工事の特記仕様書、数量総括表及び図面に記載されたスランプは、積算上の参考値である。

現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン（平成２９年３月）」を基本とし、構造物の種類、部材の種類と大きさ、鋼材の配筋条件、コンクリートの運搬、打込み、締固め等の作業条件を適切に考慮し、スランプ値を設定するものとする。契約後に受発注者間でスランプ値の確認を行い、施工条件等により、協議の上、スランプを指定することができる。

ただし、（１）使用するコンクリートの単位水量、単位セメント量、水セメント比を配合計画書により確認する（２）使用するコンクリートの目標スランプが12cmを超える場合には、（１）に加え、試し練りを行い材料分離抵抗性を確認すること。

２．コンクリートの耐久性向上の対策は「コンクリートの耐久性向上」仕様書（土木編）（平成１４年８月一部改正）により行うものとする。

第９１条　配合

水セメント比については、示方配合表により監督職員の確認を得なければならない。

なお、水セメント比を減じることにより施工性が著しく低下する場合は、必要に応じて、高性能減水剤の使用等を検討しなければならない。また、下記構造物については適用除外とする。

・仮設構造物（建設後数年の内に撤去するもの。）
・最大高さ１ｍ未満の擁壁・水路・側溝及び街渠等の構造物。
・管（函）渠等（φ600未満、600㎜×600㎜未満）の構造物。

・道路照明、標識、防護柵等の構造物。
・耐久性を期待しない構造物。
・河川における護岸構造物（特殊堤及び船着場等は除く。）

第９２条　モルタル

モルタルに使用するセメントの種類は、普通セメントでセメント量は５３０kg／ｍ３以上（又は、１：３）する。

第９３条　組立て

１．配筋・組立において、鉄筋組立固定架台、鉄筋固定金具を使用する場合は監督職員と協議しなければならない。

２．鉄筋・組立に用いる鉄筋の現場における加工の有無およびその他条件については、契約図書に示す通りとする。なお、現場での加工を要した鉄筋については、鉄筋加工の有無を含むトレーサビリティーを確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。また、施工の実態調査を目的として、監督職員から追加資料の提出を指示された場合、受注者はこれに協力すること。

第９４条　機械式鉄筋継手

機械式鉄筋定着工法を採用する場合は、「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン（平成２８年７月）」に基づき実施するものとする。

なお、上記については、設計変更の対象とし別途監督職員と協議するものとする。

受注者は、施工する工法について、求める性能に関する公的認証機関による建設技術審査証明の写しを監督職員へ提出し、承諾を得なければならない。

また、現場施工における取付箇所の品質確認方法について、監督職員と協議するものとする。

第９５条　機械式鉄筋継手工法

機械式鉄筋継手工法を採用する場合は、「現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式継手工法ガイドライン（平成２９年３月）」に基づき実施するものとする。

受注者は、施工する工法について、求める性能に関する公的機関等による技術的な確認を受けた証明書の写しについて、監督職員の承諾を得なければならない。

また、現場施工における取付位置や等級、品質確認方法について、監督職員と協議するものとする。

施工前には、施工要領書について監督職員の承諾を得なければならない。施工時には、工法に関して教育、講習等を受けた有資格者の管理の下で施工しなければならない。

第９６条　型枠穴孔の補修

型枠セパレータで除去タイプのコーンを用いる場合は、セパレータ端部が鉄筋かぶり内に残らないようにすること。

また、モルタル等による型枠穴孔の補修を行う場合は、専用コテ等で入念に仕上げること。

型枠穴孔の補修材の落下による第三者被害が想定される箇所については、落下の懸念が少ない方法によることとし、その方法を施工計画書に記載しなければならない。

第４章　材　料

第９７条　セメント

中層混合処理のセメント量については下表のとおりとする。

工種	セメント等種別	使用量区分
固結工（中層混合処理）	セメント系固化材 高有機質土用　バラ	１，０００ｔ未満

第９８条　一般瀝青材料

ストレートアスファルトの針入度は下表のとおりとする。

用　途	針　入　度	摘　要
表層・基層	40～60	施工時期が冬期間にかかる場合は 60～80 を使用しても差し支えない。

第９９条　区画線

塗装厚は、下表のとおりとする。

１．溶融式

幅（cm）	厚さ（mm）	摘　要
15	1.5mm	夜間視認性が優れたもの。

２．設置様式は、別添－２による。

第１００条　中東情勢の変化等による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更

１．本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材(以下、「調達検討資材」)の調達に必要となる経費(以下、「別途調達経費」)について、設計変更を行う対象工事である。

２．調達検討資材は以下を想定している。これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

・硬質ポリ塩化ビニル管 VUΦ200 L=0.5m R8 年 9 月単価(関東地区)

３．受注者は、調達検討資材について別途調達経費が必要となる場合には、事前に監督職員と協議するものとする。ただし、迅速な対応が求められる場合には、口頭、ファクシミリ、電子メールなどで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

なお、別途調達経費が必要となる場合とは、以下を想定している。

①調達検討資材の代替資材を調達した場合

②調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合

③調達検討資材を調達した場合(ただし別途調達経費を含む)

４．受注者は、別途調達経費に係る証明書類(実際の取引伝票等)を監督職員に提出するものとし、その別途調達経費については設計変更の対象とする。

第５章　一般施工

第１０１条　防護柵設置工における出来形確保対策について

１．受注者は、防護柵設置工の出来形管理方法について、防護柵設置工着手前に監督職員と協議しなければならない。

２．受注者は、支柱の建て込み時に現地の状況等により建て込みが困難な場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

３．受注者は、防護柵の所定の根入れ長を確保するため、非破壊試験による出来形管理を行う。ただし、以下の場合はビデオカメラによる出来形管理とすることができる。

（１）防護柵が「非破壊試験による鋼製防護柵の根入れ長測定要領（案）」（以下「測定要領(案)」という。）[国土交通省ＨＰ
http://www.mlit.go.jp/tec/sekisan/sekou.html　参照]の適用範囲外の場合

（２）受注者が測定機器を調達できない場合

（３）測定機器が測定要領(案)で定める性能基準を満たさない場合

（４）非破壊試験による出来形管理が妥当ではないと判断される場合

（５）その他非破壊試験によって出来形管理ができない場合

４．非破壊試験による出来形管理にあたっては、測定要領(案)に従い行う。

５．ビデオカメラによる出来形管理にあたっては、以下の状況をビデオカメラにより全本数分撮影する。

（１）支柱建て込み前の根入れ長測定状況

（２）支柱建て込み直前(機械セット時)から建て込み完了まで連続撮影

なお、撮影したビデオテープ等の記録媒体は施工確認書（**別紙様式－１３**）とともに監督職員へ提出する。

６．これらに定められていない場合は、監督職員と協議する。

７．非破壊試験費用は見込んでいないが、監督職員と協議のうえ非破壊試験による出来形管理を行うこととした場合は設計変更の対象とする。

第１０２条　固結工（中層混合処理）

１．本工事で施工する中層混合処理は、設計図書に基づき施工するものとするが、現地の状況を十分把握し、安全性、細部構造等については、受注者において十分検討のうえ、設計図書により難い場合は、監督職員と協議するものとする。

２．上記の決定にあたっては、下記条件等を遵守するものとする。なお、下記条件等に変更が生じた場合には、監督職員と協議するものとする。

名　称	目標強度	配合量
中層混合処理 Ｌ型擁壁部	quck=300kN/m2	150kg/m3
中層混合処理 重力式擁壁部	quck=300kN/m2	150kg/m3
中層混合処理 函渠部	quck=200kN/m2	130kg/m3

３．固化材の規格は、セメント系固化材（高有機質土用）、標準配合量（ロス率無し）は上記を想定しているが、施工に先立ち、配合試験を行い、決定するものとする。

４．混合は、混合専用機を使用するものとする。なお、施工にあたり現地状況を十分把握し、安全性等の検討を行い、施工方法に変更が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。

第１０３条　工事用道路

１．現場内への搬入・搬出は、県道鴻巣川島線を使用するものとする。
２．工事用道路は、施工済みであるが、当工事で工事用道路及び整地等が必要となった場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。
３．工事用道路及び作業ヤードは、工事終了後も引き続き他の工事で使用するので存置するものとする。
４．工事用道路で使用した既設道路の補修が生じた場合は、補修箇所、方法等については、監督職員の承諾を得てから施工することとする。なお、補修の費用については、当初は見込んでいないため、補修の必要が生じた場合には、監督職員と協議するものとする。
５．上記によりがたい場合は、監督職員と協議するものとする。

第１０４条　カルバート工

プレキャストボックス２０００ｘ１２００において、当初は標準規格の単価ｘ延長を計上している。工事契約後、プレキャストボックスの割付について、監督職員と協議し決定するものとする。なお、プレキャストボックスの費用については、設計変更の対象とする。

第１０５条　防護柵工

１．仮設防護柵について、当初はＨ鋼基礎の中詰コンクリートを計上していないため、監督職員と協議し、設計変更の対象とする。
２．ガードレール（Gr-C-2B）について、円筒型枠、基礎部の補強筋を、当初は計上していないため、監督職員と協議し、設計変更の対象とする。
３．転落防止柵（C）について、基礎ブロックを、当初は計上していないため、監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

第１０６条　法面工

県道切り回し及び現道復旧について、当初は法面整形工、法面防草対策工を、当初は計上していないため、監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

第１０７条　排水構造物工、縁石工

１．現場打集水桝について、当初はＬ型受枠（歩車道境界ブロック含む）、縁塊、蓋を、当初は計上していないため、監督職員と協議し、設計変更の対象とする。
２．Ｌ型側溝及び街渠縦断管の端部について、当初は歩車道境界ブロック（差し筋付）を、当初は計上していないため、監督職員と協議し、設計変更の対象とする。
３．街渠縦断管、横断暗渠について、当初は費用を計上していないため、監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

第１０８条　仮設工

１．本工事の土留・仮締切工に関する仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、細部構造等については受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し、施工するものとする。
２．上記の決定にあたっては、下記条件等を遵守するものとする。

なお、下記条件等に変更が生じた場合には、監督職員と協議のうえ変更するものとする。

・設計条件

土質定数は次表のとおりとするが、貸与するＲ７国道１７号上尾道路２期鴻巣地区詳細修正設計の報告書にて照査を行うこととする。また、疑義が生じた場合は、監督職員と協議することとする。

	層厚(m)	γ(kN/m3)	Φ(°)	C(kN/m2)
1	1.660	18.0	0.0	18.0
2	4.100	13.5	0.0	25.0
3	0.650	14.0	0.0	50.0
4	3.550	17.0	32.0	0.0
5	2.900	17.5	34.0	0.0

鋼矢板の打ち込み及び引抜きは油圧式杭圧入引抜工法を見込んでいる。

鋼矢板の打ち込み工法などは、現地状況を十分把握し、安全性等については受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し施工するものとする。

なお、現地状況、施工条件等に変更が生じたことに伴い、上記の施工方法が変更となる場合は監督職員と協議しなければならない。

第１０９条　歩道舗装

１．本工事の施工にあたっては、低騒音、低振動型の建設機械を使用するものとする。

２．工事を行う際は舗装切断を行うなど適切な措置を行うものとする。

３．施工にあたり、横断方向の勾配は2%を標準とする。縦断方向の勾配は5%以下とするが、沿道の状況等によりやむを得ない場合には8%以下とすることができる。また、交通の支障とならないようにするものとする。なお、縦断勾配を設ける箇所には、横断勾配は設けないものとする。段差箇所付近には「段差あり」の標識を設置しなければならない。

４．工事着手前に工事区域内及びその周辺について状況調査を実施し、現状を十分把握しておくこと。

５．本工事区画内の境界杭・境界鋲について調査を行い、破損等がある場合には監督職員と協議するものとする。

６．歩道の施工に際しては、車椅子等の通行を考慮し、極力勾配を少なくするよう段差・切下げ等について配慮すること。（別添－３：歩道構造）
なお、詳細については監督職員と協議するものとする。

７．　横断勾配箇所は、車椅子等の通行を考慮し、横断勾配の低減を行い配慮すること。

８．横断歩道等に接続する歩道等の部分の縁端は、車道等の部分より高くするものとし、その段差は2ｾﾝﾁﾒｰﾄﾙを標準とするものとする。

９．詳細については監督職員と協議するものとする。

第１１０条　場所打擁壁工

水抜パイプの設置位置については、監督職員の承諾を得るものとする。

第６章　舗装工

第１１１条　示方配合のアスファルト量

加熱アスファルト混合物の示方アスファルト量及び骨材の最大粒径は、下記のとおりとする。

呼び名	混合物の種類	最大粒径(mm)	アスファルト量(%)	摘　　要
RA①	再生粗粒度アスコン	20	5.0	基　層
RA②	再生密度アスコン	20	5.5	表　層
A⑨	透水性アスコン	13	4.5	表　層

第１１２条　加熱アスファルト混合物

受注者は、本工事に使用する加熱アスファルト混合物(以下「混合物」という。)で、アスファルト混合物事前審査の認定を受けた混合所の混合物を使用する場合は、「アスファルト混合物事前審査における土木工事仕様書」及び「アスファルト混合物事前審査における品質管理基準」によるものとする。

第１１３条　歩行者系舗装

歩道における透水性舗装の表層に用いる開粒度アスコンは、下表の基準値を満足するものとする。アスファルト量の設定に際しては、施工時に分離がおこらないように慎重に行うものとする。

試験項目	基準値	試験方法
安定度 {kN(kgf)}	3.5 以上 (350)	マーシャル試験
フロー値(1/100cm)	20～40	マーシャル試験
空隙率(%)	12 以上	舗装調査・試験法便覧
透水係数(cm/sec)	10^{-2} 以上	舗装調査・試験法便覧

第７章　その他

第１１４条　震災対策

１．地震発生等の天災に備えて、あらかじめその対応策を定めておくものとする。

２．地震注意情報等が発令された場合は、直ちに工事を中断し、その情報に応じた適切な保全措置等を講ずるものとする。

第１１５条　道路施設基本データの作成

本工事完成時には、以下に示す『道路施設基本データ』を作成し、監督職員に提出するものとする。ただし、本工事に該当しない施設の基本データは作成しないものとする。

なお、完成後でも、発注者は受注者に対して、『道路施設基本データ』の内容について、説明を求めることがある。

１．道路施設基本データの種類

区分	施設番号	施設名	区分	施設番号	施設名
道路構造	C020	縦断勾配	付属物及び付属施設	E060	道路情報板
	C030	平面線形		E070	交通遮断機
	C050	舗装		E080	I.T.V
	C060	道路交差点		E090	車両感知器
	C070	鉄道交差点		E100	車両諸元計測施設
	C080	歩道及び自転車歩行者道		E110	気象観測施設
	C090	独立専用自歩道		E120	災害予知装置
	C100	中央帯		E130	自動車駐車場等
	C110	環境施設帯		E140	自転車駐車場
構造物	D010	橋梁		E150	雪崩防止施設
	D020	橋側歩道橋		E160	落石防止施設
	D030	横断歩道橋		E170	消雪ﾊﾟｲﾌﾟ
	D040	ﾄﾝﾈﾙ		E180	ﾛｰﾄﾞﾋｰﾃｨﾝｸﾞ
	D050	洞門		E190	除雪ｽﾃｰｼｮﾝ
	D060	ｽﾉｰｼｪｯﾄﾞ		E200	防災備蓄
	D070	地下横断歩道		E210	共同溝
	D080	道路 BOX 等		E220	CAB 電線共同溝
	D090	横断 BOX 等		E230	植栽
	D100	ﾊﾟｲﾌﾟｶﾙﾊﾞｰﾄ		E240	遮音施設
	D120	擁壁		E250	遮光ﾌｪﾝｽ
	D130	ｽﾉｰｼｪﾙﾀｰ		E270	流雪溝
	E010	防護柵		E310	防雪林
	E020	道路照明		E320	路側放送
	E030	視線誘導標(反射式)		E330	光ｹｰﾌﾞﾙ施設
	E040	視線誘導標(自光式)		E340	道路反射鏡
	E050	道路標識		E350	ﾋﾞｰｺﾝ

２．道路施設基本データの作成は、別に定める『道路管理データベースデータ作成マニュアル（案）』によるものとする。

３．道路施設基本データは、『道路施設基本データ作成システム』で作成する。

４．道路施設基本データ作成にあたって工事番号は、ＣＯＲＩＮＳ登録時の「工事契約コード番号」とする。

５．道路施設基本データに係わる以下のものを電子データにて提出すること。

①道路施設台帳作成総括表
②道路施設基本データ総括表
③道路施設基本データ一覧表
④道路施設台帳チェックシート

⑤「道路工事完成図等チェックプログラム」によるチェック結果
⑥「電子納品チェックプログラム」によるチェック結果
⑦工事数量総括表

第１１６条　工事現場における説明性の向上

受注者は、事業名、事業の目的・内容・効果、工事名、工事内容、連絡先を記した工事説明書を作成し、近隣住民等から事業内容等の説明を求められた場合は、工事の安全確保に支障のない範囲において、当該工事説明書を配布する等、工事現場の説明性の向上を図るものとする。

また、受注者は、工事現場作業員に対し、工事内容及び事業目的・効果を周知するものとする。

別紙－１

明示項目及び明示事項

明示項目	明示事項	記載条項
工事用道路関係	■ 仮道路の工事終了後の処置（存置又は撤去）。	第１０３条
建設副産物関係	■ 建設発生土が発生する場合は、残土の受入場所及び仮置き場所までの距離、時間等の処分及び保管条件。 ■ 建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合は、その処理方法、処理場等の処理条件。 なお、再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合は、その受入場所、距離、時間等の処分条件。	第８９条 第２６条

概略工事工程表(別紙－5)

工事名 ： R8国道17号上尾道路箕田地区改良工事

工　種	単位	数　量	令和8年度						令和9年度									備考
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
準備期間	式	1																・40日間
県道切り回し	式	1																(1pt)
水路付替	式	1																(1pt)
現道復旧	式	1																(1pt)
後片付け	式	1																・20日間
制約条件 年末年始、お盆																		・12月下旬～1月上旬 ・8月中旬
雨休率の適用	準備・後片付けを除く、雨休率(猛暑日補正有り)を適用																	

余裕期間
※任意で設定可能

担い手確保・育成に関する実施状況 （概要報告）

工 事 名	○○工事	受注者名	△△建設（株）

項　　目	実施内容
□ 建設業界への入職のきっかけづくりとなる取組	・子供、学生等に対する現場見学会、インターンシップの実施 建設工事の施工体験、測量機器等の操作体験 等
□ 建設業の社会的意義・役割や魅力・やりがいを知ってもらうための取組	・地域の防災訓練に参加、災害時に地域住民等を支援 ・建設現場での新技術の活用、i-Construction・情報化施工等の取組を社会にアピール 等
□ 建設現場の労働環境を改善する取組	・労働者に対する週休2日の確保を徹底 ・働きやすい環境（更衣室、休息場所の設置など）の整備
□ 若手技術者育成、女性技術者育成のための取組	・当該工事現場をフィールドにした若手技術者、女性技術者に対する研修や講習会等を実施 等
□ その他	

担い手育成・確保

担い手確保・育成に関する実施状況 （詳細報告）

担当出張所名：□□出張所

工 事 名	○○工事	受注者名	○○建設（株）
項　　目	前頁の「項目」を記載		
実施内容	前頁の「実施内容」を記載		
実施日（期間）	○年○月○日～○年○月○日（○日間）	対象者・人数	○○高校、○名
他工事との合同実施	□有り　□無し	合同実施工事名	（○○工事）
マスコミ取材	□有り　□無し	取材会社名	（○○新聞社、△△テレビ）

（具体的な実施内容の説明）

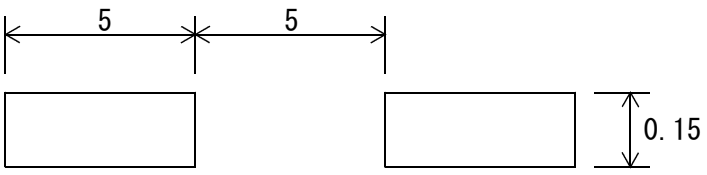
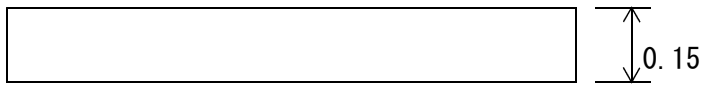
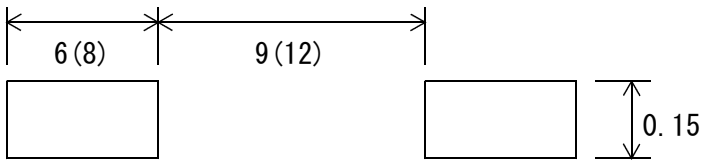
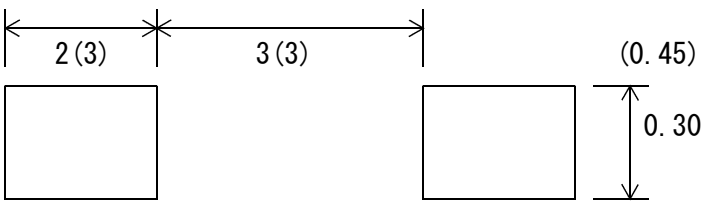
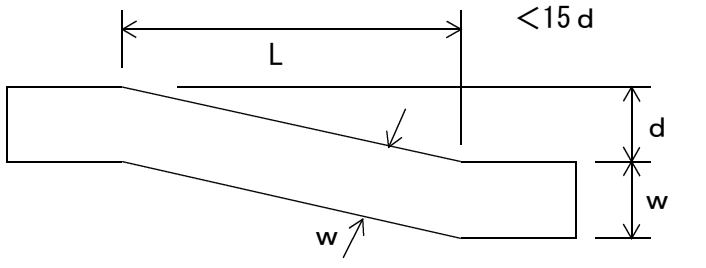
（添付図・写真）

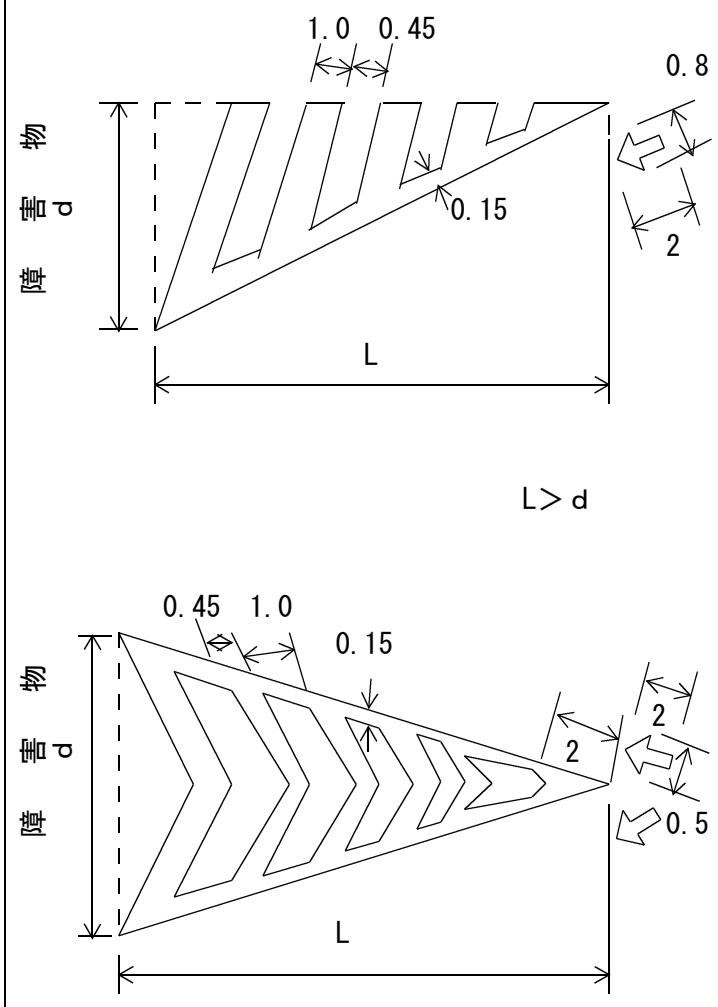
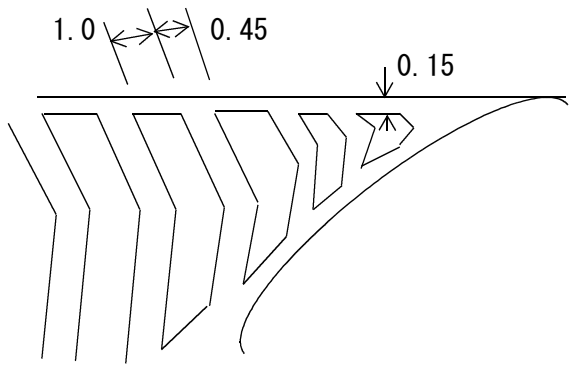
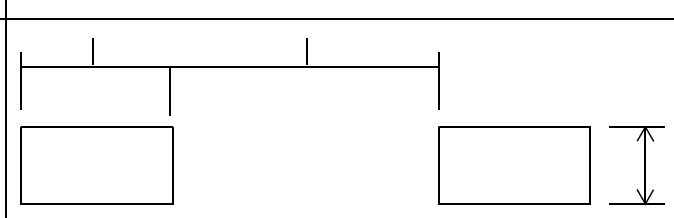
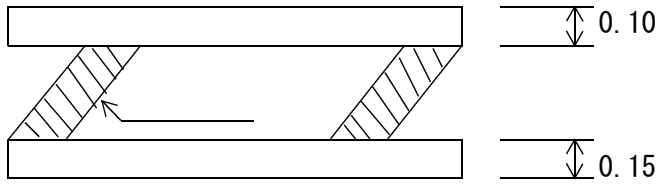
説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

別添－２

区画線設置様式（例）

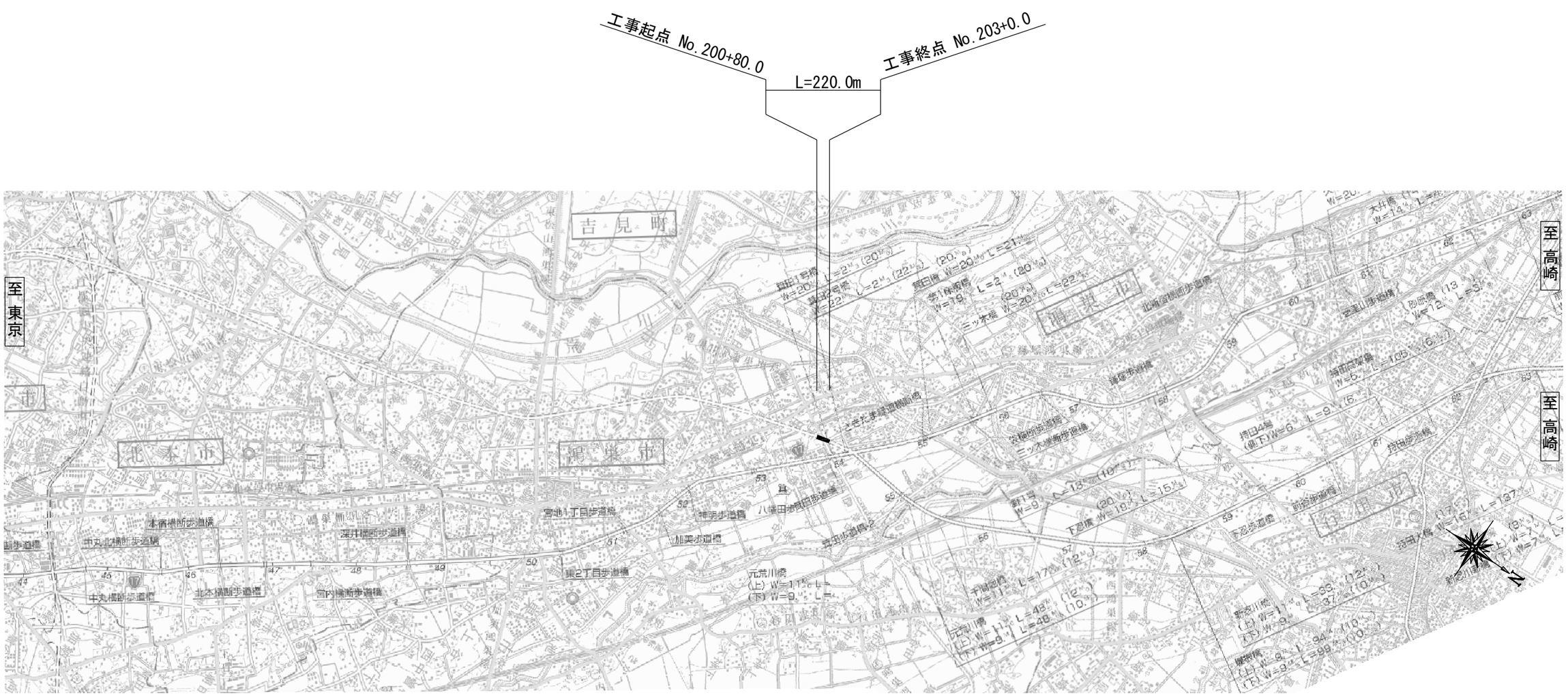
（単位：ｍ）

区分		幅・長さ・間隔
車道中央線(101)	実線１本	
	実線２本	
	破線	
車線境界線(102)	実線	
	破線	
	登坂加減速バス停	
車外側道線（１０３）		
車道幅員変更（１０５）		

区分	幅・長さ・間隔
路上障害物近接（１０６）	
導流帯（１０７）	
路上駐車場（１０８）	
分離帯 チャッタバー	

（　）内は自動車専用道路に適用

位　置　図　　S=1：50,000



1:50,000

1000　500　0　1000　2000　3000　4000m

工　事　名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図　面　名	位　　置　　図		
作成年月日	令和　８　年　８　月　　日		
縮　　尺	1:50,000	図面番号	1　／　36
会　社　名	株式会社　綜合技術コンサルタント		
所長 / 副所長 / 事業対策官 / 課長 / 保全対策官 / 専門調査官 / 担当			
事業者名	国土交通省大宮国道事務所		

平 面 図(1)

S=1:300

県道切回し

素掘側溝400×200 L=43.00
2+57.00～3+0.00

素掘側溝400×200 L=62.10
3+9.50～3+71.60

仮設防護柵 L=66.71m
2+30.99～2+99.59

L型側溝（平坦部）
L=4.28m
3+1.26～3+2.60

L型側溝（平坦部）
L=4.61m
3+8.40～3+11.05

仮設防護柵 L=110.60m
3+10.70～4+17.51

現場打集水桝
500x500x700
2+13.0

薄層カラー舗装 A=455㎡

L型側溝（一般部） L=89.25m
2+9.37～2+98.62

L型側溝（一般部） L=114.31m
3+11.05～4+25.36

仮設防護柵 L=110.6m

現場打集水桝
500x500x700
4+13.7

L型側溝（平坦部）
L=4.00m
4+25.36～4+29.36

仮設防止柵 L=66.71m

仮設防止柵 L=141.00m

薄層カラー舗装 A=445㎡

L型側溝（一般部） L=141.01
2+45.87～3+86.88

仮設防護柵 L=141.00m
2+45.57～3+87.85

L型側溝（一般部） L=24.30m
2+10.00～2+34.30

L型側溝（平坦部） L=4.57m
2+34.30～2+37.22

L型側溝（平坦部） L=4.84m
2+42.83～2+45.87

素掘側溝400×200 L=62.50
2+92.00～3+54.50

L型側溝（平坦部） L=4.04m
3+86.88～3+89.55

L型側溝（平坦部） L=4.81m
3+95.18～3+97.77

L型側溝（一般部） L=27.36m
3+98.00～4+25.36

L型側溝（平坦部） L=4.00m
4+25.36～4+29.36

現場打集水桝
500x500x700
4+13.7

※ 素掘側溝は、床掘りにて計上

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	平 面 図（1）		
作成年月日	令和 ８ 年 ８ 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	2 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

平 面 図(2)

S=1:500

現道復旧

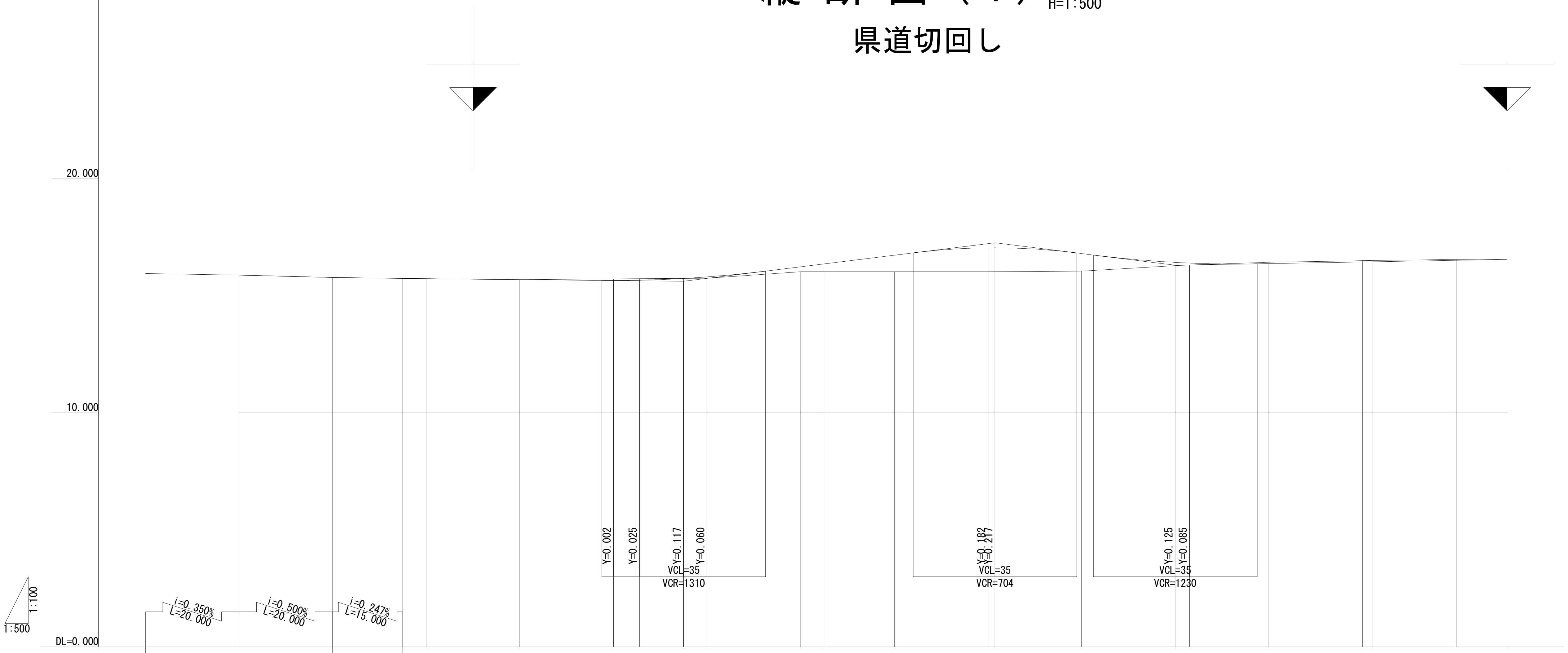
水路接続桝(2)3000x2000 (施工済み)
暗渠排水管 L=6.83m
高耐圧ポリエチレンリブ管φ1350
巻き立てコンクリート N=1
大型土のう(既設水路内) N=12
境石(C) L=111.00m
L型側溝(A-3)N=1
L型側溝(A-2)L=5.30m
現場打集水桝(L型街渠桝)
400x400x650
L型側溝
(A-1)L=104.10m
L型側溝(A-1)L=24.40m
L型側溝(A-1)L=58.90m
L型側溝
H=1.75~2.25 L=21.21
転落防止柵(B) L=23.70
転落防止柵(C)
L=10.20
カルバートエ 1800×1200 L=9.51m
カルバートエ 2000×1200 L=17.28m
プレキャストU型側溝 300x300x4000
取付管 L=0.50
L=19.80m
集水桝(1)
ステンレススクリーン
2300x1200x50 N=1
重力式擁壁 H=0.55~1.28
L=22.42m
ガードレール Gr-C-2B
L=22.10m
重力式擁壁 H=1.13~1.19 L=2.56m
地先境界ブロック(B)
地先境界ブロック(B) L=5.40m
地先境界ブロック(B) L=5.40m
地先境界ブロック(A) L=7.20m
地先境界ブロック(A) L=12.20m
地先境界ブロック(A) L=11.70m
地先境界ブロック(A) L=13.00m
地先境界ブロック(A) L=7.90m
地先境界ブロック(A) L=33.80m
歩車道境界ブロック (B-3)N=1
歩車道境界ブロック (B-3)N=1(当初未計上)
L型側溝 (A-1)L=5.90m
L型側溝 (A-2)L=5.20m
歩車道境界ブロック (B-2)L=4.20m (B-3)N=2(当初未計上)
歩車道境界ブロック (B-2)L=4.20m (B-3)N=2(当初未計上)
歩車道境界ブロック (B-2)L=6.00m (B-3)N=2(当初未計上)
L型側溝 (A-2)L=5.20m
歩車道境界ブロック (B-1)L=30.30m
歩車道境界ブロック (B-1)L=12.2m
歩車道境界ブロック (B-1)L=7.70m
歩車道境界ブロック (B-1)L=8.50m
歩車道境界ブロック (B-1)L=8.30m
現場打集水桝 500x500x1900
街渠緩断管(A) L=29.70m
街渠緩断管(B) L=6.00m
現場打集水桝 600x600x1100
街渠緩断管(A) L=32.70m (当初未計上)
街渠緩断管(B) L=8.00m
街渠桝
横断暗渠 L=10.10m (当初未計上)
街渠桝(当初未計上)
街渠緩断管(A) L=7.90m
管渠(1)D300 L=1.10m
管渠(1)D300 L=36.00m
管渠(1)D300 L=1.20m
管渠(1)D300 L=9.50m
管渠(1)D300 L=27.90m
街渠緩断管(A) L=10.80m
街渠緩断管(B) L=2.00m
街渠緩断管(A) L=23.30m
街渠緩断管(B) L=4.00m
街渠緩断管(A) L=10.90m
街渠緩断管(B) L=2.00m
横断暗渠 L=12.00m (当初未計上)
街渠緩断管(A) L=27.80m
街渠緩断管(B) L=6.00m
現場打集水桝 500x500x1500
現場打集水桝 500x500x1900
L型側溝 (A-2)L=5.20m
現場打集水桝 500x500x1100
街渠桝 (当初未計上)
街渠桝(当初未計上)
歩車道境界ブロック (B-1)L=12.80m
L型側溝 (A-3)N=1
歩車道境界ブロック(B-1)L=27.30m
歩車道境界ブロック (B-1)L=13.30m
歩車道境界ブロック (B-1)L=14.70m
歩車道境界ブロック (B-1)L=4.00m
歩車道境界ブロック (B-3)N=1 (当初未計上)
歩車道境界ブロック (B-3)N=1(当初未計上)
歩車道境界ブロック (B-2)L=4.20m (B-3)N=2(当初未計上)
L型側溝 (A-2)L=5.10m
L型側溝 (A-2)L=5.20m
地先境界ブロック(B)
地先境界ブロック(A) L=49.00m
地先境界ブロックエ(A) L=18.40m
地先境界ブロックエ(B)
地先境界ブロック(A) L=5.40m
地先境界ブロック(A) L=13.90m

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事
図面名	平 面 図（2）
作成年月日	令和 ８年 ８月 日
縮 尺	図一示 図面番号 3 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

縦 断 図（１） V=1:100 H=1:500

県道切回し



測点	単距離	累加距離	地盤高	計画高	切土高	盛土高	勾配
BP	0.000	140.000		15.950			15.950
+60.000	20.000	160.000	15.880	15.880			15.880
+80.000	20.000	180.000	15.780	15.780			15.780
+95.000	15.000	195.000	15.743	15.743			15.743
NO.2	5.000	200.000	15.730	15.733		0.003	
+20.000	20.000	220.000	15.690	15.693		0.003	
+40.000	20.000	240.000	15.720	15.655	0.065		
BC 1-0	5.575	245.575	15.728	15.667	0.061		
+55.000	9.425	255.000	15.743	15.740	0.003		15.623
+60.000	5.000	260.000	15.751	15.806		0.055	
+80.000	20.000	280.000	16.030	16.240		0.210	
BC 2-0	4.741	284.741	16.030	16.358		0.328	
NO.3	15.259	300.000	16.030	16.734		0.704	
+20.000	20.000	320.000	16.030	17.047		1.017	17.265
+21.500	1.500	321.500	16.032	17.048		1.016	
+40.000	18.500	340.000	16.056	16.803		0.747	
+60.000	20.000	360.000	16.290	16.428		0.138	16.303
BC 3-0	3.073	363.073	16.312	16.398		0.086	
+80.000	16.927	380.000	16.432	16.373	0.059		
NO.4	20.000	400.000	16.498	16.442	0.056		
EC 3-0	2.239	402.239	16.504	16.450	0.054		
+20.000	17.761	420.000	16.549	16.512	0.037		
EP	10.891	430.891	16.565	16.550	0.015		16.550

勾配: i=0.200% L=60.000 / i=2.470% L=66.500 / i=2.500% L=38.500 / i=0.349% L=70.891

曲率:
R=∞ L=105.575
IP=IP.1 IA=37-24-03 CL=39.166 R=60 L=39.166
L=78.332 R=60 IP=IP.2 IA=74-48-05 CL=78.332
IP=IP.3 IA=37-24-03 CL=39.166 R=60 L=39.166
R=∞ L=28.652

拡幅すりつけ図:
0.000 0.000 NO.2+31.000
1.000 0.000 NO.2+66.000
1.000 0.000 NO.3+82.500
0.000 0.000 NO.4+17.500

片勾配すりつけ図:
2.000 2.000 NO.1+40.000

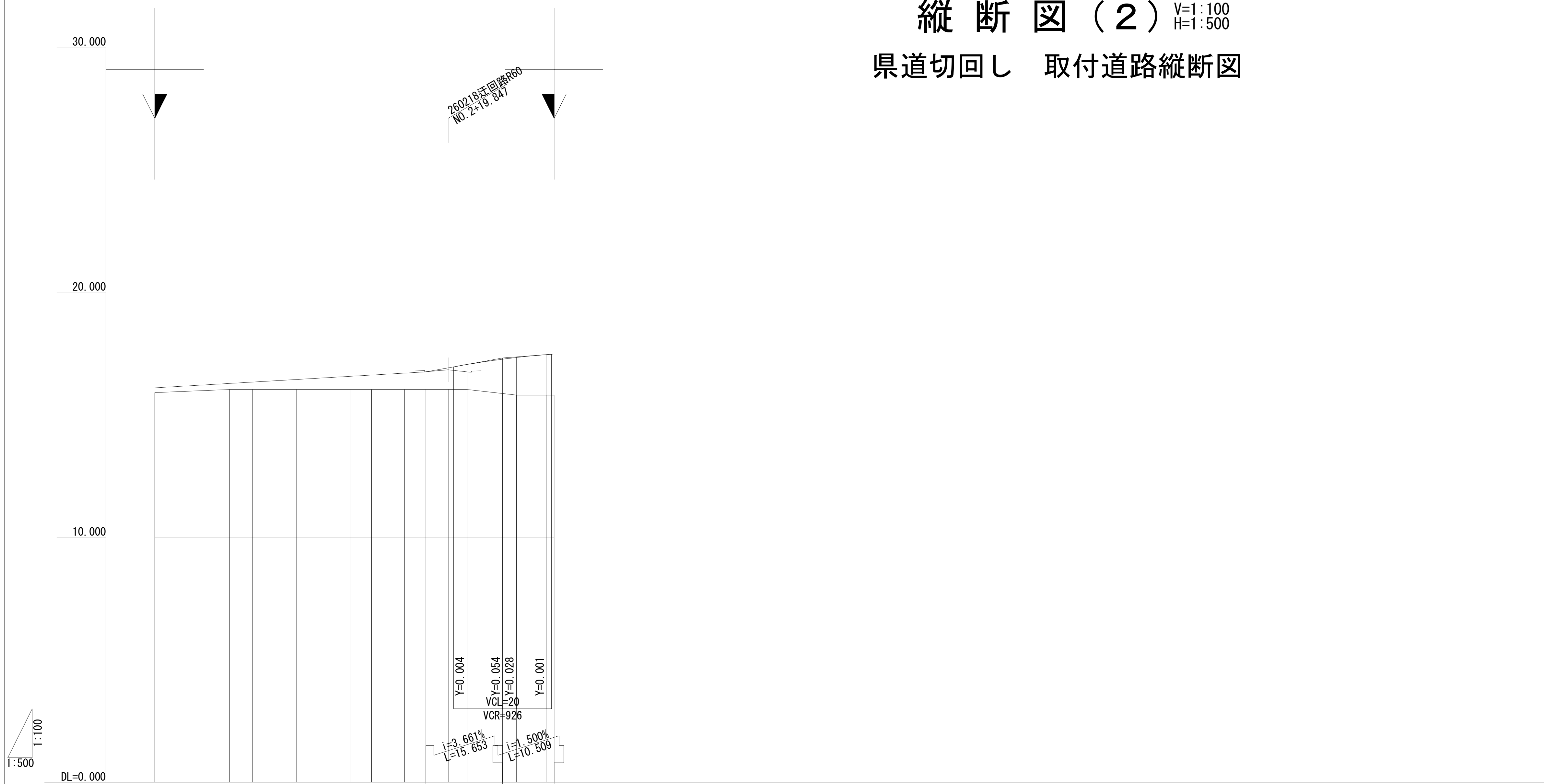
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	縦 断 図（１）		
作成年月日	令和 ８ 年 ８ 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	4 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

縦 断 図（２）

V=1:100
H=1:500

県道切回し　取付道路縦断図



測点	BP	BC 1-0	NO.1	EC 1-0	NO.2	BC 2-0	EC 2-0	+15.347	NO.3	BC 3-0	+11.000	EC 3-0	NO.4	EP
勾配	16.100			i=1.171% L=55.347				16.748			17.321			17.479
盛土高	0.200	0.249	0.304	0.409	0.538	0.588	0.667	0.718	0.888	1.020	1.403	1.536	1.655	1.679
切土高														
計画高	16.100	16.279	16.334	16.439	16.568	16.618	16.697	16.748	16.918	17.050	17.267	17.336	17.455	17.479
地盤高	15.900	16.030	16.030	16.030	16.030	16.030	16.030	16.030	16.030	16.030	15.864	15.800	15.800	15.800
累加距離	0.000	15.291	20.000	28.968	40.000	44.239	50.956	55.347	60.000	63.709	71.000	73.825	80.000	81.509
単距離	0.000	15.291	4.709	8.968	11.032	4.239	6.716	4.391	4.653	3.709	7.291	2.825	6.175	1.509

曲率:
- R=∞ L=15.291
- L=13.676 R=6 IP=IP.1 IA=130-35-55 CL=13.676
- R=∞ L=15.272
- IP=IP.2 IA=9-16-23 CL=6.716 R=41.5 L=6.716
- R=∞ L=12.753
- L=10.116 R=43 IP=IP.3 IA=13-28-47 CL=10.116
- R=∞ L=7.684

片勾配すりつけ図: 2.000　2.000　NO.0+ 0.000

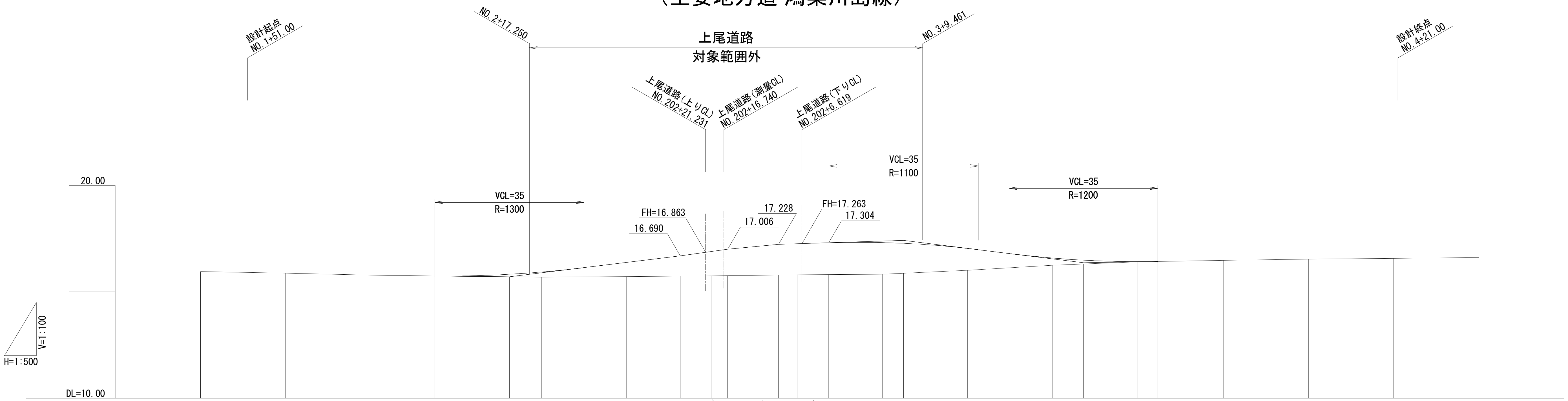
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	縦 断 図（２）		
作成年月日	令和　８ 年　８ 月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	5 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

縦 断 図(3)

V=1: 100
H=1: 500

現道復旧
(主要地方道 鴻巣川島線)



勾 配				15.743	i=0.200% L=17.500	15.708		i=2.450% L=40.081	16.690	i=2.834% L=11.151	17.006	i=1.860% L=11.938	17.228
計 画 高				15.743	15.742	15.824	15.930	16.382	16.690	16.900	17.006		17.228
地 盤 高	15.95	15.88	15.78	15.74	15.73	15.71	15.69	15.72	15.74	15.75	15.76		15.79
切 土 高													
盛 土 高				0.003	0.012	0.114	0.240	0.662	0.950	1.150	1.246		1.438
追加距離	140.000	160.000	180.000	195.000	200.000	212.500	220.000	240.000	252.581	260.000	263.732		275.670
単 距 離	20.000	20.000	20.000	15.000	5.000	12.500	7.500	20.000	12.581	7.419	3.732		11.938
測 点	1+40	+60	+80	+95	2+ 0	+12.500	+20	+40	+52.581	+60	+63.732		+75.670

勾 配	i=0.647% L=11.753	17.304	i=0.647% L=17.577	17.418	i=2.494% L=42.200		16.365	i=0.350% L=17.500	16.426				
計 画 高	17.256	17.304	17.315	17.281	17.041	16.588	16.489	16.419	16.426				
地 盤 高	15.80	15.81	15.83	15.88	16.01	16.25	16.31	16.41	16.43	16.48	16.54	16.57	16.61
切 土 高									0.004				
盛 土 高	1.456	1.494	1.485	1.401	1.031	0.338	0.179	0.009					
追加距離	280.000	287.423	300.000	305.000	320.000	340.000	347.200	360.000	364.700	380.000	400.000	420.000	440.000
単 距 離	4.330	7.423	12.577	5.000	15.000	20.000	7.200	12.800	4.700	15.300	20.000	20.000	20.000
測 点	+80	+87.423	3+ 0	+ 5	+20	+40	+47.200	+60	+64.700	+80	4+ 0	+20	+40

曲線方向	R=∞ L=420.000

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	縦 断 図（３）		
作成年月日	令和 ８ 年 ８ 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	6 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

標準横断図（１）
県道切回し道路

一　般　部　S=1:50

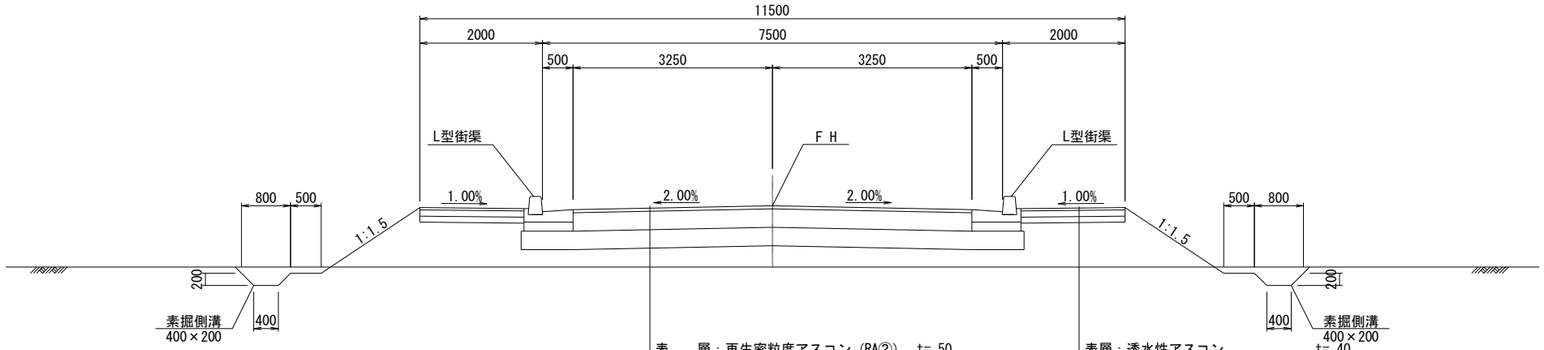


表　　層：再生密粒度アスコン（RA②）	t= 50
プライムコート(PK-3　1.2ℓ/m2)	
上層路盤：再生粒調砕石(RM-40)	t=300
下層路盤：再生クラッシャラン(RC-40)	t=300

（車道舗装厚　t=65cm）

表層：透水性アスコン	t= 40
路盤：再生クラッシャラン（RC-40）	t=100
フィルター層：再生砂	t=100

（歩道舗装厚　t=24cm）

拡　幅　部　S=1:50

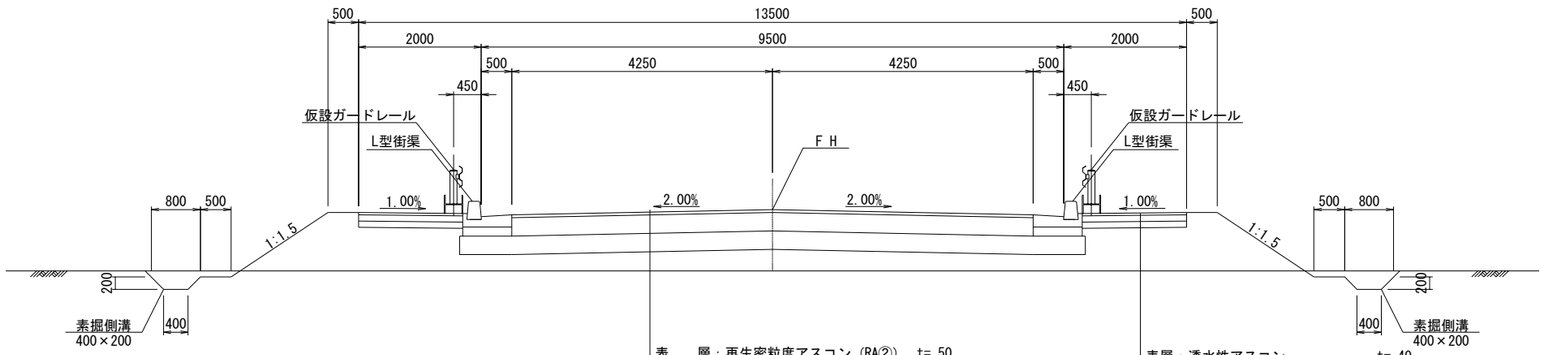


表　　層：再生密粒度アスコン（RA②）	t= 50
プライムコート(PK-3　1.2ℓ/m2)	
上層路盤：再生粒調砕石(RM-40)	t=300
下層路盤：再生クラッシャラン(RC-40)	t=300

（車道舗装厚　t=65cm）

表層：透水性アスコン	t= 40
路盤：再生クラッシャラン（RC-40）	t=100
フィルター層：再生砂	t=100

（歩道舗装厚　t=24cm）

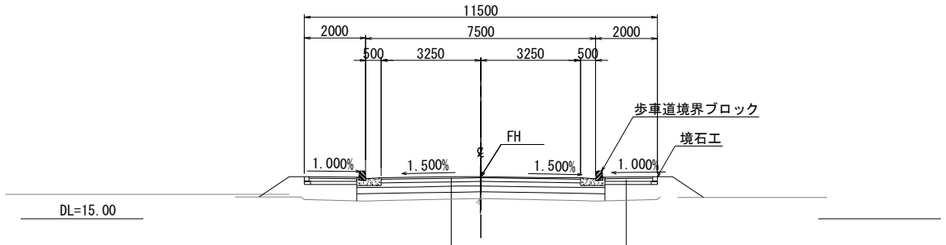
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	標準横断図（１）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	７／36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

標 準 横 断 図(2) S=1:100

現道復旧

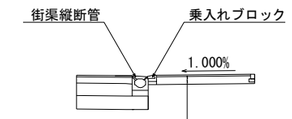
一　般　部



表層	：再生密粒度アスコン	t= 5cm
基層	：再生粗粒度アスコン	t=11cm
上層路盤	：再生粒度調整砕石(RM-40)	t=15cm
下層路盤	：再生切込砕石(RC-40)	t=19cm

表層	：透水性アスコン	t= 4cm
路盤	：再生切込砕石 (RC-40)	t=10cm
砂層	：再生砂	t=10cm

歩道切下げ部



(W≦4.2m)

表層	：再生密粒アスコン	t= 5cm
路盤	：再生切込砕石 (RC-40)	t=25cm

(4.2<W≦8.0m)

表層	：再生密粒アスコン	t= 5cm
基層	：再生粗粒アスコン	t= 5cm
路盤	：再生切込砕石 (RC-40)	t=25cm

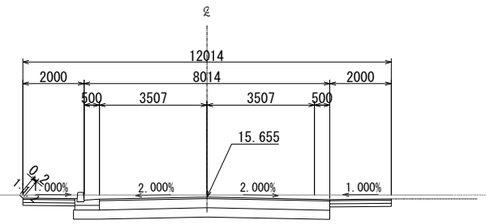
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	**Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事**		
図面名	標準横断図（２）		
作成年月日	令和　８ 年　８ 月　 日		
縮　尺	図　示	図面番号	８ ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

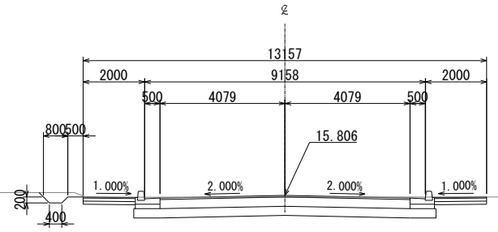
横 断 図（１）

県道切回し道路

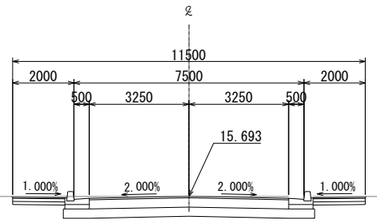
NO. 2+40
GH=15.72
FH=15.655



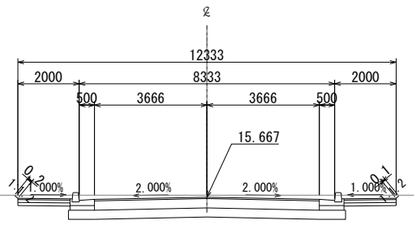
NO. 2+60
GH=15.75
FH=15.806



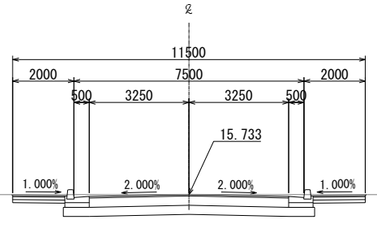
NO. 2+20
GH=15.69
FH=15.693



BC　1-0 (NO. 2+45.575)
GH=15.73
FH=15.667



NO. 2
GH=15.73
FH=15.733



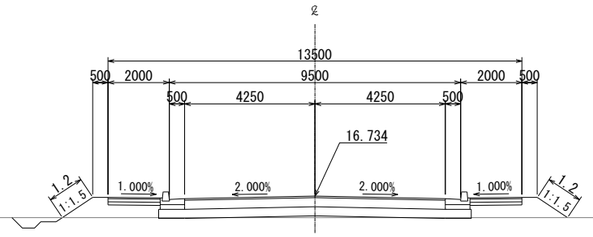
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	横断図（１）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	9 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

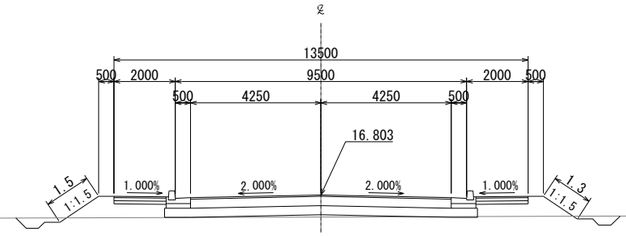
横 断 図（２）

県道切回し道路

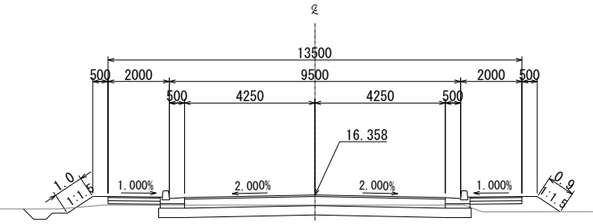
NO.3
GH=16.03
FH=16.734



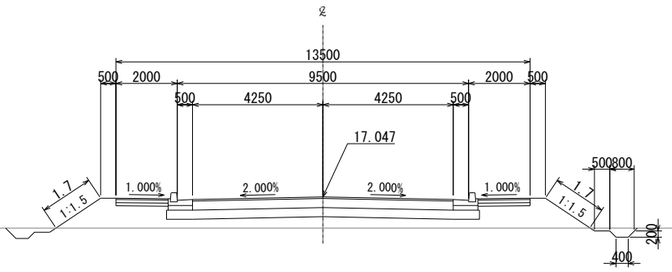
NO.3+40
GH=16.08
FH=16.803



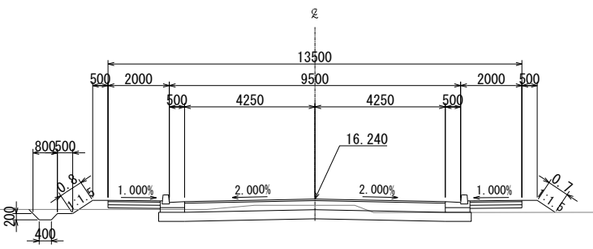
BC　2-0(NO.2+84.7409)
GH=16.03
FH=16.358



NO.3+20
GH=16.03
FH=17.047



NO.2+80
GH=16.03
FH=16.240



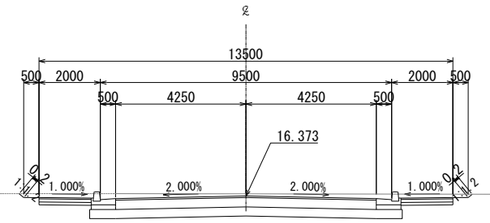
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	横断図（２）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	10 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

横 断 図（３）

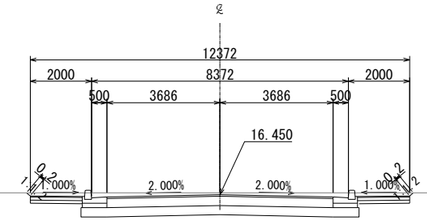
県道切回し道路

NO.3+80
GH=16.44
FH=16.373



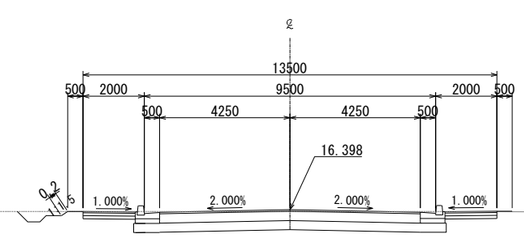
DL=15.00

EC　3-0(NO.4+02.2388)
GH=16.51
FH=16.450



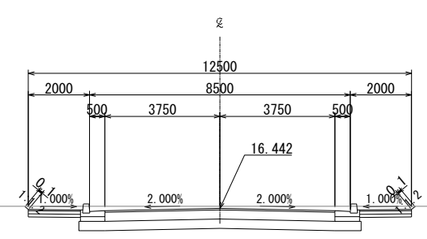
DL=15.00

BC　3-0(NO.3+63.0728)
GH=16.34
FH=16.398



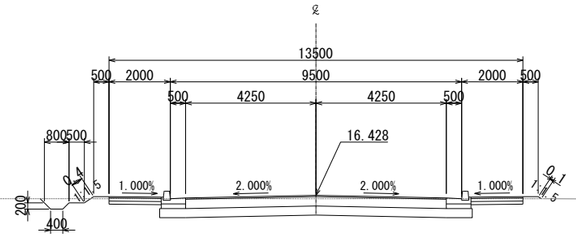
DL=15.00

NO.4
GH=16.51
FH=16.442



DL=15.00

NO.3+60
GH=16.32
FH=16.428



DL=15.00

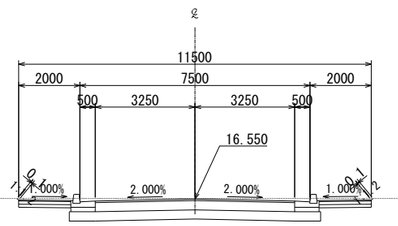
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	横断図（３）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	11 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

横 断 図（４）

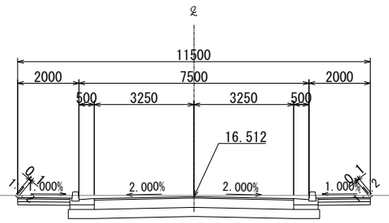
県道切回し道路

EP　(NO.4+30.8912)
GH=16.57
FH=16.550



DL=15.00

NO.4+20
GH=16.55
FH=16.512



DL=15.00

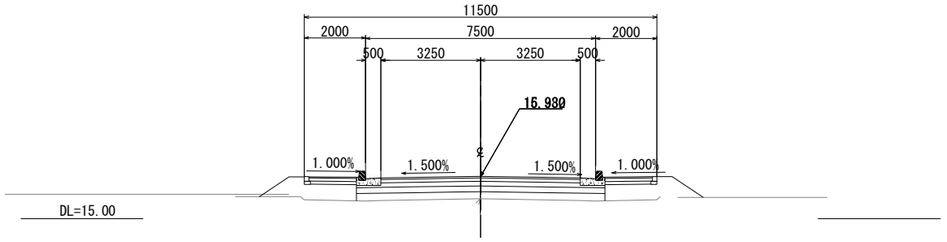
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	**Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事**		
図面名	横断図（４）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	12 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

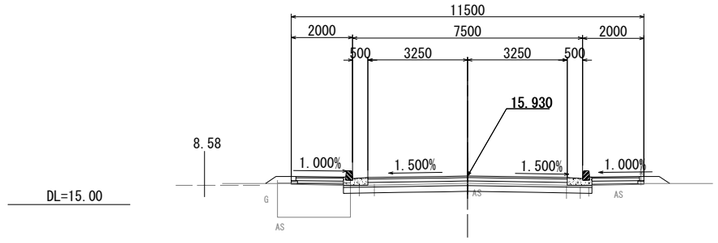
横　断　図（５）S=1：100

現道復旧
（主要地方道 鴻巣川島線）

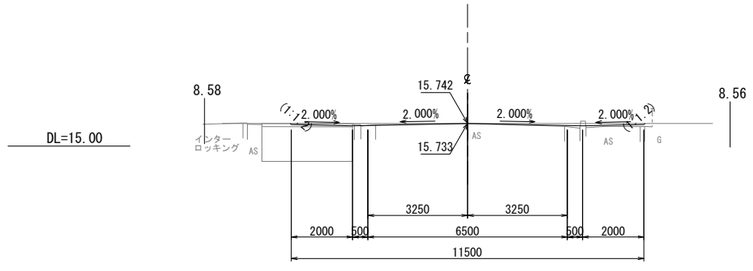
NO.2+40
GH=15.72
FH=16.382



NO.2+20
GH=15.69
FH=15.930



NO. 2+00
GH=15.73
FH=15.742



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

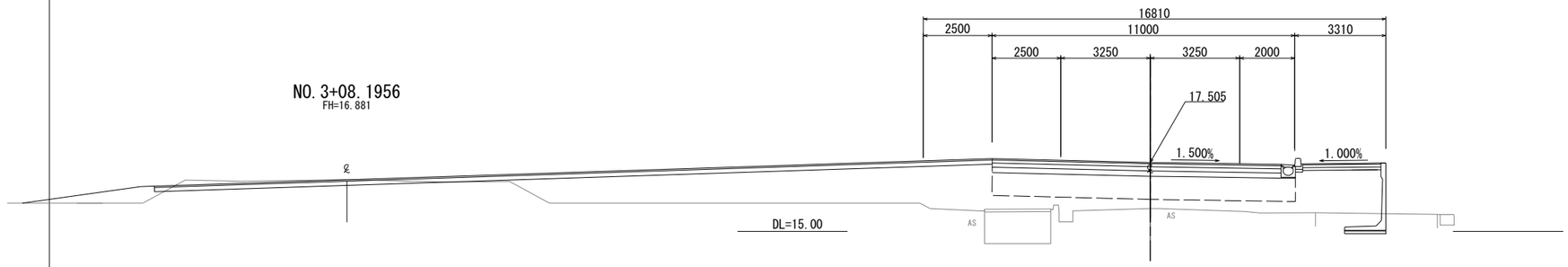
※NO.2+40～NO.2+80の現況線は平面図をベーロケして作成した推定形状である。

工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	横断図（５）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	13 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

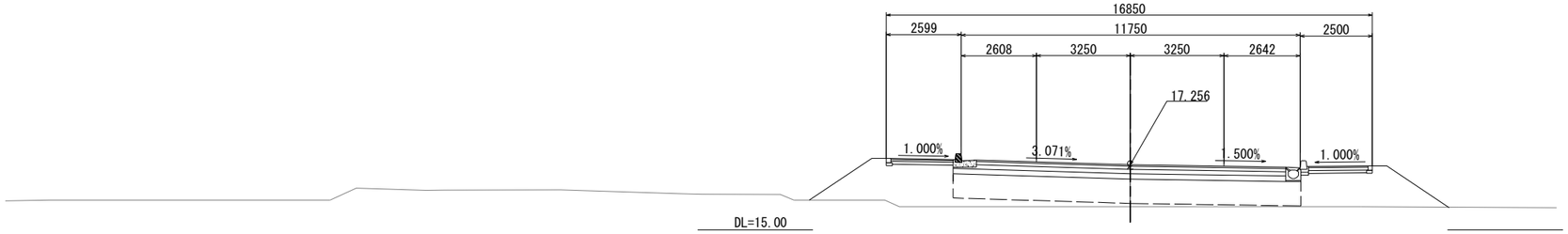
横　断　図（６）S=1：100

現道復旧
（主要地方道 鴻巣川島線）

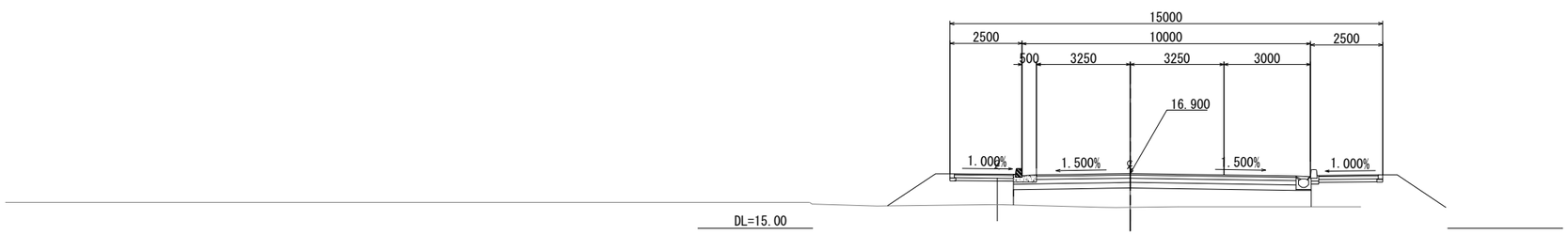
NO.3+00
GH=15.83
FH=17.505



NO.2+80
GH=15.80
FH=17.256



NO.2+60
GH=15.75
FH=16.900



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

※NO.2+40～NO.2+80の現況線は平面図をペーロケして作成した推定形状である。

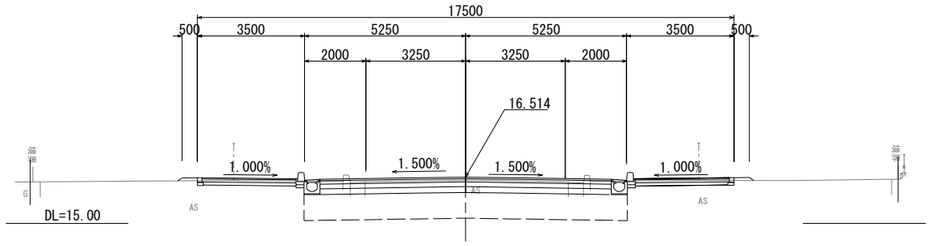
工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	横断図（６）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	14 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

横　断　図（７）S=1：100

現道復旧
（主要地方道 鴻巣川島線）

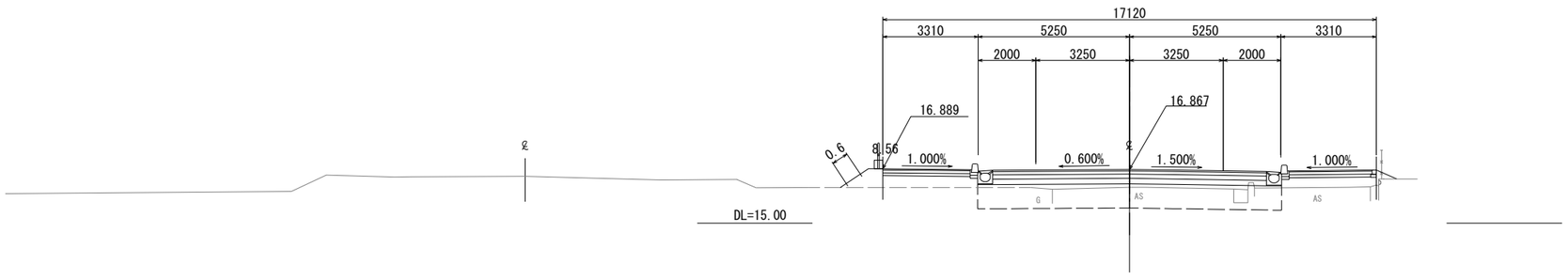
NO.3+60

GH=16.41
FH=16.514



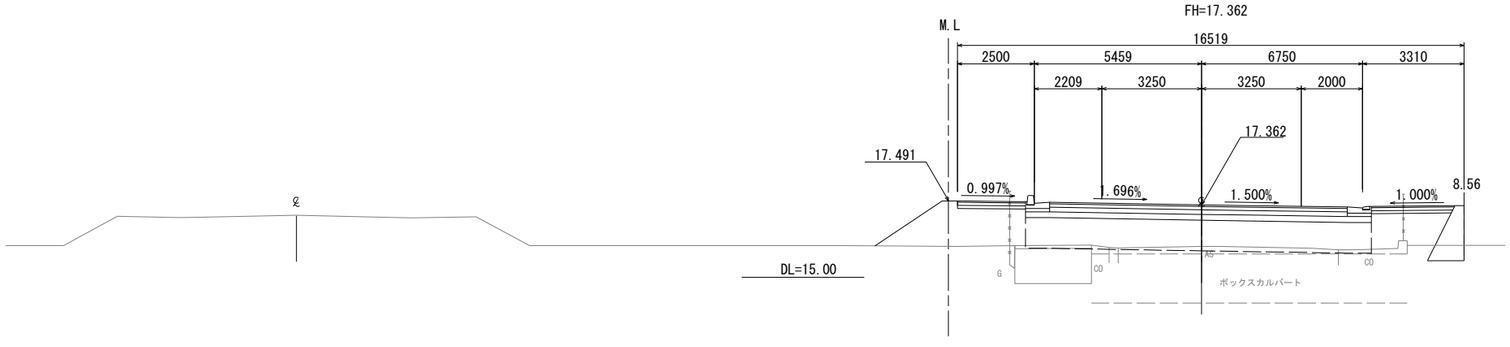
NO.3+40

GH=16.25
FH=16.867



NO.3+20

GH=16.01
FH=17.362



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	横断図（７）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	15 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

横　断　図（８）S=1：100

現道復旧

（主要地方道 鴻巣川島線）

NO.4+20

GH=16.57

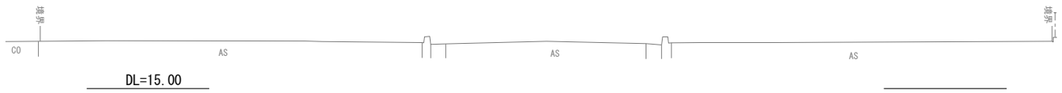
FH=16.570



NO. 4+00

GH=16.54

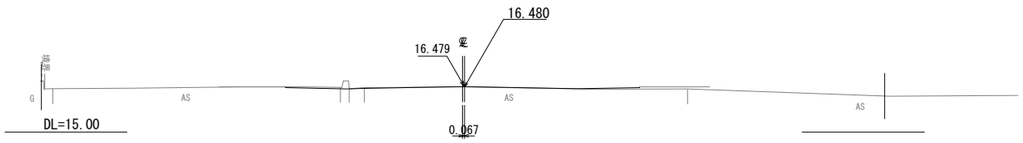
FH=16.540



NO.3+80

GH=16.48

FH=16.480



NO.3+96.5622

FH=16.488

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	横断図（８）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	16 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

横　断　図（９）　S=1：100

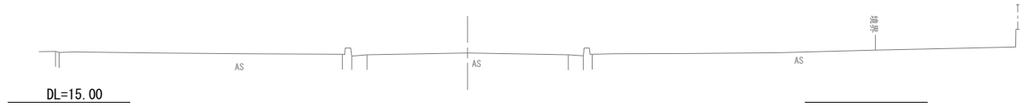
現道復旧

（主要地方道　鴻巣川島線）

NO.4+40

GH=16.61

FH=16.610



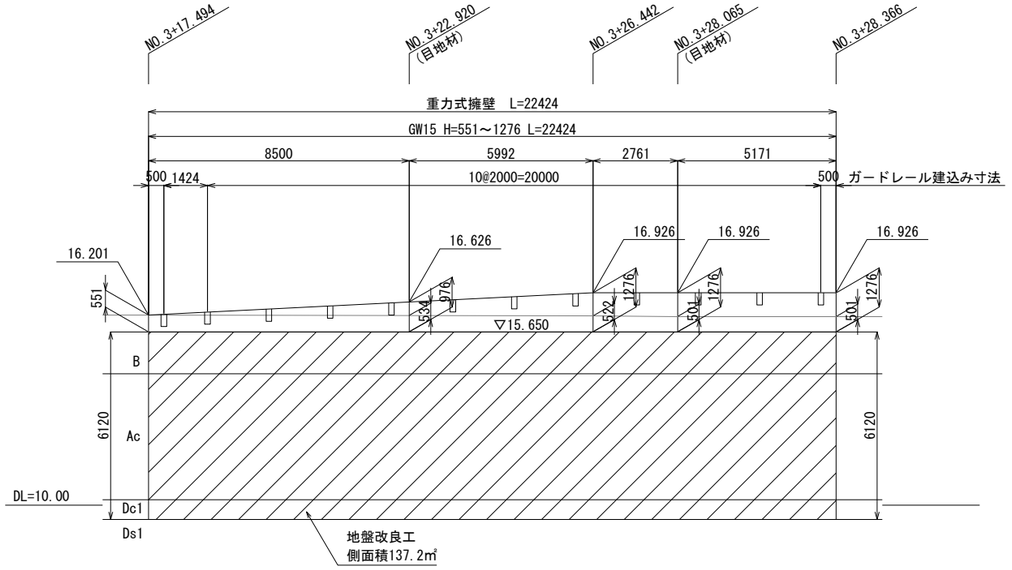
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	横断図（９）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	17 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

擁壁工詳細図（１）

重力式擁壁

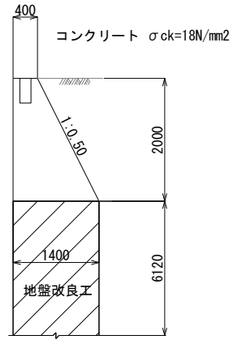
NO.3+17.494～NO.3+28.366(右)



標準断面図

重力式擁壁

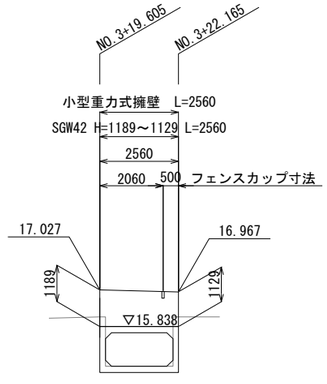
1.00＜H≦2.00m



数量表　　1箇所当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量	摘　要
コンクリート	σck=18N/mm2	m^3	15.8	
型　枠		m^2	53.1	
目　地　材	T = 2 cm	m^2	1.5	
水抜きパイプ	VP-φ60	m	4.3	
箱　抜　き	φ180-400	箇所	12.0	

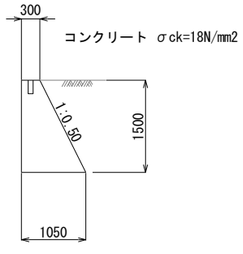
NO.3+19.605～NO.3+22.165(右)



標準断面図

重力式擁壁

1.00＜H≦1.50m



数量表　　1箇所当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量	摘　要
コンクリート	σck=18N/mm2	m^3	1.8	
型　枠		m^2	7.7	
水抜きパイプ	VP-φ60	m	0.9	
箱　抜　き	□80-220	箇所	1.0	

※ 箱抜きは、当初未計上

DL=10.00

＜地盤改良＞
・施工法は所定の諸元が築造可能な工法とする。
・地盤改良基礎は工法の出来形管理規定によりDs1層に着底させる。
・確認ボーリングやサウンディング等により地層状況を確認することが望ましい。
・工法規定に基づく配合試験等により所定の強度発現を確認する。

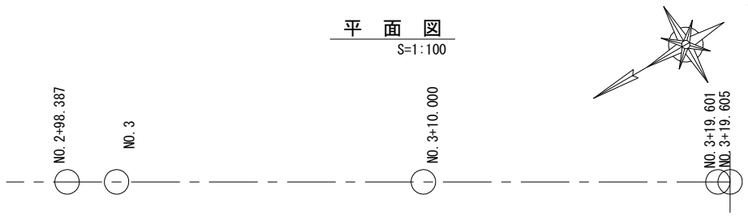
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	擁壁工詳細図（１）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	18 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

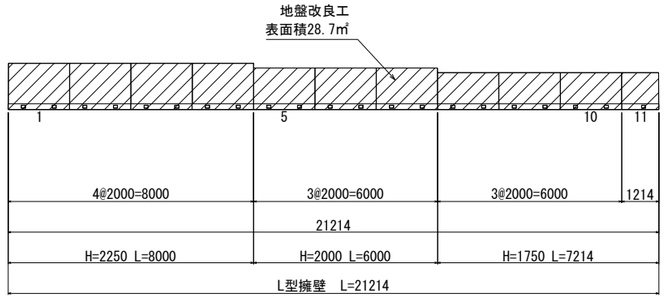
擁壁工詳細図（２）

設計条件（L型擁壁）			試行くさび法
項　　目		単 位	設計値
上 載 荷 重		kN/m2	3.5
フェンス荷重	種別 P	kN	0.39
	作用高	m	1.1
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN/m3	24.5
	土	kN/m3	19.0
土 の 内 部 摩 擦 角		度	30
滑 動 摩 擦 係 数		──	0.6
外　水　位			なし

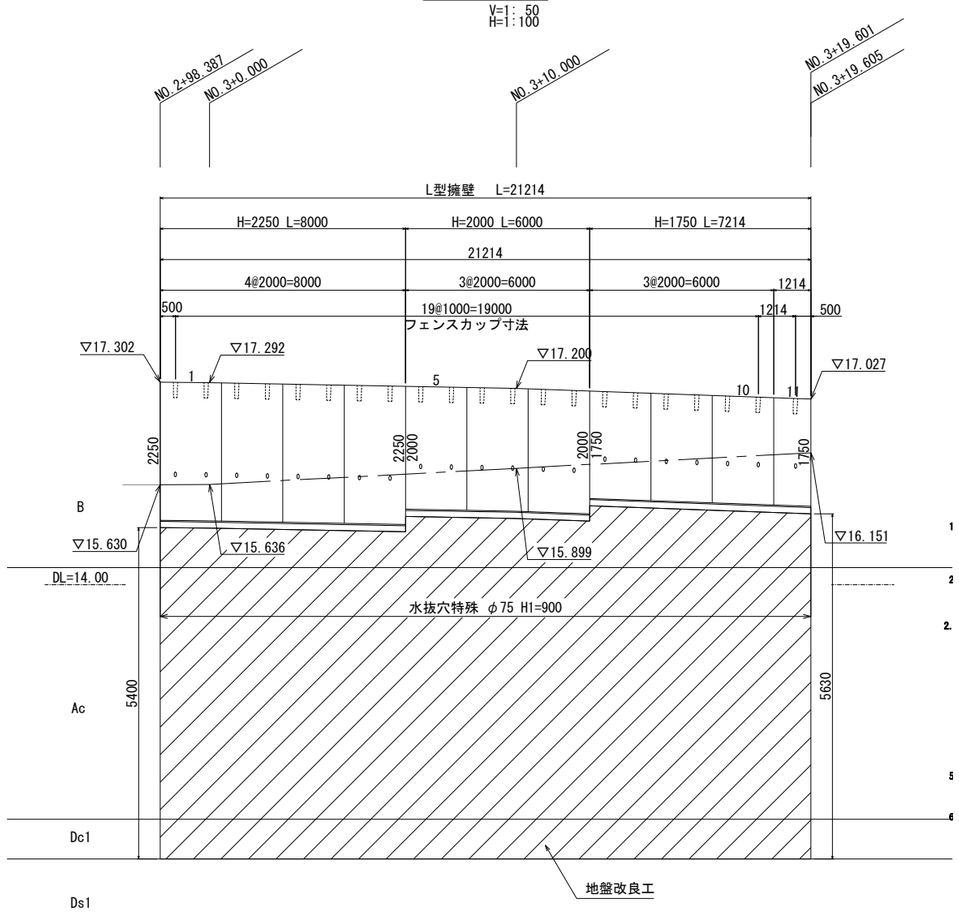
平　面　図
S=1:100



L 型 擁 壁

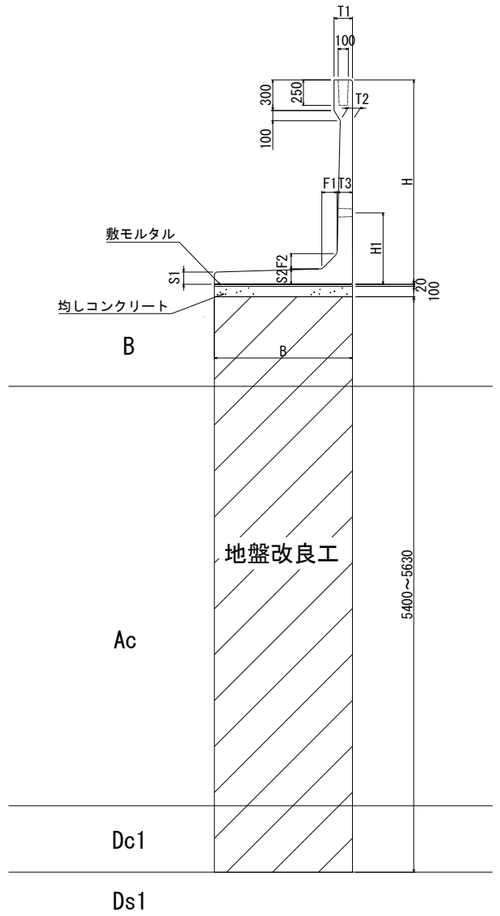


正面展開図
V=1: 50
H=1:100



標準断面図
S=1:30

L型擁壁



＜地盤改良＞
・施工法は所定の諸元が築造可能な工法とする。
・地盤改良基礎は工法の出来形管理規定によりDs1層に着底させる。
・確認ボーリングやサウンディング等により地層状況を確認することが望ましい。
・工法規定に基づく配合試験等により所定の強度発現を確認する。

寸 法 表

サ イ ズ	寸法仕様(mm)								必要地耐力 (kN/m2)
H × 公称長さ	B	T1	T2	T3	S1	S2	F1	F2	
1750 × 2000	1200	180	100	140	100	140	150	150	68
2000 × 2000	1350	180	120	150	120	150	150	150	78
2250 × 2000	1500	180	120	160	120	160	200	200	88

製品数量表　　一式当り

製品番号	サ イ ズ H × L	規 格	数 量	参考質量	摘 要
L型擁壁					
	1750 × 2000	水抜穴特殊	3 本	1770 kg	
11	× 1214	調整用 水抜穴特殊	1 本	1070 kg	
	2000 × 2000	水抜穴特殊	3 本	2190 kg	
	2250 × 2000	水抜穴特殊	4 本	2570 kg	
		合計	11 本		

※根入れは500㎜以上確保する。

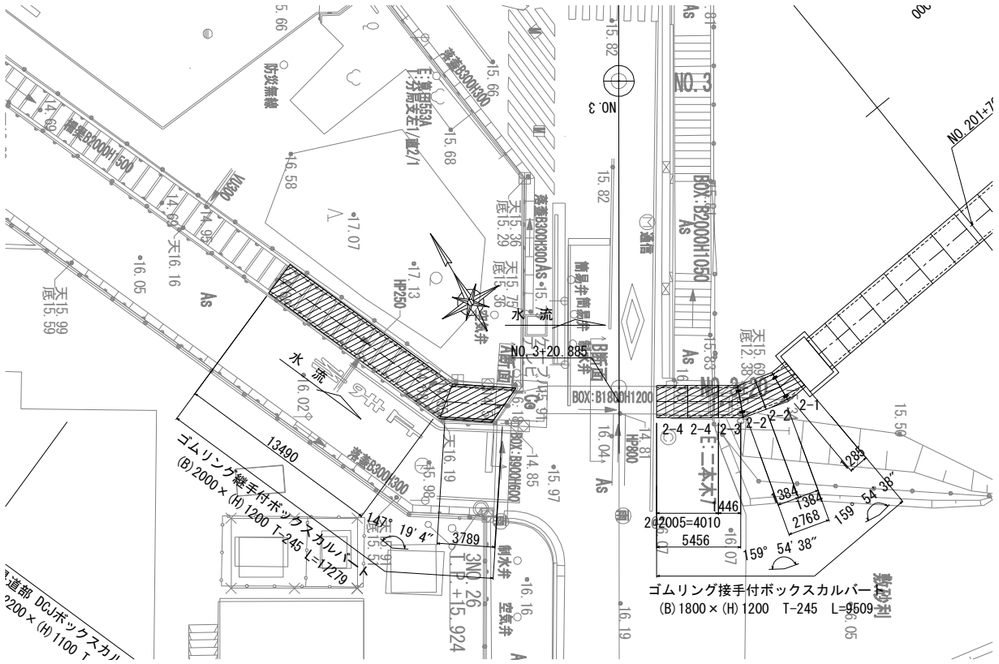
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事
図面名	擁壁工詳細図（２）
作成年月日	令和　８年　８月　日
縮　尺	図　示　図面番号　19 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

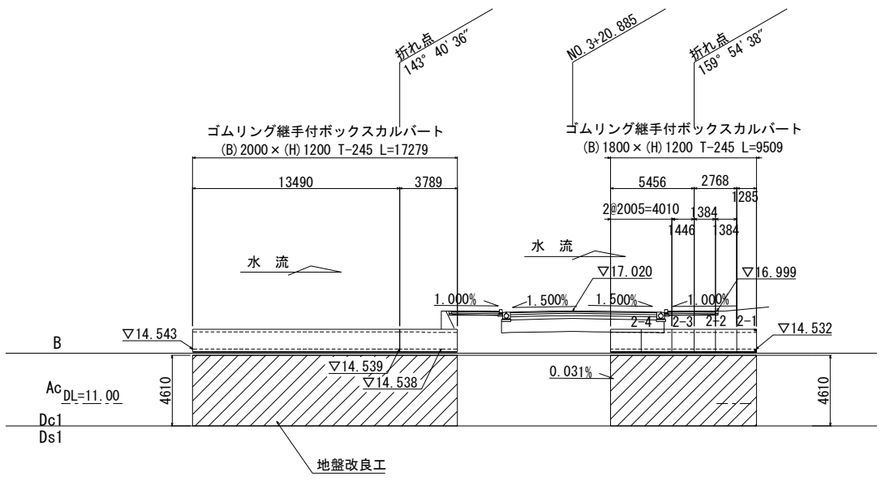
カルバート工一般図（１）
（第4分水区 排支4号）
ボックスカルバート割付図

設計条件			
項目		単位	設計値
適用土被り		m	0.77～2.69
上載荷重		—	T-245
			横断
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN/m3	24.5
	土	kN/m3	19.0
土圧係数		—	0.5
外水位		—	なし

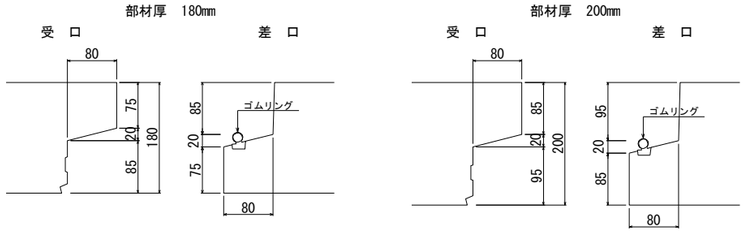
平面図
S=1:200



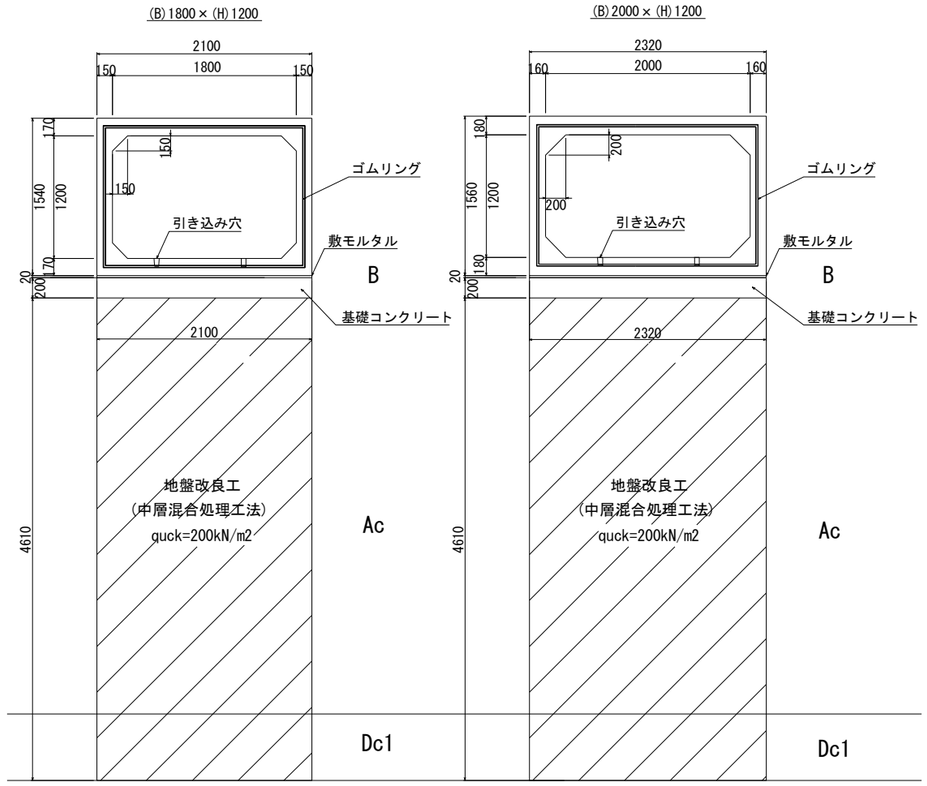
側面図
S=1:200



継手部詳細図
S=1:20



標準断面図
S=1:30



材料集計表

工種	規格	単位	2000×1200	1800×1200	合計
敷モルタル	1：3	m3	0.8	0.4	1.2
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	8.0	4.0	12.0
地盤改良工		m3	184.8	92.1	276.9

製品数量表　　一式当り

製品番号	サイズ B × H × L	規格	数量	参考質量（1本当り）	摘要
ゴムリング継手付ボックスカルバート　T-245（上流）					
2-4	1800 × 1200 × 2000	標準	2 本	5600 kg	
2-1	1800 × 1200 × 1094 1469	斜角 連結金具	1 本	3590 kg	M16 C+C n=4
2-2	1800 × 1200 × 1193 1565	斜角 連結金具	2 本	3860 kg	M16 C+C n=4
2-3	1800 × 1200 × 1255 1627	斜角 連結金具	1 本	4040 kg	M16 C+C n=4
		合計	6 本		
ゴムリング継手付ボックスカルバート　T-245（下流）					
	2000 × 1200 × 2000	標準	17.279 m	6500 kg	

＜地盤改良＞
・施工法は所定の諸元が築造可能な工法とする。
・地盤改良基礎は工法の出来形管理規定によりDs1層に着底させる。
・確認ボーリングやサウンディング等により地層状況を確認することが望ましい。
・工法規定に基づく配合試験等により所定の強度発現を確認する。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

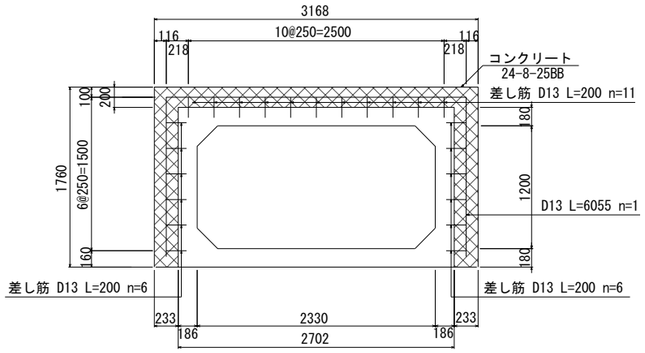
工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事
図面名	カルバート工一般図（１）
作成年月日	令和　８年　８月　日
縮尺	図示　図面番号 20 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

カルバートエー般図（２）
（第4分水区 排支4号）
水路接続部詳細図

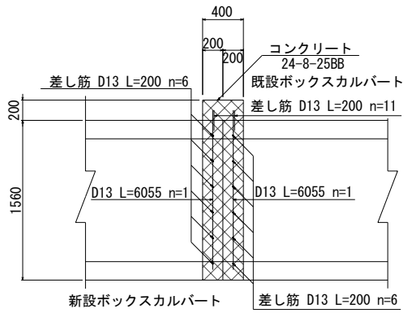
S=1:30

2000×1200

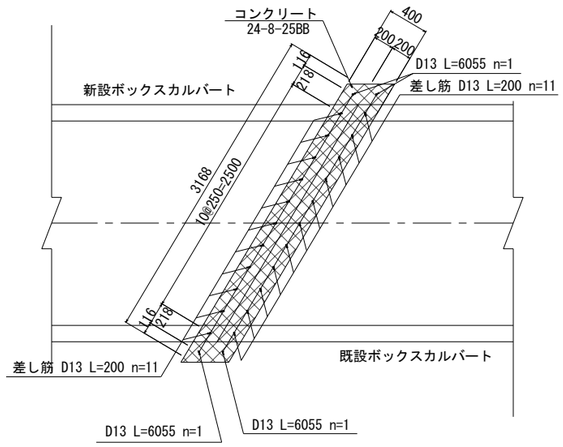
断　面　図



側　面　図



平　面　図

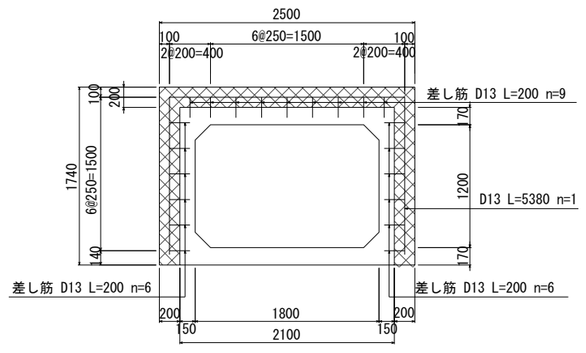


2000×1200　　一式当り

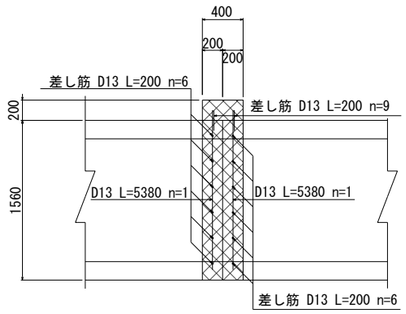
名　称	規　格	規　格	単位	数　量
コンクリート	24-8-25BB	(1.760×3.168-1.560×2.702)×0.400	m3	0.544
同上型枠		(1.760×3.168-1.560×2.702)×2+0.400×1.760×2	m2	4.129
鉄　筋	D13	(1.560×2+2.935)×0.995	kg	6.025
アンカー差し筋	D13		箇所	23

1800×1200

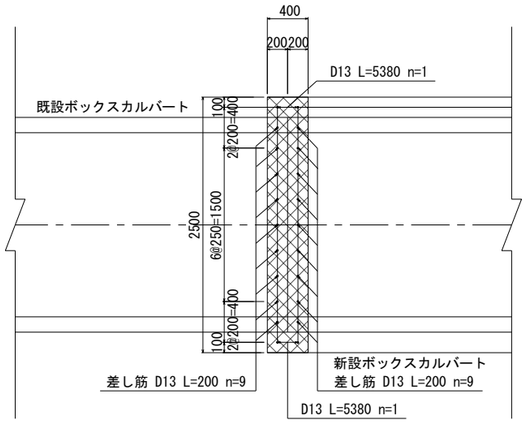
断　面　図



側　面　図



平　面　図



1800×1200　　一式当り

名　称	規　格	規　格	単位	数　量
コンクリート	24-8-25BB	(1.740×2.500-1.540×2.100)×0.400	m3	0.446
同上型枠		(1.740×2.500-1.540×2.100)×2+0.400×1.740×2	m2	3.624
鉄　筋	D13	(1.540×2+2.300)×0.995	kg	5.353
アンカー差し筋	D13		箇所	21

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

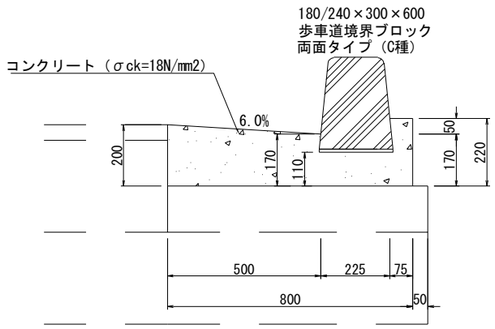
工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	カルバートエー般図（２）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	21 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

小構造物詳細図（１）

L型街渠

S=1:10

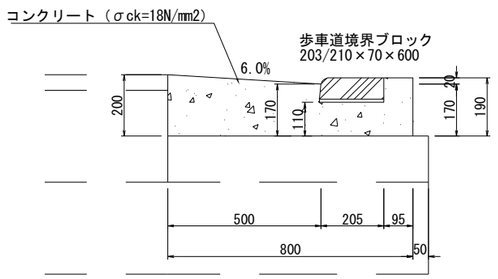
一般部



材料表　（10m当り）

名　称	規格・寸法	単位	数　量	摘　要
歩車道境界ブロック	(C種)180/240×300×600	本	16.5	
コンクリート	σck=18N/mm2	m³	1.338	
型　枠		m²	7.0	

平坦部

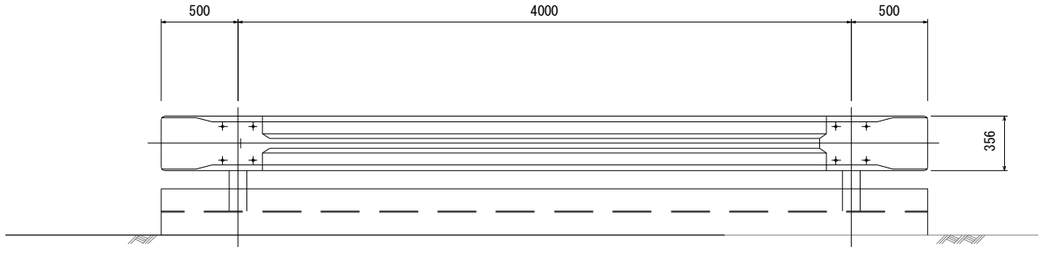


材料表　（10m当り）

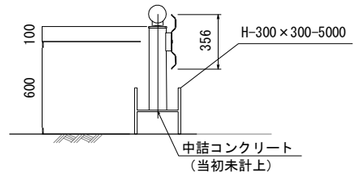
名　称	規格・寸法	単位	数　量	摘　要
歩車道境界ブロック	203/210×70×600	本	16.5	
コンクリート	σck=18N/mm2	m³	1.331	
型　枠		m²	6.7	

仮設防護柵(Gr-B-2B)　S=1:10

側　面　図



断　面　図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

仮設防護柵　材料表　5m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
仮設防護柵	Gr-B-2B H300×300-5000	式	1.0	

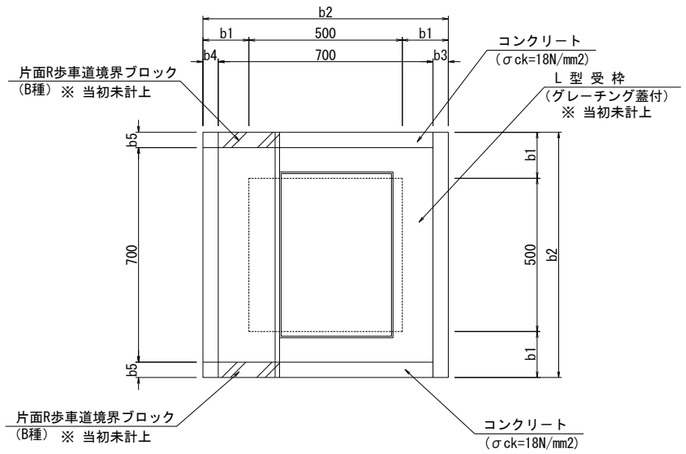
工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事
図面名	小構造物詳細図（１）
作成年月日	令和　８年　８月　日
縮　尺	図　示　図面番号　22 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

小構造物詳細図（２）

県道切回し道路

現場打集水桝 500x500xH

平　面　図



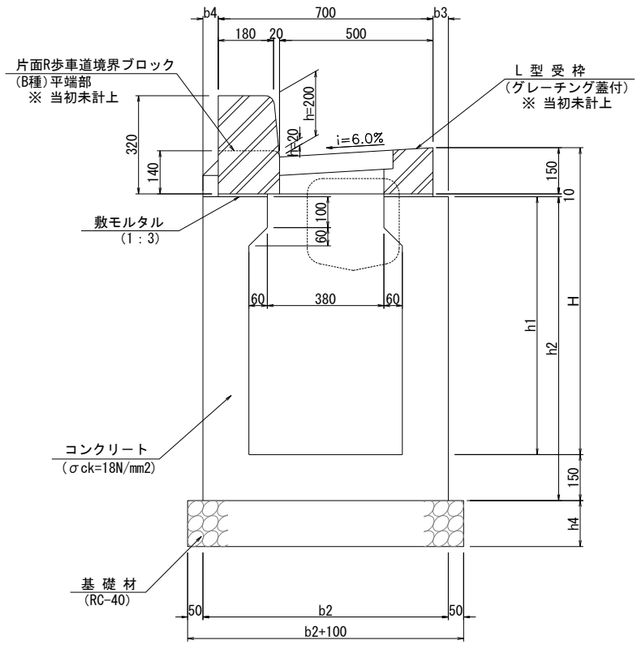
種別 ＼ 記号	H	b1	b2	b3	b4	b5	h1	h2	h3	h4	摘　要
500x500x600	600	150	800	50	50	50	440	590	280	150	
500x500x700	700	150	800	50	50	50	540	690	380	150	
500x500x800	800	150	800	50	50	50	640	790	480	150	
500x500x900	900	150	800	50	50	50	740	890	580	150	
500x500x1100	1100	200	900	100	100	100	940	1090	780	200	
500x500x1300	1300	200	900	100	100	100	1140	1290	980	200	

材料表　　１箇所当り

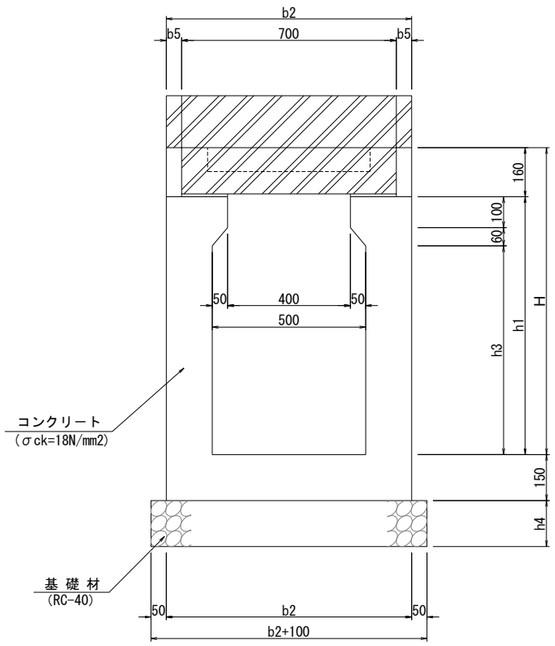
項　目	規格・寸法	単位	数量 (1)500x500 x600	(1)500x500 x700	(1)500x500 x800	(1)500x500 x900	(1)500x500 x1100	(1)500x500 x1300	摘　要
コンクリート	σck=18N/mm2	m^3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.6	0.8	
型　枠		m^2	3.3	3.8	4.3	4.8	6.3	7.4	
基　礎　材	RC-40 t=150	m^2	0.8	0.8	0.8	0.8	——	——	
	RC-40 t=200	m^2	——	——	——	——	1.0	1.0	
敷モルタル	1:3	m^3	0.003	0.003	0.003	0.003	0.006	0.006	
L 型 受 枠	h=200（片面R）ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋付	個	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	T-25
	h=20（片面R）ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋付	個	——	——	——	——	——	——	〃
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	180/205×250×600	個	0.17	0.17	0.17	0.17	0.33	0.33	片面R（B種）
	198/205×70×600	個	——	——	——	——	——	——	〃

※ L型受枠、歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸは、当初未計上

側　面　図



正　面　図



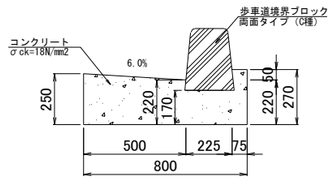
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事
図面名	小構造物詳細図（２）
作成年月日	令和　８年　８月　日
縮　尺	図　示　　図面番号　23 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

小構造物詳細図(3)　S=1:15

L型側溝

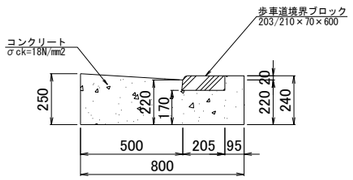
A-1
一般部



歩車道境界工(A-1) 数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	**180/240×300×600**	m	10.0	両面R
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m³	1.76	
型枠		式	1	

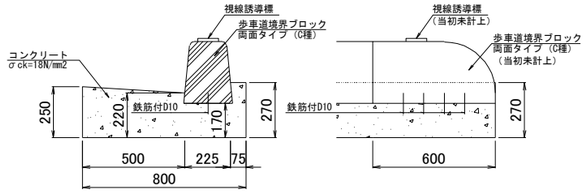
A-2
歩行者横断用平坦部



歩車道境界工(A-2) 数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	**203/210×70×600**	m	10.0	
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m³	1.75	
型枠		式	1	

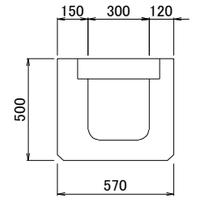
A-3
端部



歩車道境界工(A-3) 数量表　10箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	**端部用(差し筋付)**	個	10	両面R
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m³	1.06	
型枠		式	1	
視線誘導標		個	10	

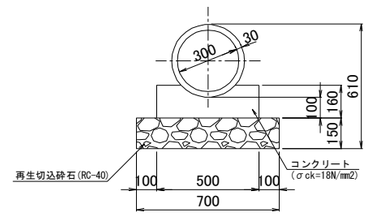
U型側溝



U型側溝　数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
プレキャストU型	**300×300**	m	10.0	
コンクリート蓋	**400×100×600**	枚	16.7	

管渠(1) D300

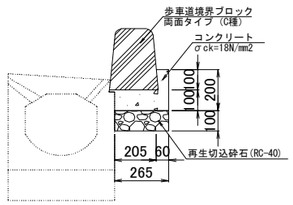


管渠(1) D300　数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
遠心力鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管	**D300**	本	5	JIS A4303
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m³	0.69	
型枠		式	1	
基礎材	RC-40　t=100	m²	7.00	

歩車道境界ブロック

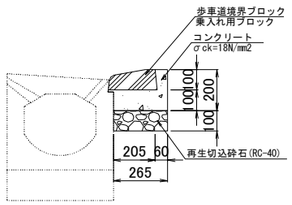
B-1
一般部



歩車道境界工(B-1) 数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	**180/240×300×600**	m	10.0	両面R
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m³	0.33	
型枠		式	1	
基礎材	RC-40　t=100	m²	2.65	

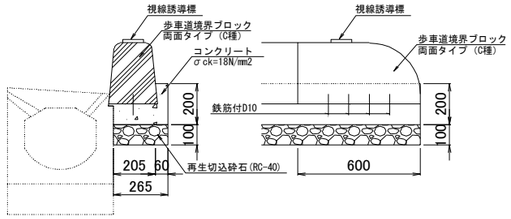
B-2
車乗入れ用平坦部



歩車道境界工(B-2) 数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	**乗入用ブロック**	m	10.0	
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m³	0.33	
型枠		式	1	
基礎材	RC-40　t=100	m²	2.65	

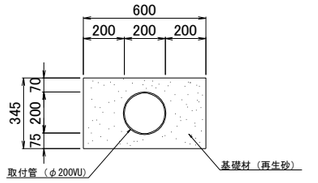
B-3
端部
（当初未計上）



歩車道境界工(B-3) 数量表　10箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	**端部用(差し筋付)**	個	10	両面R
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m³	0.20	
型枠		式	1	
基礎材	RC-40　t=100	m²	1.59	
視線誘導標		個	10	

取付管

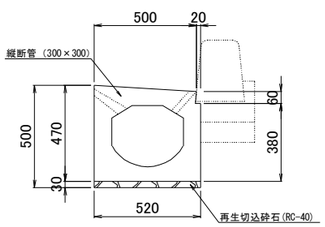


取付管　数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
取付管	VUφ200	m	10.0	
砂巻き基礎	再生砂	m³	1.70	

街渠縦断管(A)

一般部
（当初未計上）

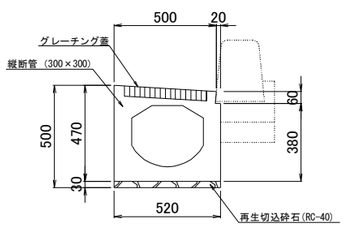


街渠縦断管(A)　数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
街渠縦断管	**300×300**	m	10.0	5本
基礎材	RC-40　t=30	m²	5.20	

街渠縦断管(B)

管理用
（当初未計上）



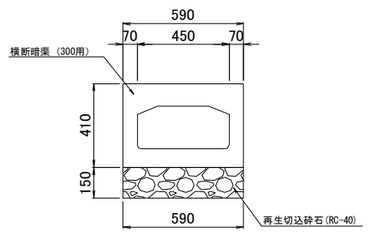
街渠縦断管(B)　数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
街渠縦断管	**300×300(蓋付)**	m	10.0	5本
基礎材	RC-40　t=30	m²	5.20	

※管理用は10.0mに1箇所程度の設置とする

横断暗渠

（当初未計上）



街渠縦断管(B)　数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
横断暗渠	300用	m	10.0	
基礎材	RC-40　t=150	m²	5.90	

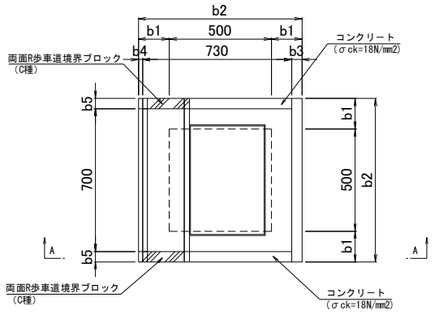
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	**Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事**		
図面名	小構造物詳細図（３）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	24 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

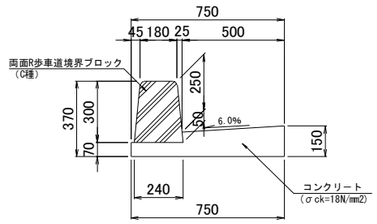
小構造物詳細図(4)　S=1:15

現場打集水桝 500x500xH

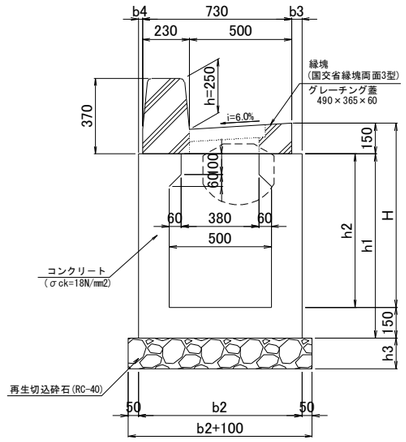
平 面 図



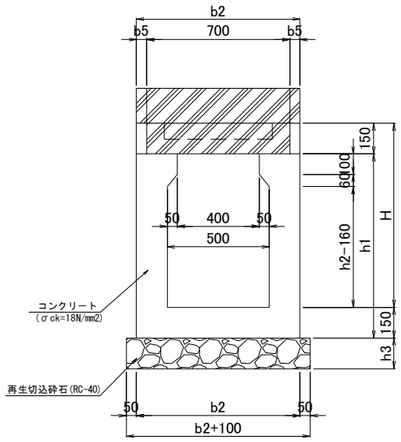
A－A



側 面 図



正 面 図



種別＼記号	H	b1	b2	b3	b4	b5	h1	h2	h3	摘　要
500x500x900	900	150	800	50	20	50	900	750	150	
500x500x1100	1100	200	900	100	70	100	1100	950	200	
500x500x1500	1500	200	900	100	70	100	1500	1350	200	
500x500x1900	1900	200	900	100	70	100	1900	1750	200	

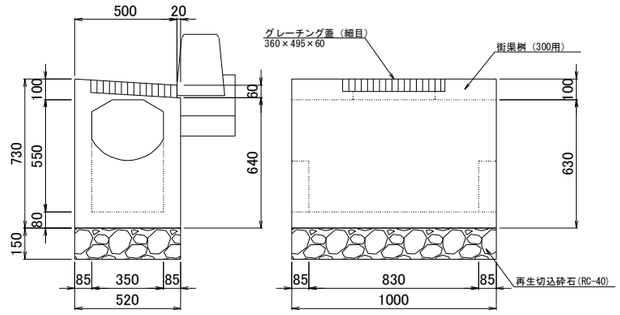
街渠桝(1)500x500xH 数量表　　10箇所当り

名　称	規　格	単位	数量 (1)500x500 x900	(1)500x500 x1100	(1)500x500 x1500	(1)500x500 x1900	摘　要
縁塊	700×730×370	個	10	10	10	10	(国交省縁塊両面3型)
グレーチング蓋	490×365×60	個	10	10	10	10	
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	3.73	6.33	8.79	11.00	
型枠		式	1	1	1	1	
基礎材	RC-40　t=150	m²	8.10	1.00	1.00	1.00	
歩車道境界ブロック	180/240×300×600	個	1.65	3.31	3.31	3.31	

※ 縁塊、グレーチング蓋は、当初未計上

街渠桝

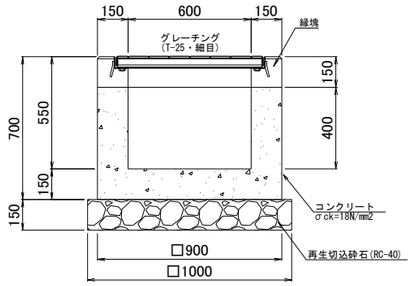
縦断管用街渠桝
（当初未計上）



街渠桝　数量表　　10箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
縦断管用街渠桝	**300×300用**	個	10	
基礎材	RC-40　t=150	m²	5.20	

集水桝(1)



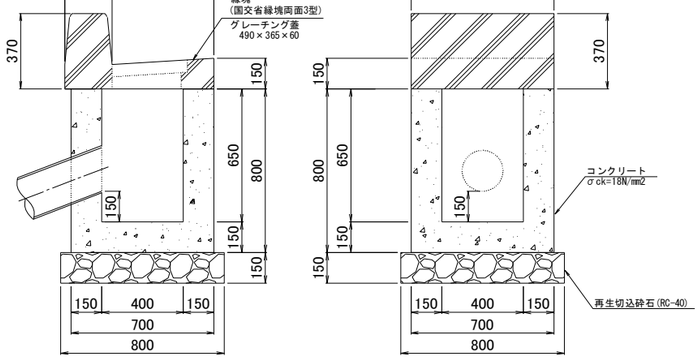
集水桝　数量表　　10箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
縁塊	縁塊　900×900×150	個	10	
グレーチング蓋	T-25・600×600用	個	10	**細目・ボルト固定**
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	3.02	
型枠		式	1	
基礎材	RC-40　t=150	m²	10.00	

※ 縁塊、グレーチング蓋は、当初未計上

L型街渠桝

歩車道境界工(A-1)用



L型街渠桝　数量表　　10箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
縁塊	700×730×370	個	10	(国交省縁塊両面3型)
グレーチング蓋	490×365×60	個	10	
コンクリート	σck=18N/mm	m³	2.83	
型枠		式	1	
基礎材	RC-40　t=150	m²	6.40	

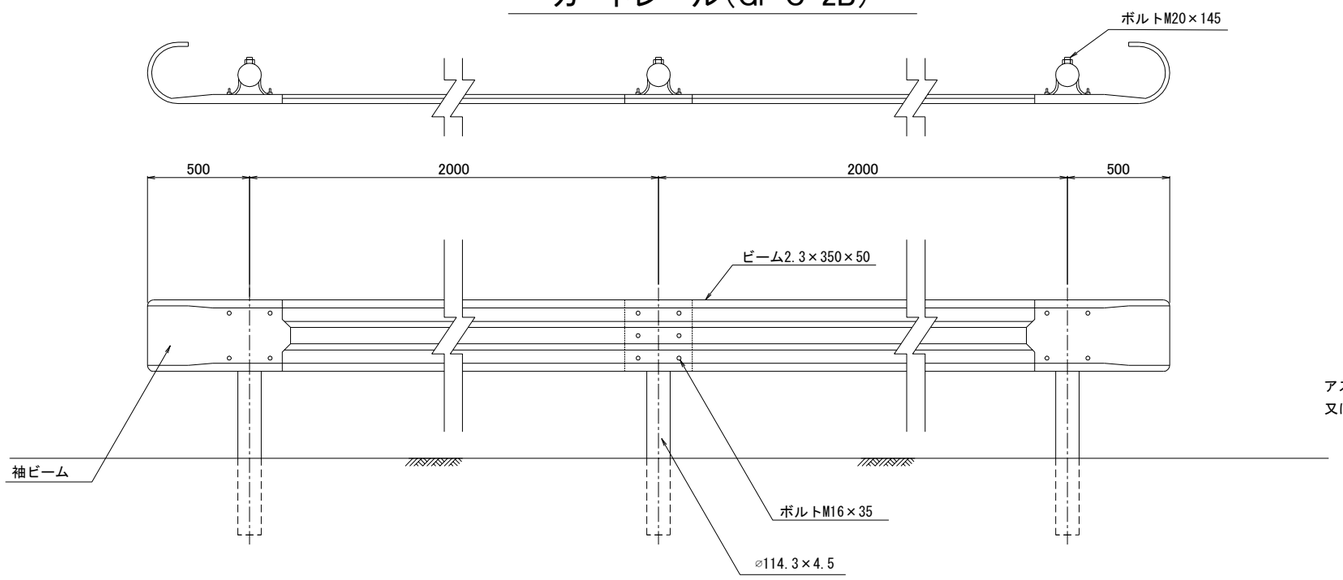
※ 縁塊、グレーチング蓋は、当初未計上

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

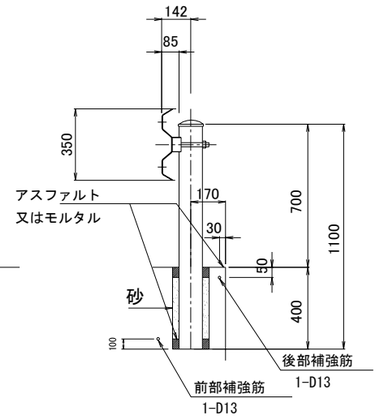
工事名	**Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事**		
図面名	小構造物詳細図（４）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	25 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

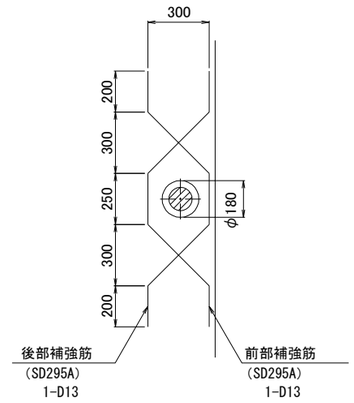
小構造物詳細図(5)　S=1:15

ガードレール(Gr-C-2B)



ガードレール(Gr-C-2B)
(構造物用)





ガードレール(Gr-C-2B) 数量表　10m当り

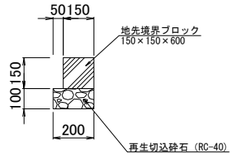
名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
ガードレール	Gr-C-2B	m	10.0	構造物用
円筒型枠	φ 180	m	2.00	
アスファルト		m^3	0.01	
砂		m^3	0.02	
鉄筋	D 13	kg	14.8	

箱抜き部 数量表　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
円筒型枠	φ 180	m	0.40	
アスファルト		m^3	0.0015	
砂		m^3	0.0046	
鉄筋	D 13	kg	2.965	

※ 円筒型枠、鉄筋は、当初未計上

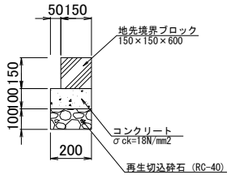
地先境界ブロック(A)



境石工(A) 数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
地先境界ブロック	**150×150×600**	m	10.0	
基礎材	RC-40 t=100	m^2	2.00	

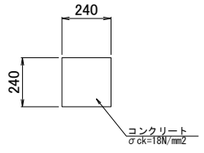
地先境界ブロック(B)



境石工(B) 数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
地先境界ブロック	**150×150×600**	m	10.0	
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m^3	0.20	
型枠		式	1	
基礎材	RC-40 t=100	m^2	2.00	

境石(C)



境石(C) 数量表　10m当り

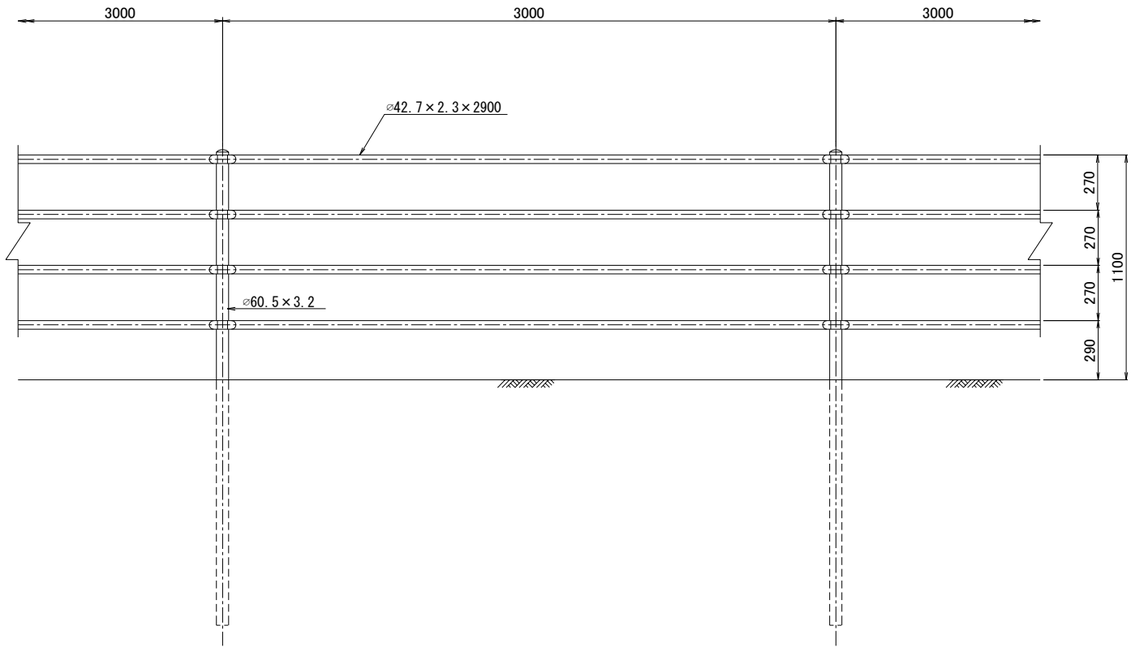
名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m^3	0.576	
型枠		式	1	

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

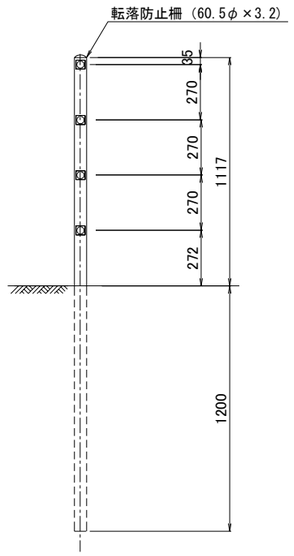
工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事
図面名	小構造物詳細図（５）
作成年月日	令和　８年　８月　日
縮　尺	図　示　図面番号　26 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

小構造物詳細図(6)　S=1:15

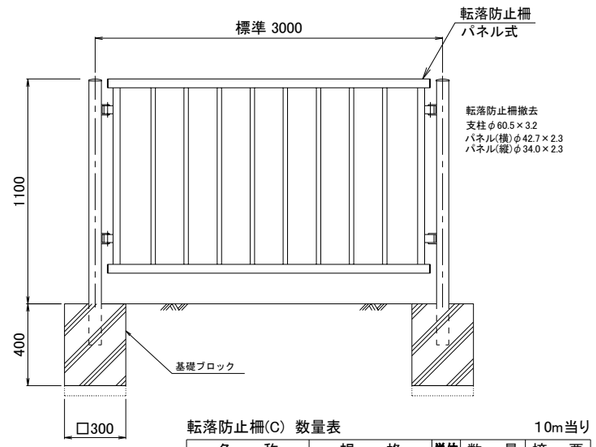
転落防止柵(A)
(H=1.10m)



転落防止柵(A)
(土中式)



転落防止柵(C)
(パネル式)



転落防止柵(C) 数量表　10m当り

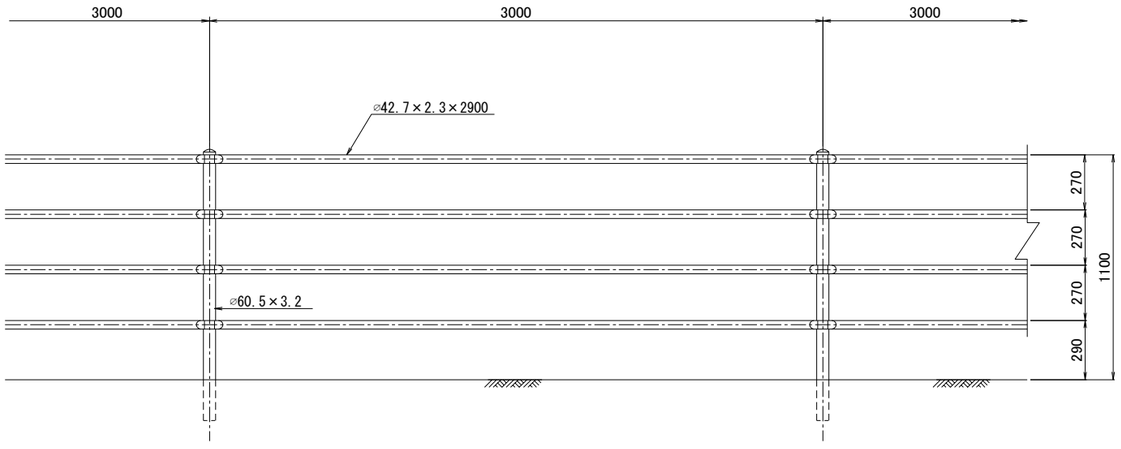
名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
転落防止柵	H=1.10m	m	10.0	パネル式
基礎ブロック	□300×400	個	4.0	

※ 基礎ブロックは、当初未計上

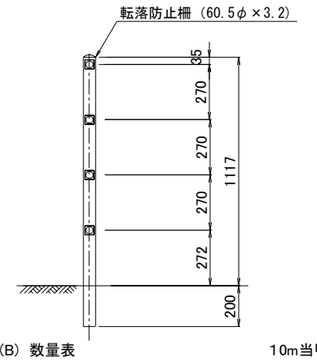
転落防止柵(B) 数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
転落防止柵	H=1.10m	m	10.0	土中式

転落防止柵(B)
(H=1.10m)



転落防止柵(B)
(構造物用)



転落防止柵(B) 数量表　10m当り

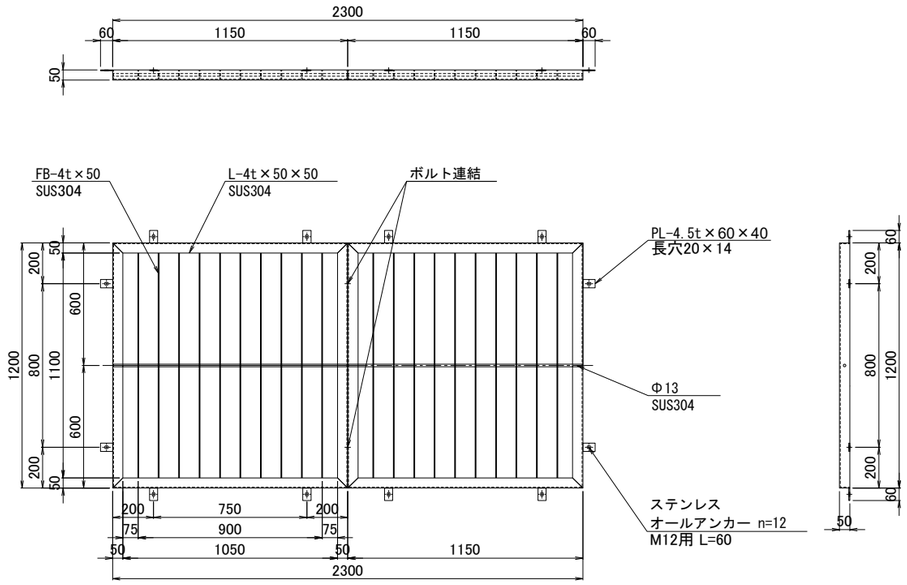
名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
転落防止柵	H=1.10m	m	10.0	構造物用

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

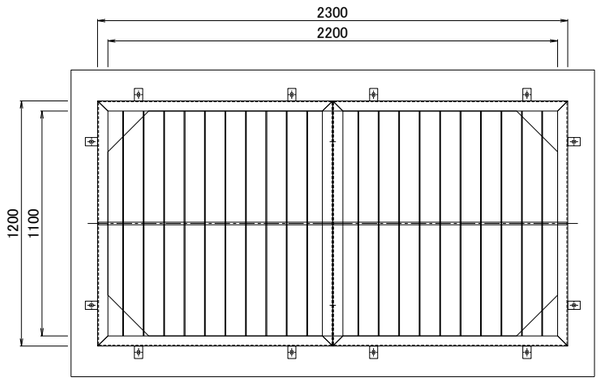
工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	小構造物詳細図（６）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	27 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

小構造物詳細図（7）　S=1:15

ステンレススクリーン
2300×1200×50



Box 2200×1100



ステンレススクリーン　数量表　　10箇所当り

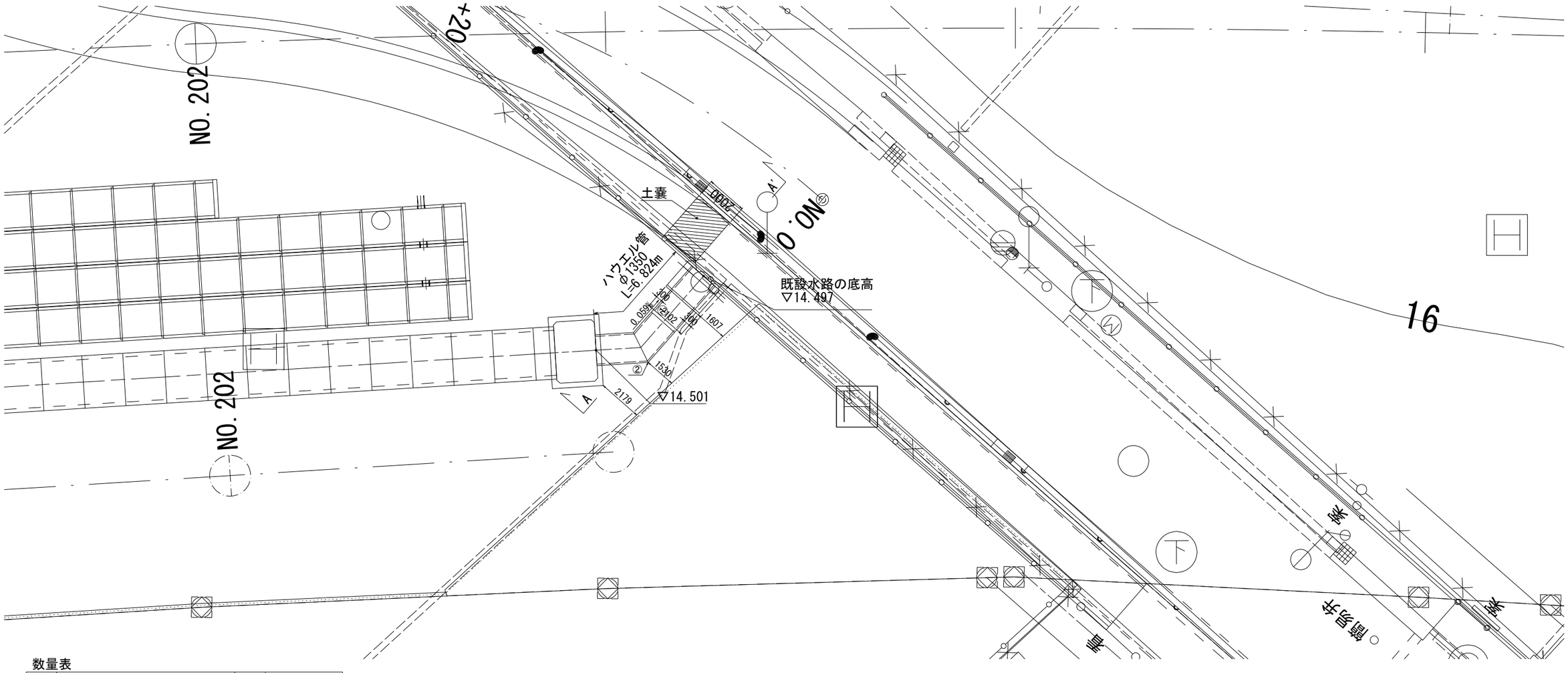
名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
ステンレススクリーン	2300×1200×50	枚	10.0	

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	小構造物詳細図（７）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	28 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

小構造物詳細図（８）
（下流側仮設水路）

平 面 図　S=1:100

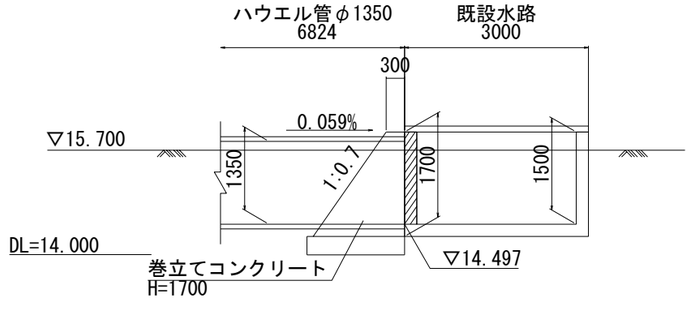


数量表

番号	品　名	数量	備　考
①	管剛性30　φ1350　L = 3000 NC	1	
②	特殊45° エルボ　CR　(L=1636×2188)	1	

断 面 図　S=1:50

A － A'



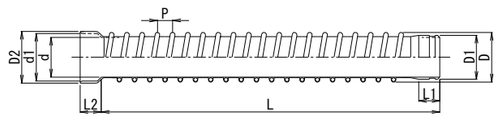
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事
図面名	小構造物詳細図（８）
作成年月日	令和　８年　８月　日
縮　尺	図　示　　図面番号　29 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

小構造物詳細図（９）
下流側仮設水路

耐圧ポリエチレンリブ管 Φ1350　S=1:20

ハウエル管（R30　φ300～1500）（詳細図）



R30規格寸法及びその許容差　（単位　：　mm）

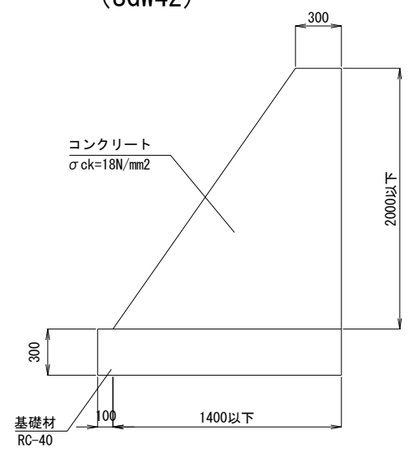
呼び径	内径 d	許容差	有効長 L	許容差	差口部 外径 D1	許容差	差口部 長さ L1	許容差	受口部 内径 d1	許容差	受口部 長さ L2	許容差	参考値 ピッチ P	外径 D	受口外径 D2
300	300	± 3.0	5000	+ 50 − 25	332	± 3.0	160	+ 0 − 5	358	± 3.0	160	+ 5 − 0	120	372	390
350	350	± 3.5			382	± 3.5			408	± 3.5			120	422	440
400	400	± 4.0			432	± 4.0	170		458	± 4.0	170		120	474	490
450	450	± 4.5			482	± 4.5			508	± 4.5			120	524	540
500	500	± 5.0			540	± 5.0	190		566	± 5.0	190		115	574	606
600	600	± 5.0			640	± 5.0			666	± 5.0			72	674	706
700	700	± 5.0			750	± 5.0	200		776	± 5.0	200		80	788	826
800	800	± 6.0			850	± 6.0			876	± 6.0			100	892	926
900	900	± 6.5			950	± 6.5	230		976	± 6.5	230		120	1030	1036
1000	1000	± 7.0			1060	± 7.0			1086	± 7.0			120	1134	1148
1100	1100	± 8.0			1160	± 8.0			1186	± 8.0			120	1244	1260
1200	1200	± 9.0			1260	± 9.0	250		1286	± 9.0	250		120	1344	1370
1350	1350	± 9.5			1420	± 9.5			1446	± 9.5			120	1502	1540
1500	1500	±10.0			1570	±10.0	270		1596	±10.0	270		120	1666	1704
1650	1650	±11.0			1720	±11.0			1746	±11.0			270	1902	1922
1800	1800	±11.5			1870	±11.5	290		1896	±11.5	290		210	2052	2088
2000	2000	±12.0			2070	±12.0			2096	±12.0			120	2252	2308
2200	2200	±13.0			2280	±13.0	320		2306	±13.0	320		120	2462	2472
2400	2400	±14.0			2490	±14.0			2526	±14.0			120	2678	2744
2600	2600	±16.0			2700	±16.0	340		2736	±16.0	340		180	2972	2970
3000	3000	±18.0			3110	±18.0	360		3156	±18.0	360		120	3410	3445

注１．有効長（Ｌ）は5000mm以下とすることができる。その際の許容差は4mより長い物～5mで有効長の+50mm、-25mmとする。
　　また、4m以下の物の許容差は有効長の+40mm、-20mmとする。
注２．内径（d）及び受口部内径（d1）は、任意の箇所における相互の二方向以上の内径測定値の算術平均とする。

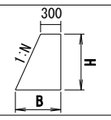
巻立てコンクリート　S=1:20

※形状は建設省制定土木構造物標準設計 小型重力式擁壁SGW42,SGW69を参考とした

（SGW42）　　（SGW69）



寸法表

形状	H 擁壁高	B 底板幅	N 前面勾配	標準設計NO
	1700	1490	0.7	SGW69

材料表 H=1700(SGW69)

種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.56	
基礎材	RC-40 t=300	m2	3.66	
型枠		m2	7.94	

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

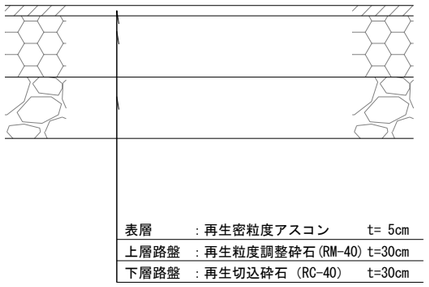
工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	小構造物詳細図（９）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮尺	図示	図面番号	30 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

舗 装 構 成 図(1)　S=1:15

県道切回し
（主要地方道 鴻巣川島線）

車道舗装

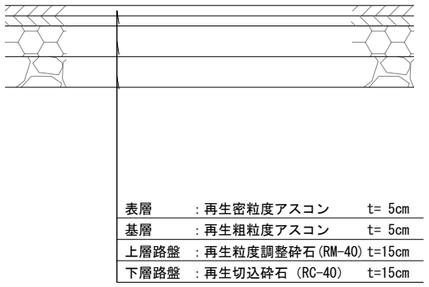
県道切回し



表層	：再生密粒度アスコン	t= 5cm
上層路盤	：再生粒度調整砕石(RM-40)	t=30cm
下層路盤	：再生切込砕石 (RC-40)	t=30cm

車道舗装

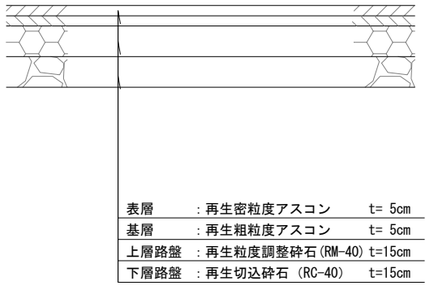
県道切回し 上側取付部



表層	：再生密粒度アスコン	t= 5cm
基層	：再生粗粒度アスコン	t= 5cm
上層路盤	：再生粒度調整砕石(RM-40)	t=15cm
下層路盤	：再生切込砕石 (RC-40)	t=15cm

車道舗装

県道切回し 下側取付部



表層	：再生密粒度アスコン	t= 5cm
基層	：再生粗粒度アスコン	t= 5cm
上層路盤	：再生粒度調整砕石(RM-40)	t=15cm
下層路盤	：再生切込砕石 (RC-40)	t=15cm

歩道舗装

県道切回し



表層	：透水性アスコン	t= 4cm
路盤	：再生切込砕石 (RC-40)	t=10cm
砂層	：再生砂	t=10cm

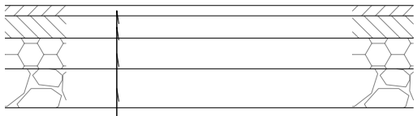
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	**Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事**		
図面名	舗装構成図（１）		
作成年月日	令和　８ 年　８ 月　 日		
縮　尺	図　示	図面番号	31 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

舗 装 構 成 図(2)　S=1:15

現道復旧
（主要地方道 鴻巣川島線）

車道舗装
現道復旧 拡幅部



表層	：再生密粒度アスコン	t= 5cm
基層	：再生粗粒度アスコン	t=11cm
上層路盤	：再生粒度調整砕石(RM-40)	t=15cm
下層路盤	：再生切込砕石 (RC-40)	t=19cm

車道舗装
現道復旧 市道取付部



表層	：再生密粒度アスコン	t= 5cm
基層	再生粗粒度アスコン	t=11cm

歩道舗装
現道復旧 歩道切下部(1)

乗用・小型貨物自動車等（2t程度）



(W≦4.2m)

表層	：再生密粒アスコン	t= 5cm
路盤	：再生切込砕石 (RC-40)	t=25cm

歩道舗装
現道復旧 歩道切下部(2)

普通貨物、大型貨物自動車等（6.5t以下）



(4.2＜W≦8.0m)

表層	：再生密粒アスコン	t= 5cm
基層	：再生粗粒アスコン	t= 5cm
路盤	：再生切込砕石 (RC-40)	t=25cm

歩道舗装
現道復旧 一般部



表層	：透水性アスコン	t= 4cm
路盤	：再生切込砕石 (RC-40)	t=10cm
砂層	：再生砂	t=10cm

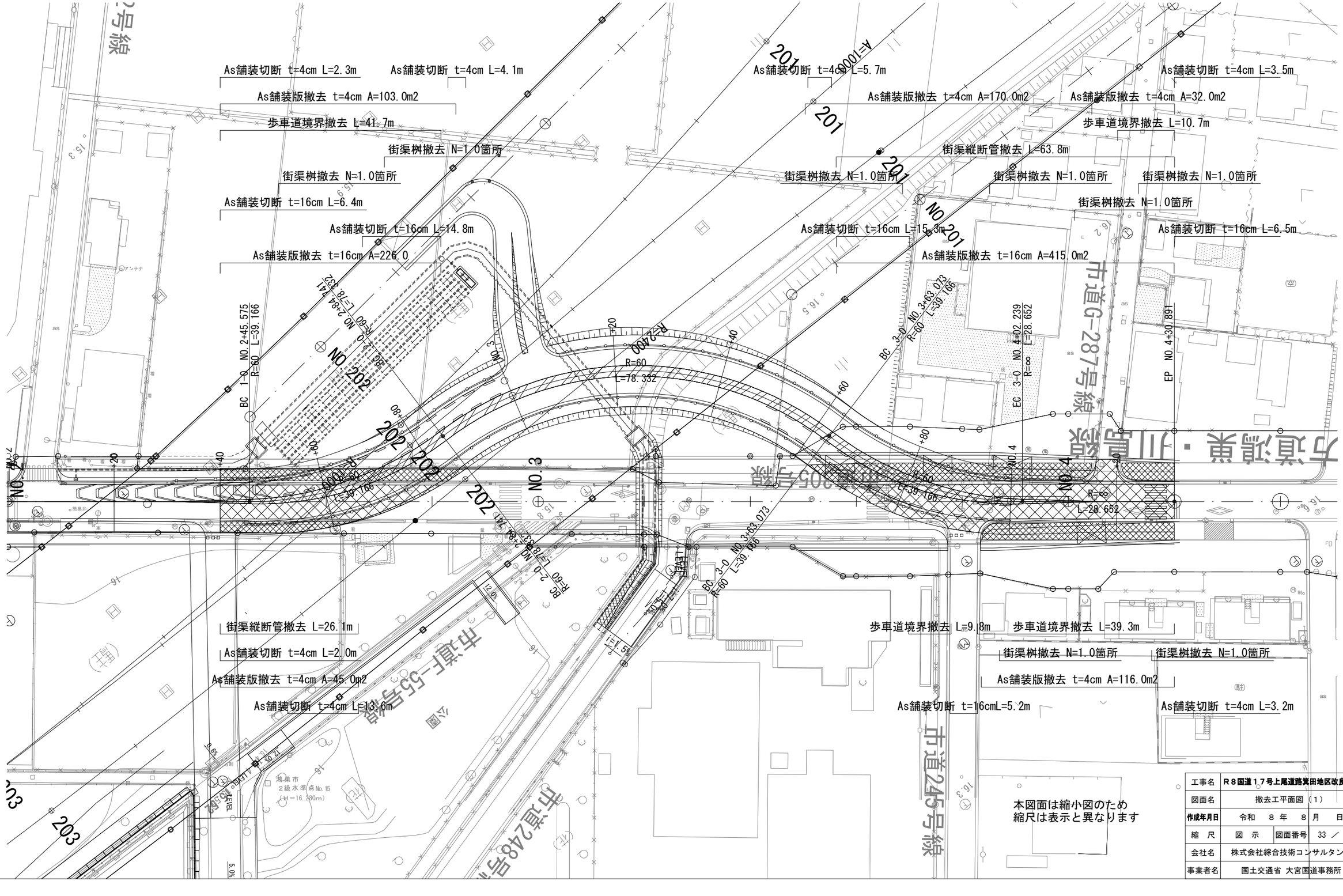
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	舗装構成図（２）		
作成年月日	令和　８ 年　８ 月　 日		
縮　尺	図　示	図面番号	32 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

撤去工平面図(1)

S=1:300

県道切回し迂回路部施工時

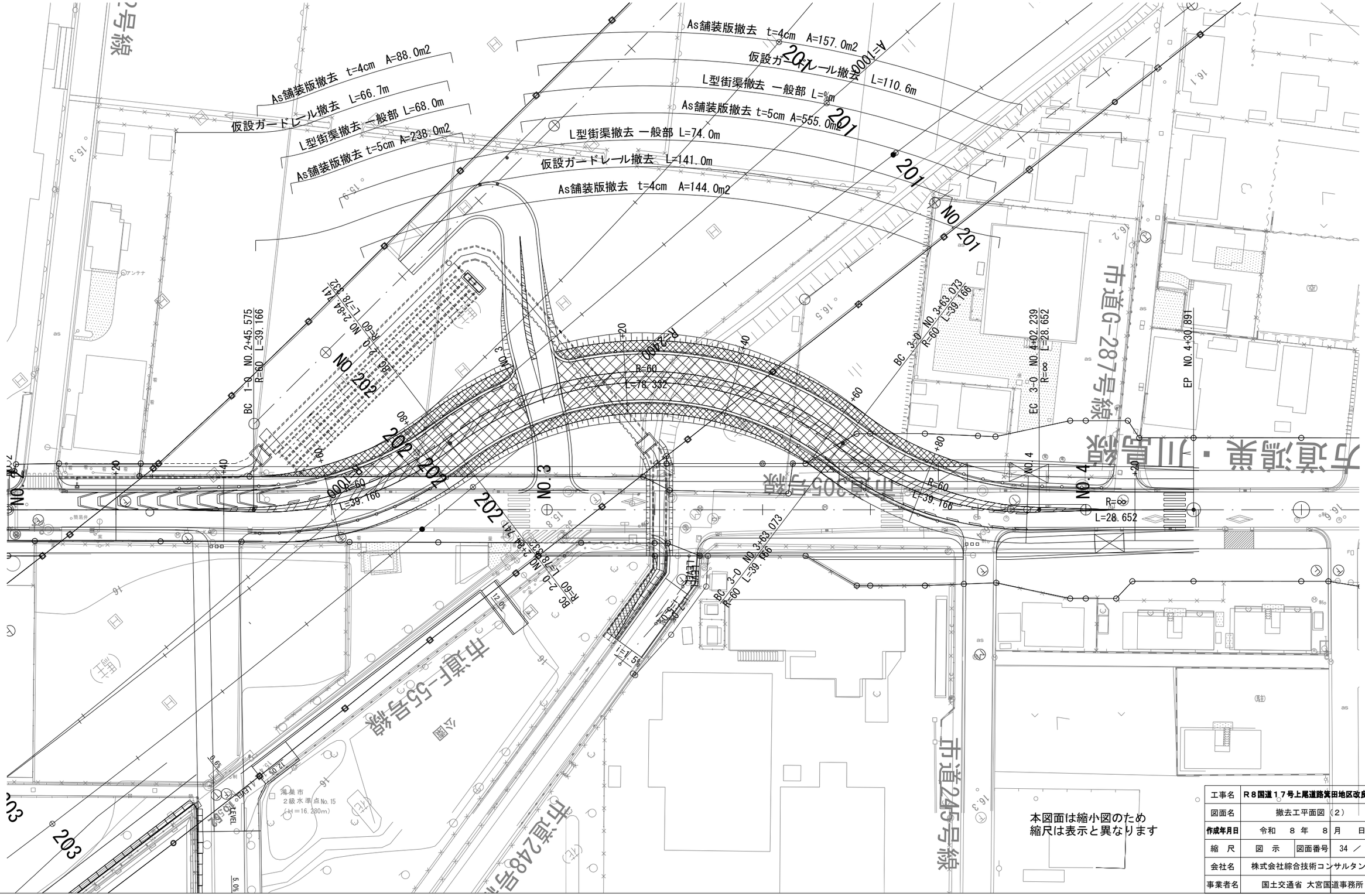


工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事
図面名	撤去工平面図（１）
作成年月日	令和　８年　８月　日
縮　尺	図　示　図面番号　33 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

撤去工平面図(2)

S=1:300

県道切回し迂回路部撤去時

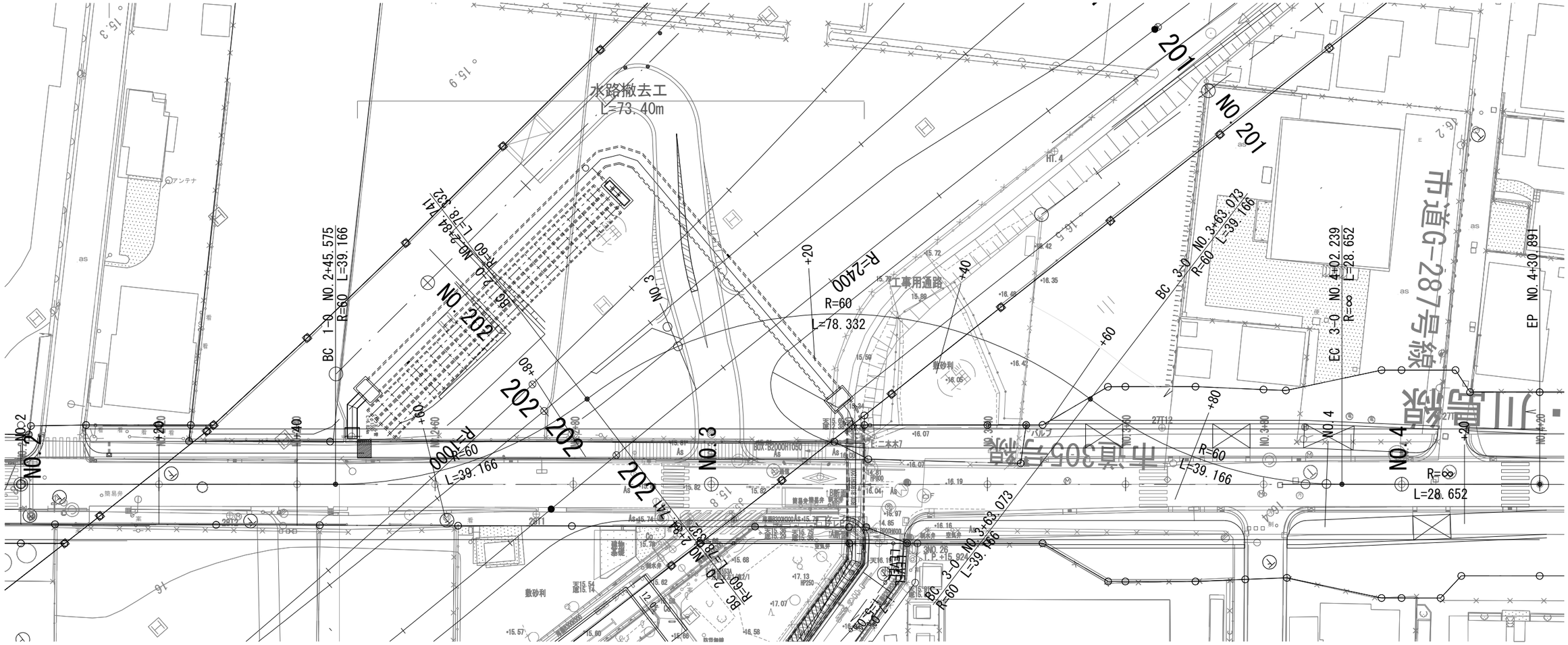


工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事
図面名	撤去工平面図（２）
作成年月日	令和　８年　８月　日
縮　尺	図　示　　図面番号　34 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

撤去工一般図

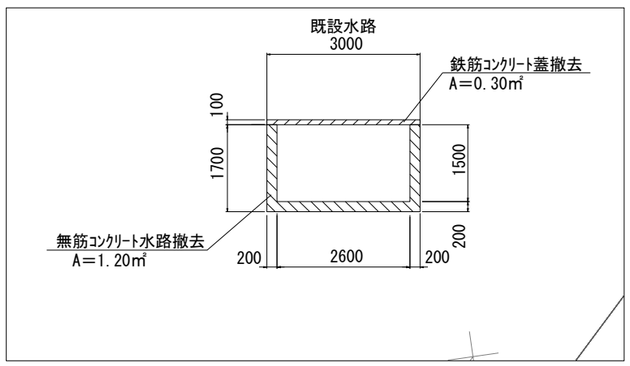
S=1:300

主)鴻巣川島線　既設水路



既設水路撤去工断面図

S=1:30



既設水路ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去工数量計算

1）鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋撤去

V=0.30㎡×73.40m=22.0㎥

(22.0㎥×2.500t/㎥=55.0t)

2）無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ水路撤去

V=1.20㎡×73.40m=88.1㎥

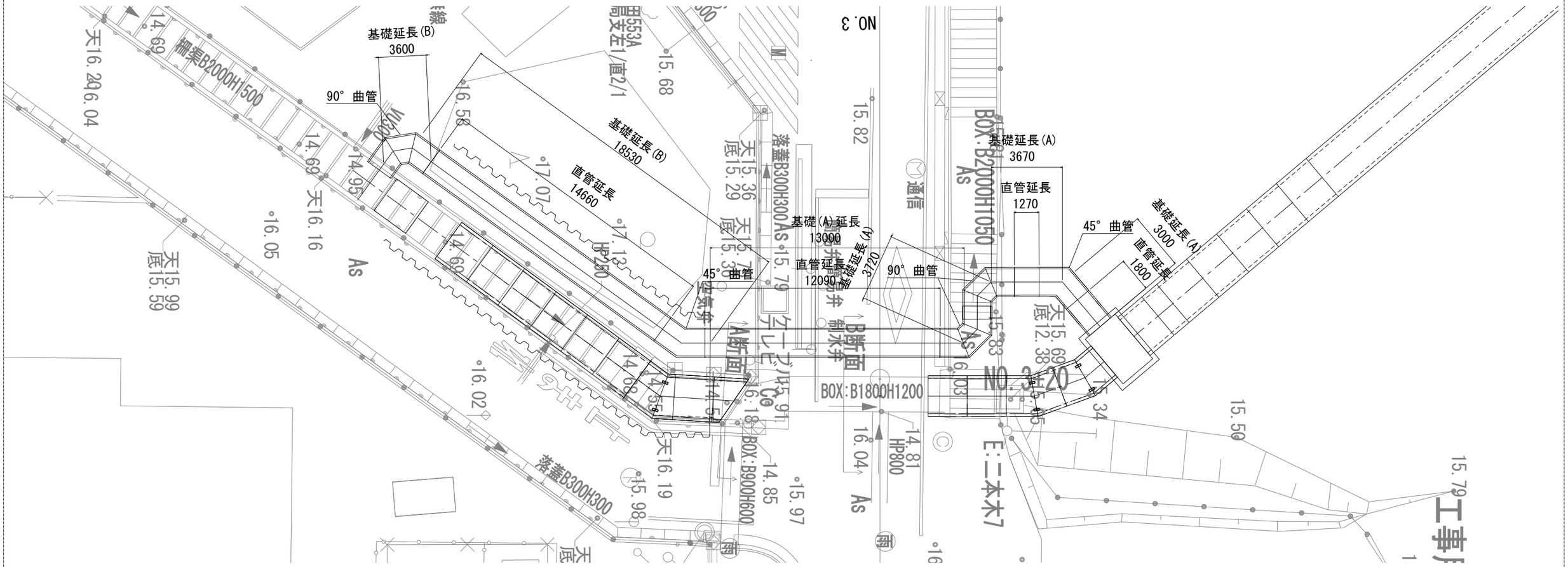
(88.1㎥×2.350t/㎥=207.0t)

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

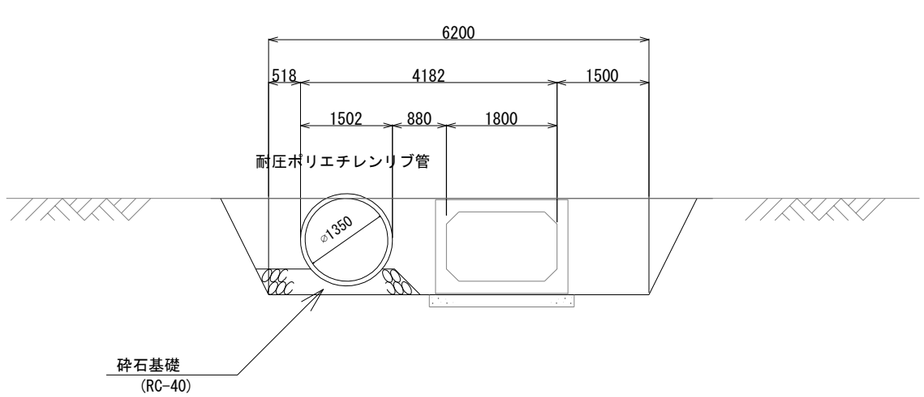
工事名	Ｒ８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	撤去工一般図		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	35 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

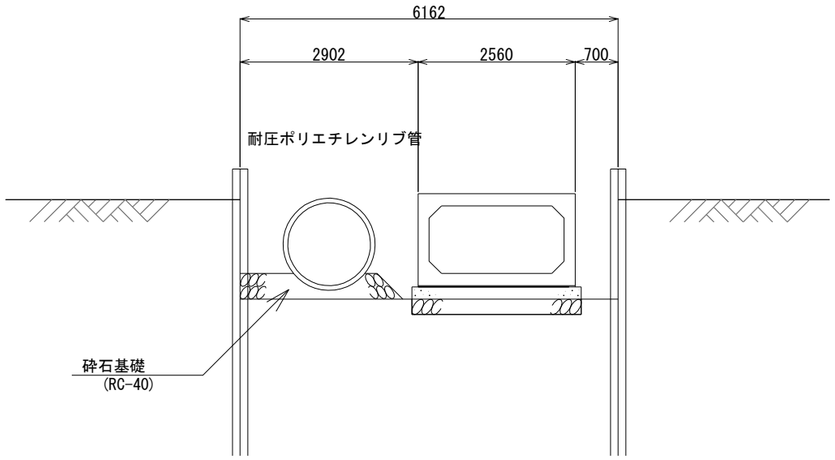
仮設水路一般図

平面図　S=1:100



横断図　S=1:50



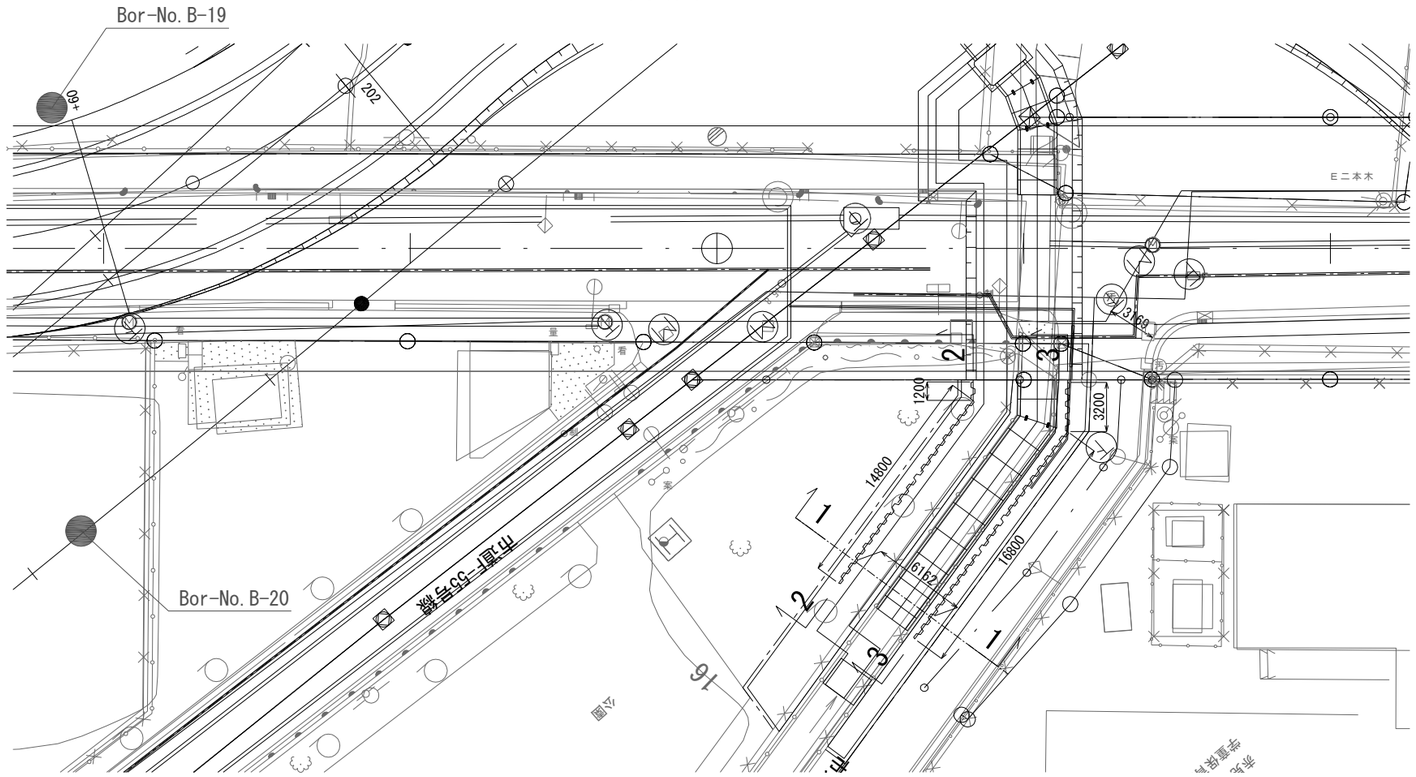


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	仮設水路一般図		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	36 ／ 36
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

土留・仮締切工計画図（参考図）

平面図　S=1:200

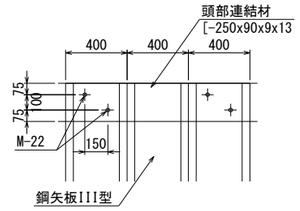


材料表

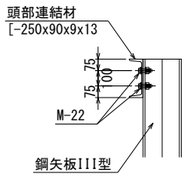
部材名	寸　法	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	備　考
鋼矢板	III型	12 000	40	60.0	720.0	28800	リース
		12 000	50	60.0	720.0	36000	リース
					鋼矢板〈リース〉 計	64800	
頭部連結材	[-250x90x9x13	16 000	1	34.6	553.6	554	購入
	[-250x90x9x13	20 000	1	34.6	692.0	692	購入
					〈購入〉 計	1246	
	副部材B		1246	x	0.04	50	

頭部連結材詳細図　S=1:20

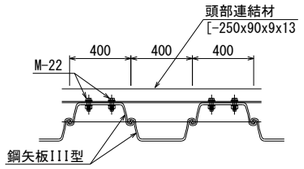
側面図



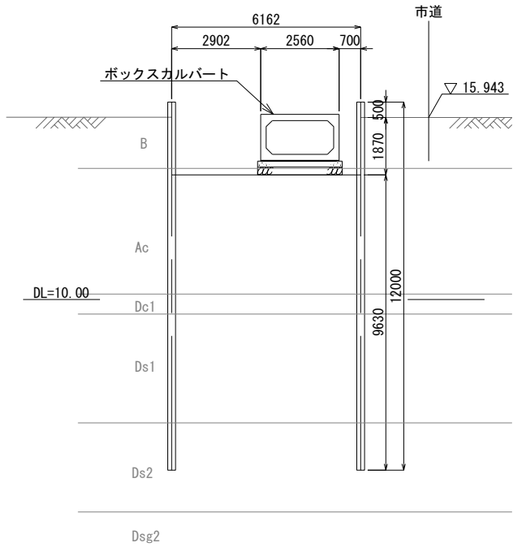
断面図



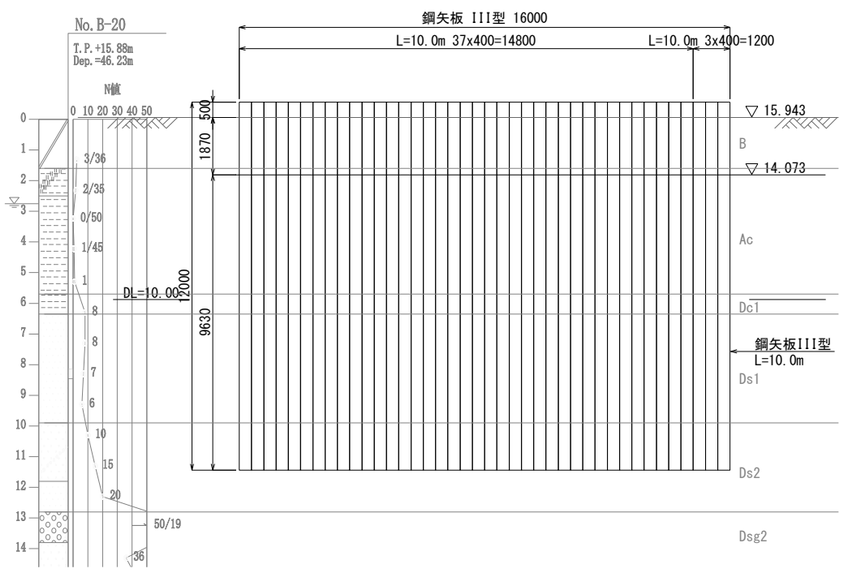
平面図



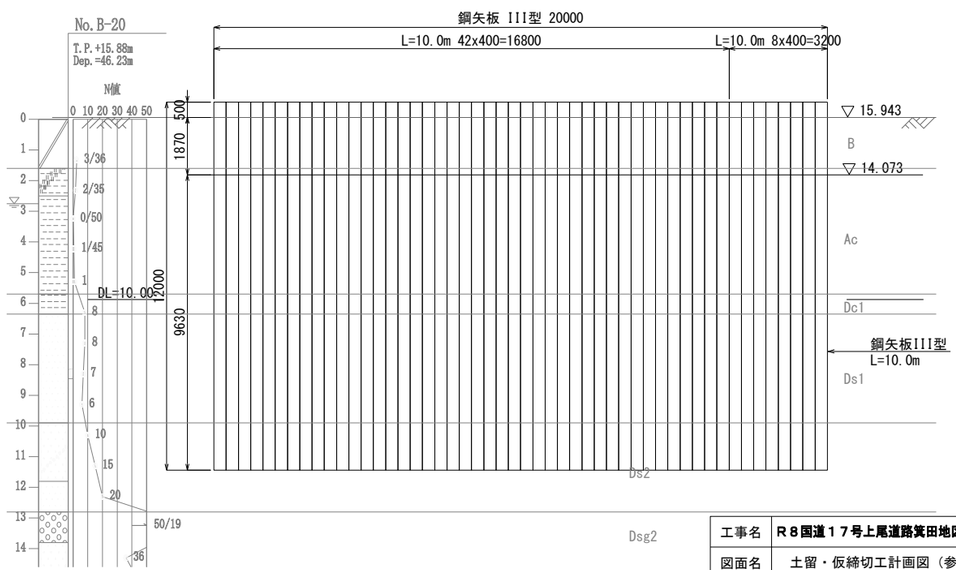
1-1 断面図　S=1:100



2-2 断面図　S=1:100



3-3 断面図　S=1:100



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道１７号上尾道路箕田地区改良工事		
図面名	土留・仮締切工計画図（参考図）		
作成年月日	令和　８年　８月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	１／　１
会社名	株式会社綜合技術コンサルタント		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		